

**令和5年度
葛飾区区民モニターアンケート調査
報告書**

◆第2回 ウェブモニター◆

- 「商工振興について」—
- 「文化芸術について」—
- 「区民モニター(ウェブモニター)調査について」—

令和5年11月



目 次

I 調査概要	1
1. <u>調査の目的</u>	1
2. <u>調査のテーマ</u>	1
3. <u>調査の設計</u>	1
4. <u>調査機関</u>	1
5. <u>報告書の表記について</u>	1
II 回答者の属性	2
III 調査結果の詳細	6
1. <u>商工振興について</u>	6
(1) <u>区内の商店の利用状況</u>	6
(2) <u>商店街の店舗数や種類についての充実感</u>	8
(3) <u>イベントやキャンペーンの魅力度</u>	10
(4) <u>「かつしかフードフェスタ」について</u>	12
(5) <u>「かつしかフードフェスタ」に行ってみたいか</u>	14
(6) <u>食べてみたい料理</u>	16
(7) <u>料理以外で期待すること</u>	18
(8) <u>キャッシュレス決済の利用有無</u>	20
(9) <u>キャッシュレス決済の利用頻度</u>	22
(10) <u>キャッシュレス決済が利用できず不便に感じたことがあるか</u>	24
(11) <u>買い物をしてもらうために必要なこと</u>	26
(12) <u>「葛飾区産業フェア」の認知度</u>	28
(13) <u>「葛飾区産業フェア」でやりたいこと</u>	30
(14) <u>「葛飾町工場物語」の認知度</u>	32
(15) <u>「葛飾町工場物語」認定製品の購入有無</u>	34
(16) <u>葛飾区の商工振興についての意見</u>	36
2. <u>文化芸術について</u>	37
(17) <u>文化芸術活動を鑑賞、行うことの大切さ</u>	37
(18) <u>文化芸術の鑑賞の有無と手段</u>	39
(19) <u>鑑賞した文化芸術</u>	41
(20) <u>1年間の鑑賞頻度</u>	43

<u>(21) 動画配信などを利用して文化芸術を鑑賞することについて</u>	45
<u>(22) 文化芸術活動を行ったか</u>	47
<u>(23) この1年間の活動頻度</u>	49
<u>(24) 文化活動を行う場所</u>	51
<u>(25) どのような情報を充実させれば、文化芸術の鑑賞や活動に役立つか</u>	53
<u>(26) 今後充実させるべき取組</u>	55
<u>(27) 子どもの文化芸術体験で重要なこと</u>	57
<u>(28) 障害のある方の芸術活動の鑑賞や参加の有無</u>	59
<u>(29) 文化的な環境を充実させるために重要なこと</u>	61
<u>(30) 国際的な文化交流に期待すること</u>	63
<u>(31) 文化芸術全般について、区への意見・要望</u>	65
<u>3. 区民モニター（ウェブモニター）調査について</u>	66
<u>(32) インターネットでの回答について</u>	66
<u>(33) 回答しづらかった点</u>	68
<u>(34) 次年度以降の調査方法について</u>	69
<u>(35) ウェブモニター調査に応募した理由</u>	71
<u>(36) 次年度の調査回数について</u>	73

I 調査概要

1. 調査の目的

区が実施している施策や区が発信している情報等について、無作為に選定した方から公募により決定した「区民モニター」から、適時かつ具体的なご意見を収集することにより、区政への活用を図るもの。

2. 調査のテーマ

- (1) 商工振興について
- (2) 文化芸術について
- (3) 区民モニター（ウェブモニター）調査について

3. 調査の設計

- (1) 調査対象 無作為で選定した18歳以上の区民4,000人から公募により決定したウェブモニター500名
- (2) 調査方法 インターネットでの回答
- (3) 調査期間 令和5年10月4日（水）～10月23日（月）
- (4) 有効回収数 396名

4. 調査機関

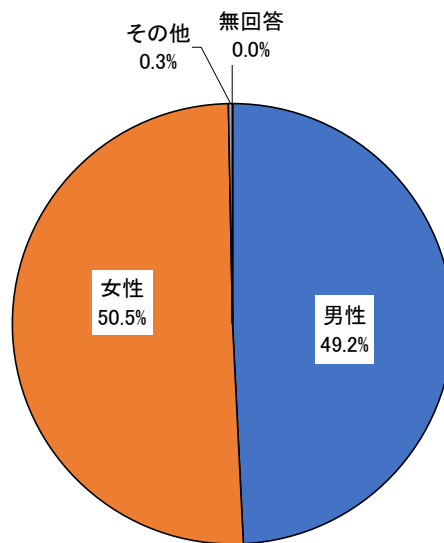
株式会社都市計画21

5. 報告書の表記について

- (1) 比率は全て百分率で表記し、小数点以下第2位を四捨五入して算出している。そのため、四捨五入によって生じる誤差により、百分率の合計が100%にならない場合がある。
- (2) “n”は各設問の回答数を示している。比率はnを母数として、算出している。
- (3) 複数回答の設問では、1人が複数の回答を選択可能なため、各選択肢における回答数の合計が100%を超過している。
- (4) 年齢層・年代別の20歳代には、18歳・19歳を含んでいる。

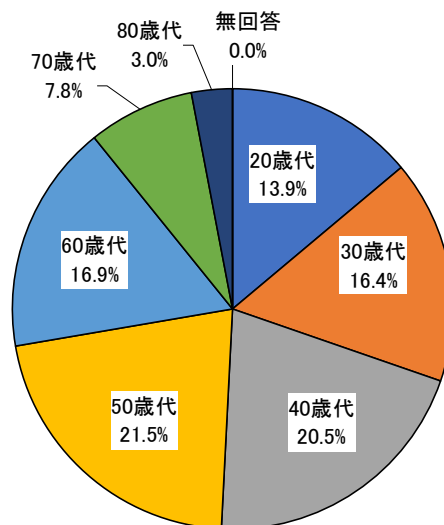
II 回答者の属性

(1) 性別



n=396

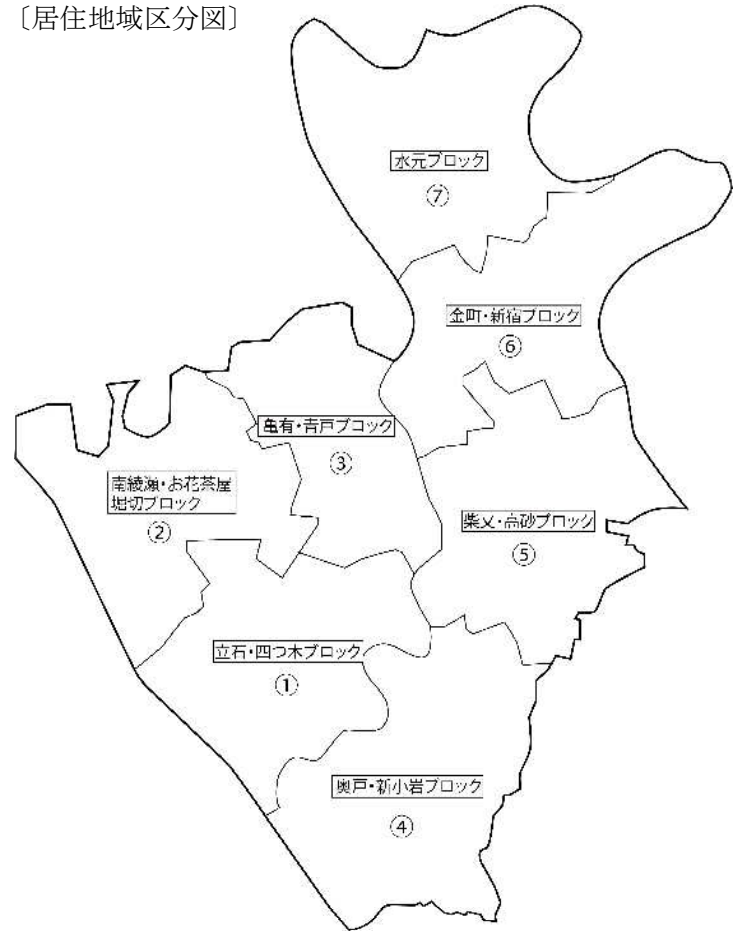
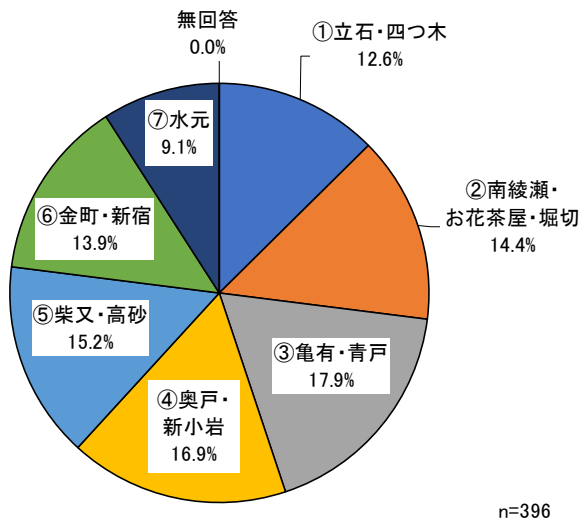
(2) 年齢層



n=396

(3) 居住地域 (7 区分)

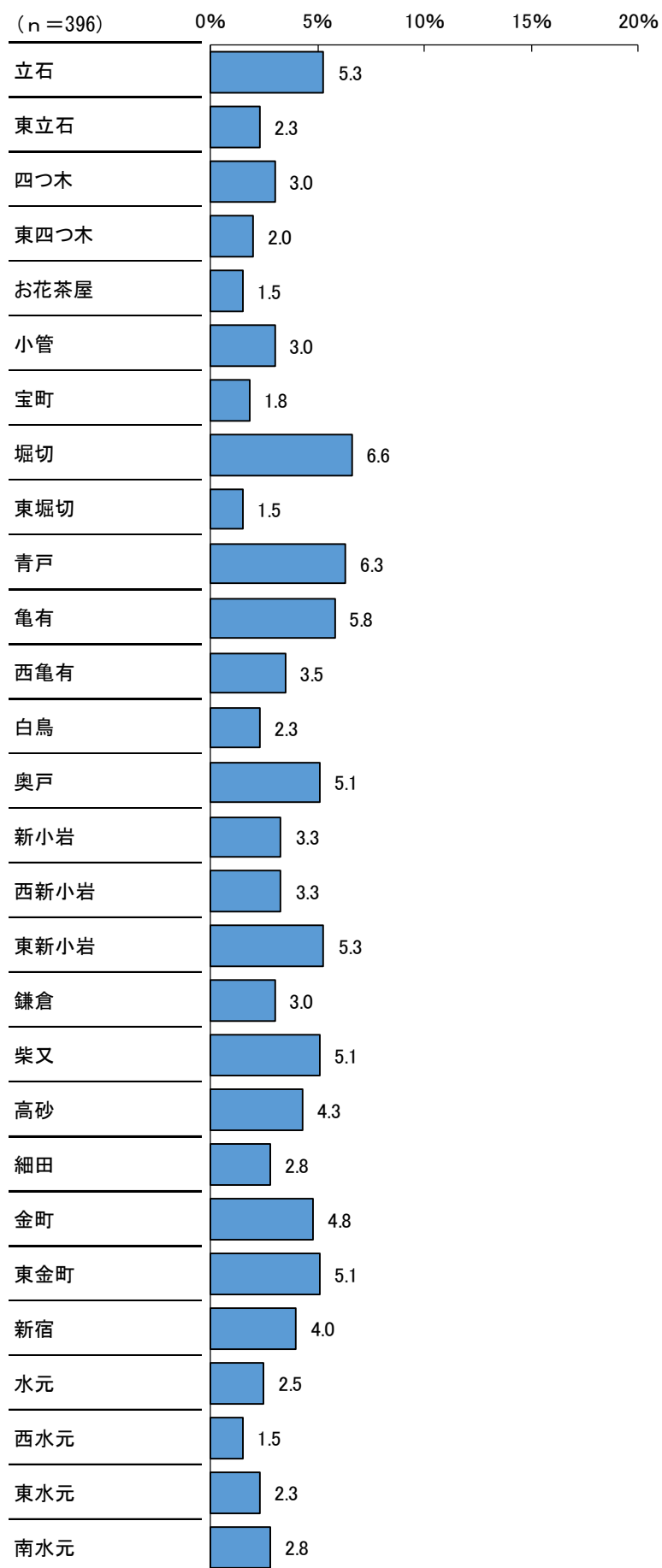
〔居住地域区分図〕



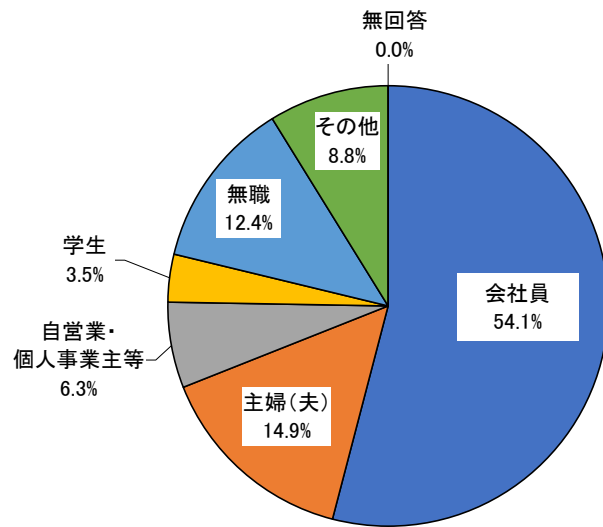
〔居住地域区分表〕

	ブロック名	町名
1	立石・四つ木ブロック	立石・東立石・四つ木・東四つ木
2	南綾瀬・お花茶屋・堀切ブロック	お花茶屋・小菅・宝町・堀切・東堀切
3	亀有・青戸ブロック	青戸・亀有・西亀有・白鳥
4	奥戸・新小岩ブロック	奥戸・新小岩・西新小岩・東新小岩
5	柴又・高砂ブロック	鎌倉・柴又・高砂・細田
6	金町・新宿ブロック	金町・東金町・新宿
7	水元ブロック	水元・西水元・東水元・南水元

(4) 居住地域 (28区分)



(5) 職業



n=396

(6) 居住地域別 (7 区分) × 性別・年代別

(%)

		立石・四つ木	南綾瀬・お花茶屋・堀切	亀有・青戸	奥戸・新小岩	柴又・高砂	金町・新宿	水元	無回答
n									
全	体 (396)	12.6	14.4	17.9	16.9	15.2	13.9	9.1	
【性別別】	男性 (195)	12.3	12.3	15.9	17.9	16.4	14.9	10.3	
	女性 (200)	13.0	16.5	20.0	15.5	14.0	13.0	8.0	
【年代別】	20 歳代 (55)	12.7	21.8	14.5	25.5	7.3	9.1	9.1	
	30 歳代 (65)	12.3	12.3	23.1	10.8	21.5	13.8	6.2	
	40 歳代 (81)	13.6	11.1	23.5	14.8	16.0	8.6	12.3	
	50 歳代 (85)	9.4	15.3	15.3	20.0	15.3	11.8	12.9	
	60 歳代 (67)	13.4	14.9	13.4	13.4	13.4	22.4	9.0	
	70 歳代 (31)	19.4	9.7	22.6	12.9	12.9	22.6		
	80 歳代 (12)	8.3	16.7	33.3		25.0	16.7		

Ⅲ 調査結果の詳細

1. 商工振興について

葛飾区には様々な産業があります。産業振興は、地域全体の発展に密接に関わる重要な要素です。区内の産業が生き生きと活動し、賑わいのある商店街や地域の特産品を活かすことで、地域経済は活性化し、雇用機会が増え、区民の生活も豊かになります。

皆様が区内産業やサービスに対してどのような期待や要望をお持ちか、また、区内の産業について地域の魅力や課題をどのように感じているかをお聞きし、より魅力的な区内産業やイベントの提供、改善策の検討をするため、区民モニターの皆様のご意見を伺います。

(1) 区内の商店の利用状況

問1 あなたは、区内の商店（大型店やコンビニ等を含む）を利用していますか？

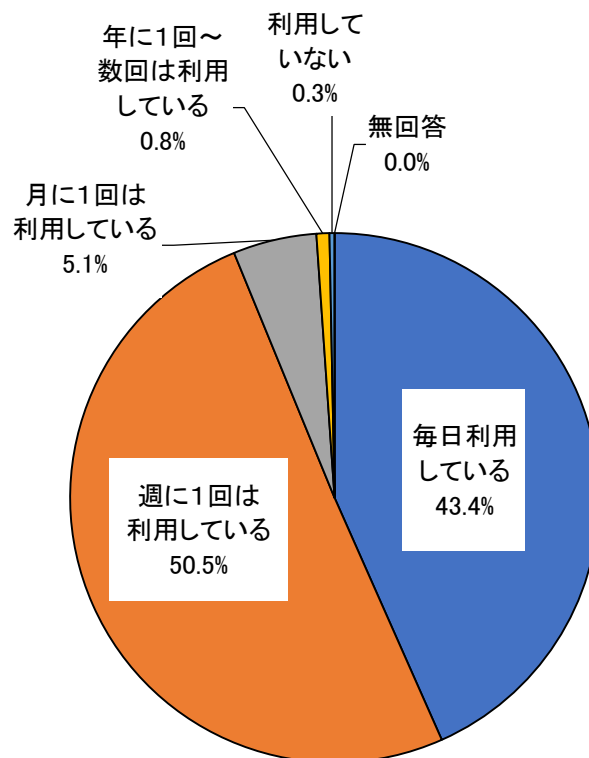
(1つ選択)

区内の商店の利用状況は、「週に1回は利用している」が50.5%で最も高く、次いで「毎日利用している」が43.4%となっている。

年代別でみると、「毎日利用している」は、60歳代で52.2%と最も高く、次いで50歳代で50.6%となっている。

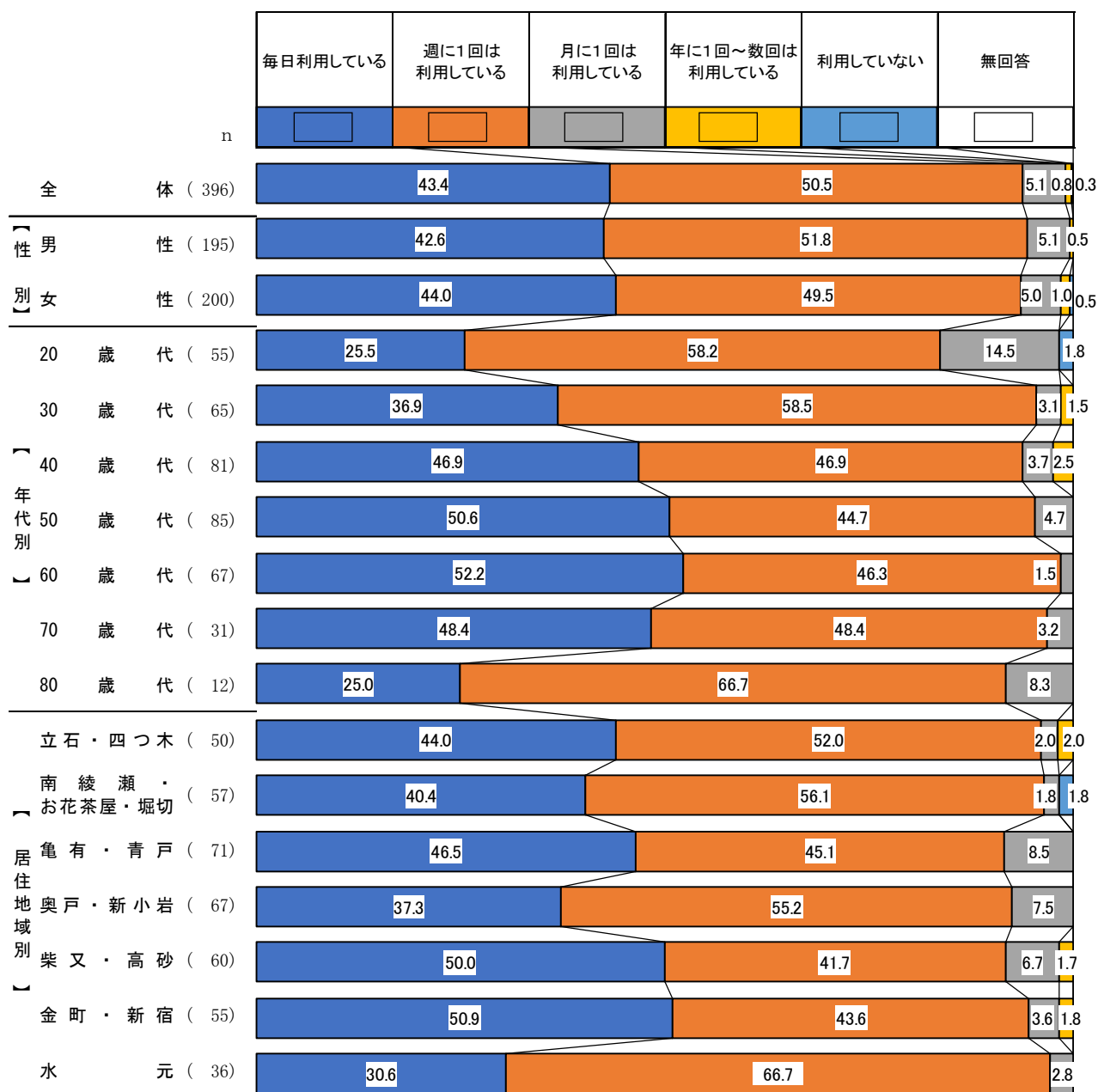
地域別でみると、「毎日利用している」は、金町・新宿地域で50.9%と最も高く、次いで柴又・高砂地域で50.0%となっている。

図表－1 区内の商店の利用状況（全体）



図表－２ 区内の商店の利用状況
(全体・性別・年代別・居住地域別)

(%)



(2) 商店街の店舗数や種類についての充実感

問2 葛飾区には86の商店街がありますが、あなたは区内商店街の店舗数や種類は充実していると感じますか？回答の理由も教えてください。(1つ選択)

商店街の店舗数や種類についての充実感は、「店舗数・種類ともに少ない」が43.2%で最も高く、次いで「店舗数は充実しているが種類は少ない」が16.2%、「店舗数・種類ともに充実している」が15.7%となっている。

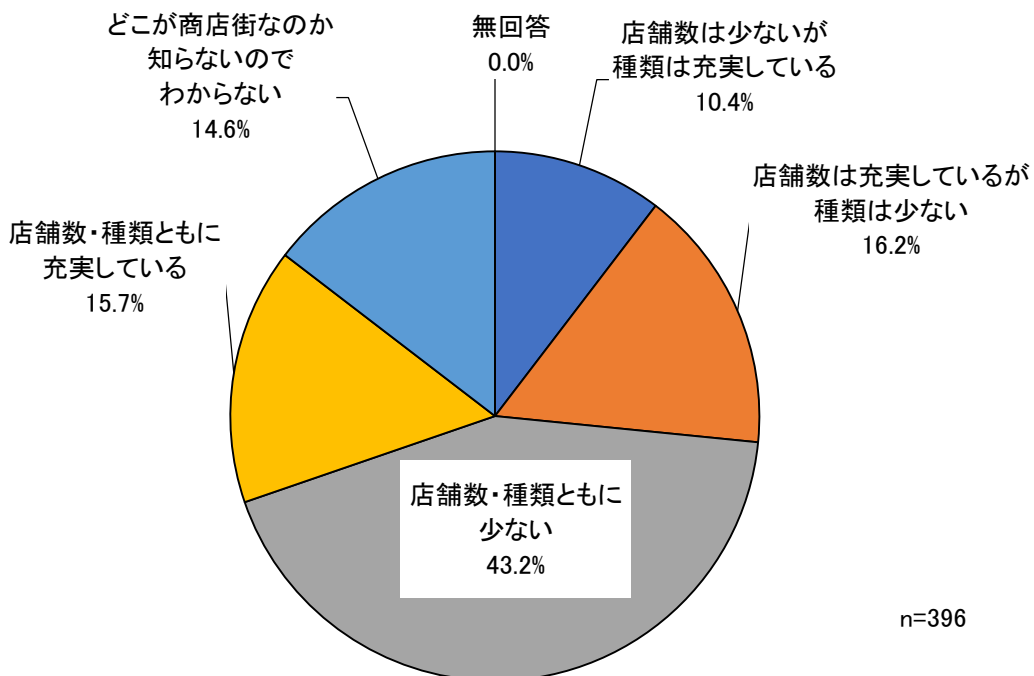
年代別にみると、20歳代では「どこが商店街なのか知らないのでわからない」が29.1%で最も高くなっている。

「店舗数・種類ともに少ない」の回答理由として、「閉まっているお店が多い」、「個人商店がなくなり、大型店ばかりになっている」、「商店街では生活に必要なものがすべて揃わない」などがある。

「店舗数は充実しているが種類は少ない」の回答理由として、「居酒屋、コンビニ、スーパーばかりになっているような気がする」、「八百屋さんやお魚屋さん等安くて買い物に行きやすいお店が減ってきている」、「チェーン店が多いので面白みがなくなっている」などがある。

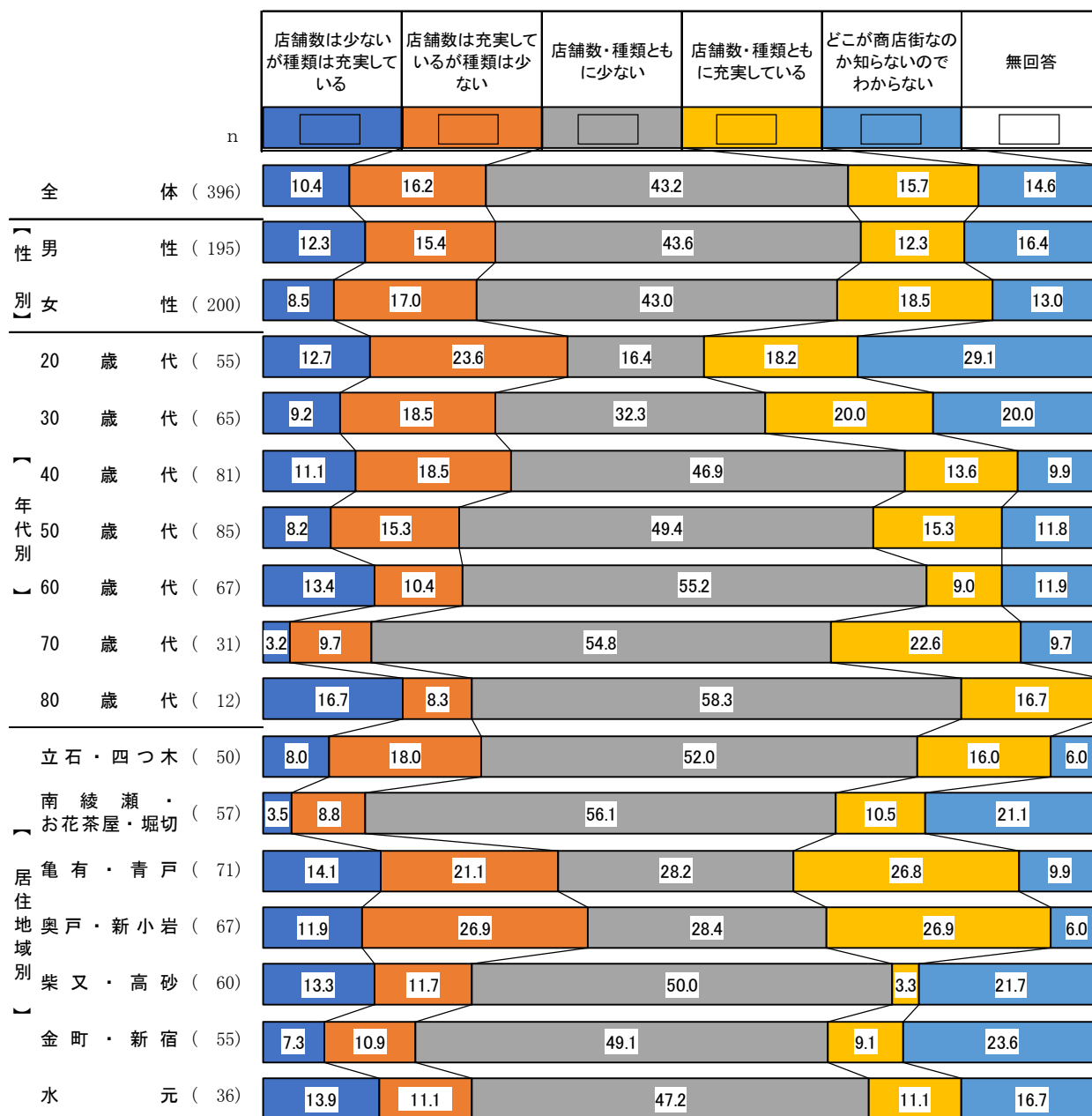
「店舗数・種類ともに充実している」の回答理由として、「不満に思ったことがないから」、「日常の利用に困ることはないから」、「駅前に商店街があり、帰りに買い物ができる」などがある。

図表-3 商店街の店舗数・種類についての充実感(全体)



図表－４ 商店街の店舗数・種類についての充実感
(全体・性別・年代別・居住地域別)

(%)



(3) イベントやキャンペーンの魅力度

問3 区内商店街のイベントやキャンペーンは魅力的だと思いますか？（1つ選択）

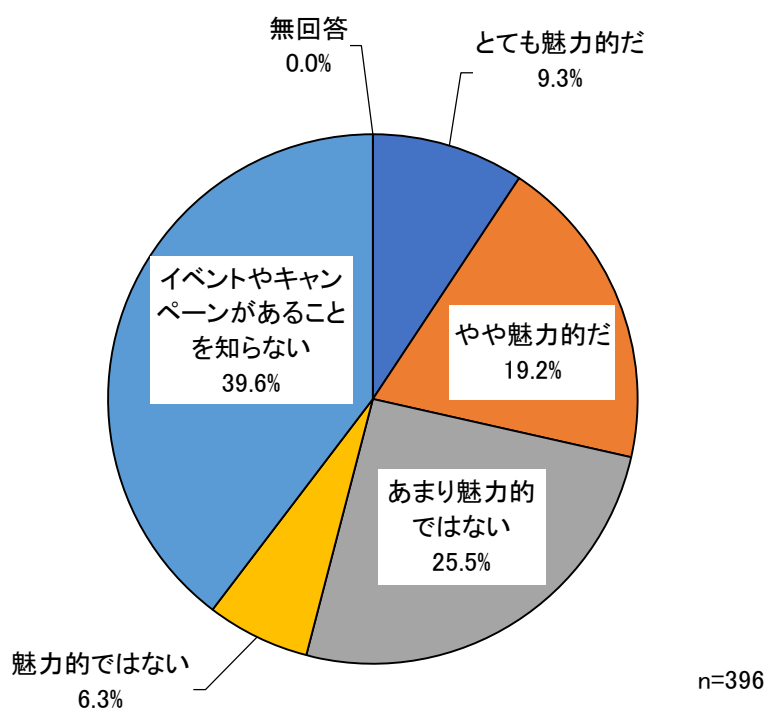
イベントやキャンペーンの魅力度については、「とても魅力的だ」と「やや魅力的だ」を合わせた【魅力的だ（計）】が、28.5%となっている。一方、「あまり魅力的ではない」と「魅力的ではない」を合わせた【魅力的ではない（計）】が、31.8%となっている。また、「イベントやキャンペーンがあることを知らない」が39.6%で高くなっている。

年代別でみると、【魅力的だ（計）】は、30歳代と40歳代、50歳代で3割以上となっており、一方、【魅力的でない（計）】は、70歳代以上の年代で5割以上となっている。また、20歳代で「イベントやキャンペーンがあることを知らない」が60.0%となっている。

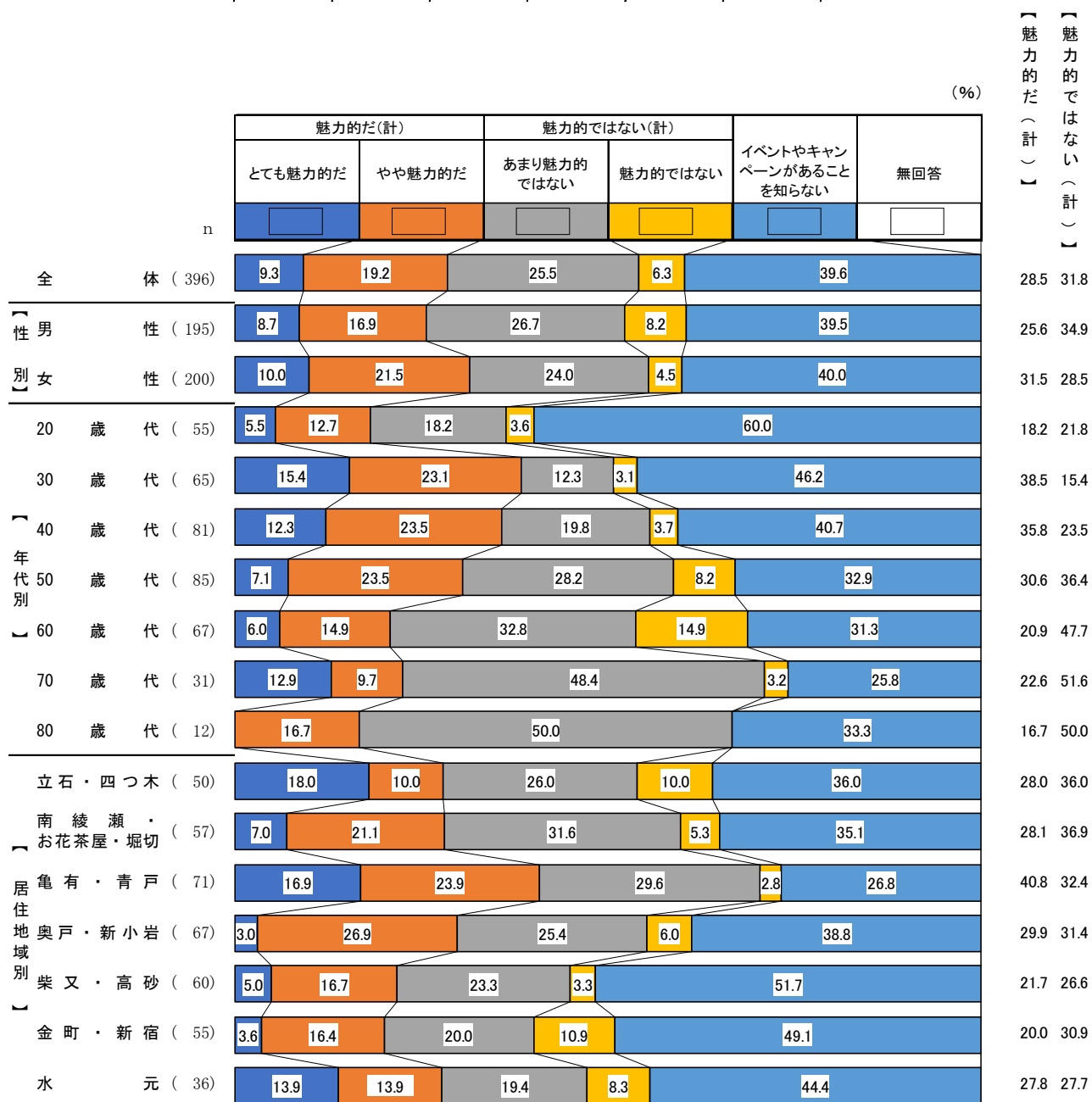
「魅力的だ」の具体的な意見として、「お得な商品券がよく発行されているため」、「子どもが楽しめるものもあるため」などがある。

「魅力的ではない」の具体的な意見として、「平日開催のことが多く利用できない」、「キャンペーンの告知があまり目に入らない」などがある。

図表-5 イベントやキャンペーンの魅力度（全体）



図表-6 イベントやキャンペーンの魅力度
(全体・性別・年代別・居住地域別)



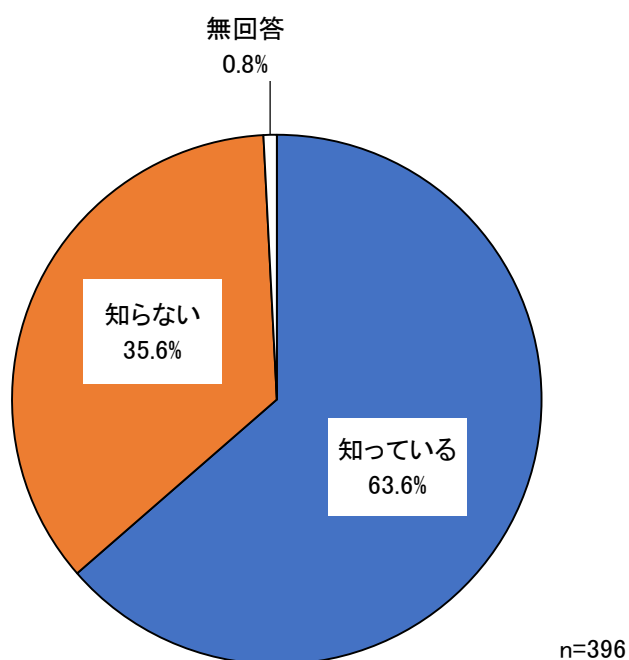
(4)「かつしかフードフェスタ」について

問4 区では、毎年11月に関係団体と協力し、新小岩公園（西新小岩1-1-3）において区内の飲食店が出展するグルメイベント「かつしかフードフェスタ」を開催しています。
あなたは、「かつしかフードフェスタ」が開催されていることを知っていますか？
(1つ選択)

「かつしかフードフェスタ」については、「知っている」が63.6%、「知らない」が35.6%となっている。

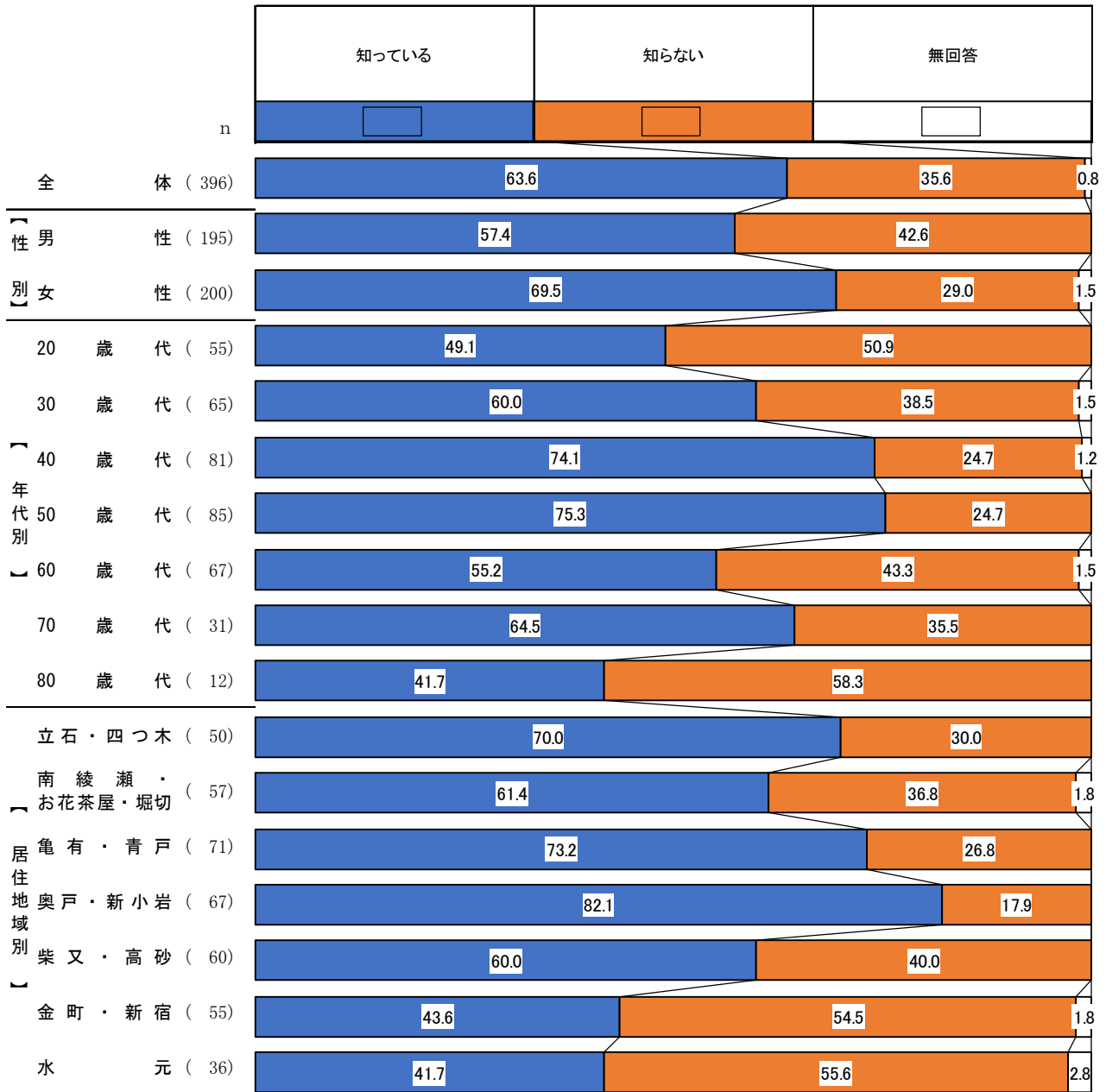
年代別にみると、「知っている」は50歳代が75.3%と最も高く、「知らない」は80歳代が58.3%と最も高くなっている。

図表-7 「かつしかフードフェスタ」について（全体）



図表-8 「かつしかフードフェスタ」について
(全体・性別・年代別・居住地域別)

(%)



(5) 「かつしかフードフェスタ」に行ってみたいか

問5 「かつしかフードフェスタ」に行ってみたいと思いますか？回答の理由も教えてください。（1つ選択）

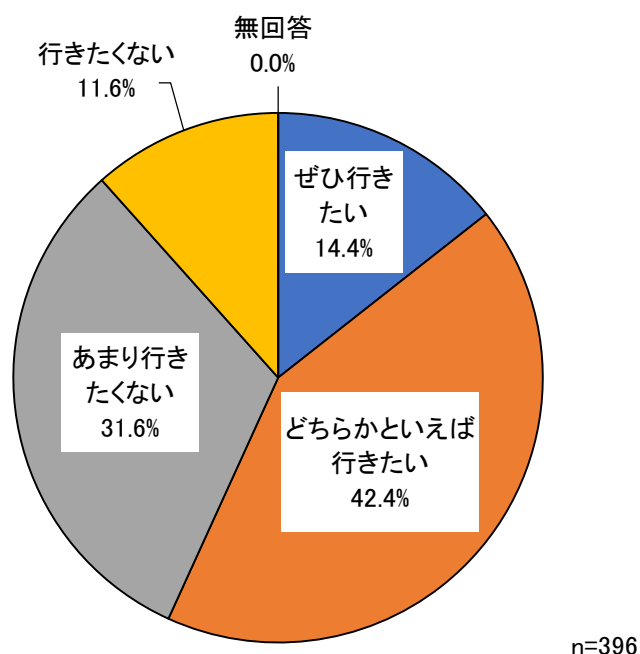
「かつしかフードフェスタ」に行ってみたいかについては、「ぜひ行きたい」と「どちらかといえ
ば行きたい」を合わせた【行きたい（計）】が、56.8%となっている。一方、「あまり行きたくない」
と「行きたくない」を合わせた【行きたくない（計）】は、43.2%となっている。

年代別でみると、【行きたい（計）】は、全ての年代で4割以上となっており、一方、【行きたくない（計）】は、50歳代と60歳代、80歳代で5割以上となっている。

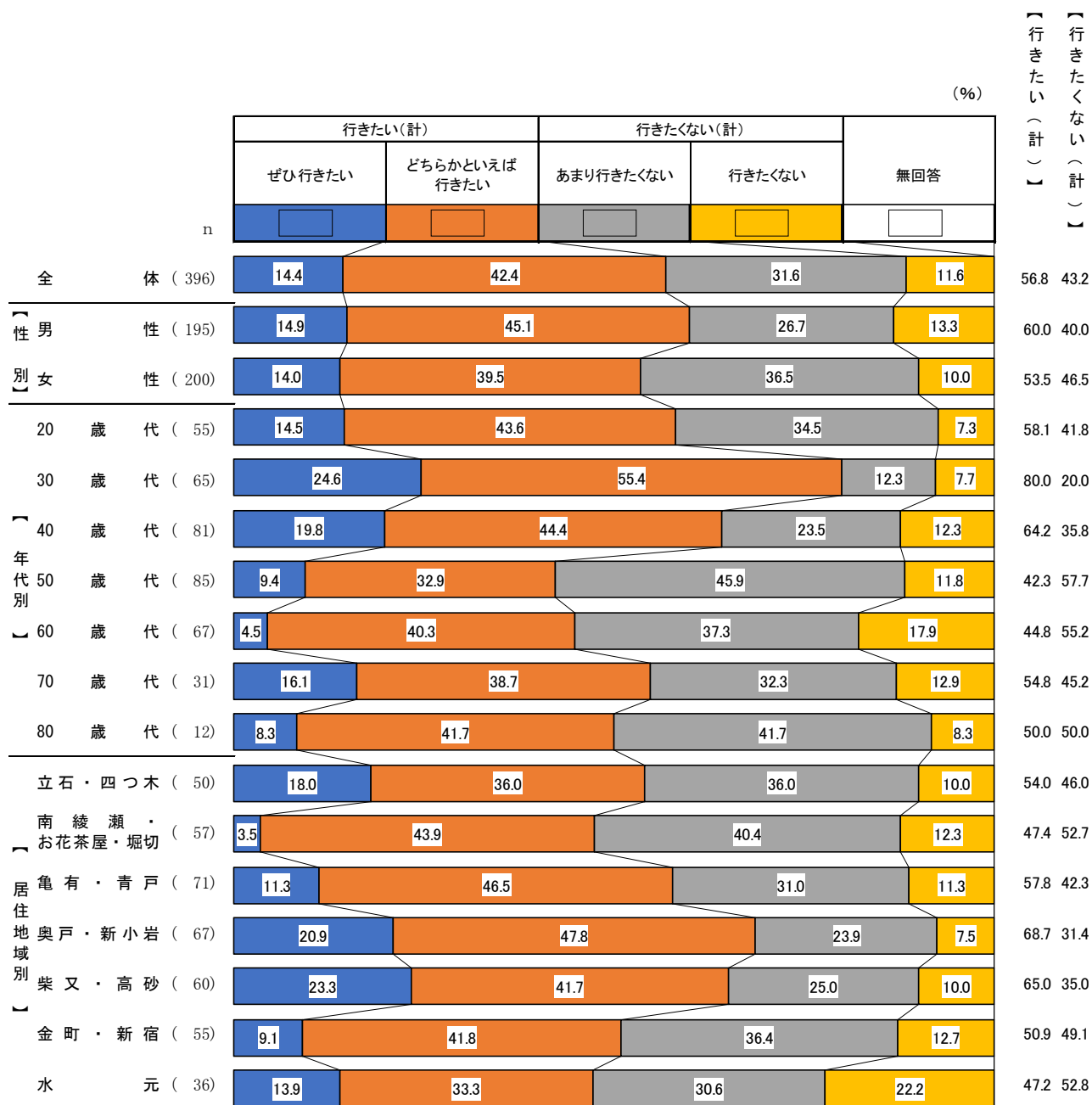
「行きたい」の回答理由として、「美味しいお店を知ることができるため」、「前回参加して楽し
かったため」、「区内の飲食店を知るきっかけになるため」などがある。

「行きたくない」の回答理由として、「インフルエンザ・コロナがまだ怖い」、「会場までのアクセ
スが悪い」、「混雑がすごいため」などがある。

図表－9 「かつしかフードフェスタ」に行ってみたいか（全体）



図表-10 「かつしかフードフェスタ」に行ってみたいか
(全体・性別・年代別・居住地域別)



(6) 食べてみたい料理

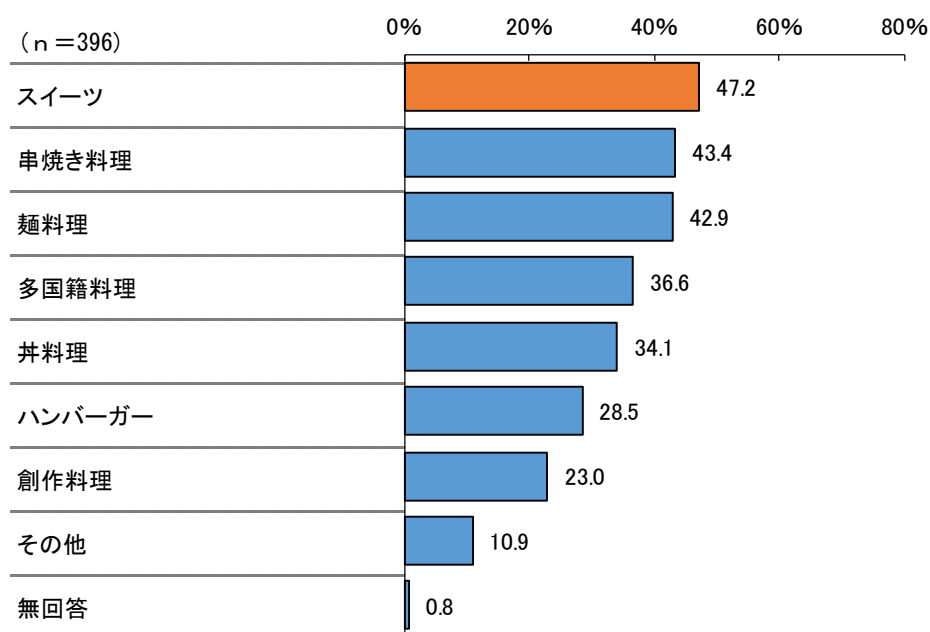
問6 「かつしかフードフェスタ」に行くとしたら、どのような料理を食べてみたいですか？
(あてはまるものを全て選択)

食べてみたい料理については、「スイーツ」が47.2%で最も高く、次いで「串焼き料理」が43.4%、「麺料理」が42.9%となっている。

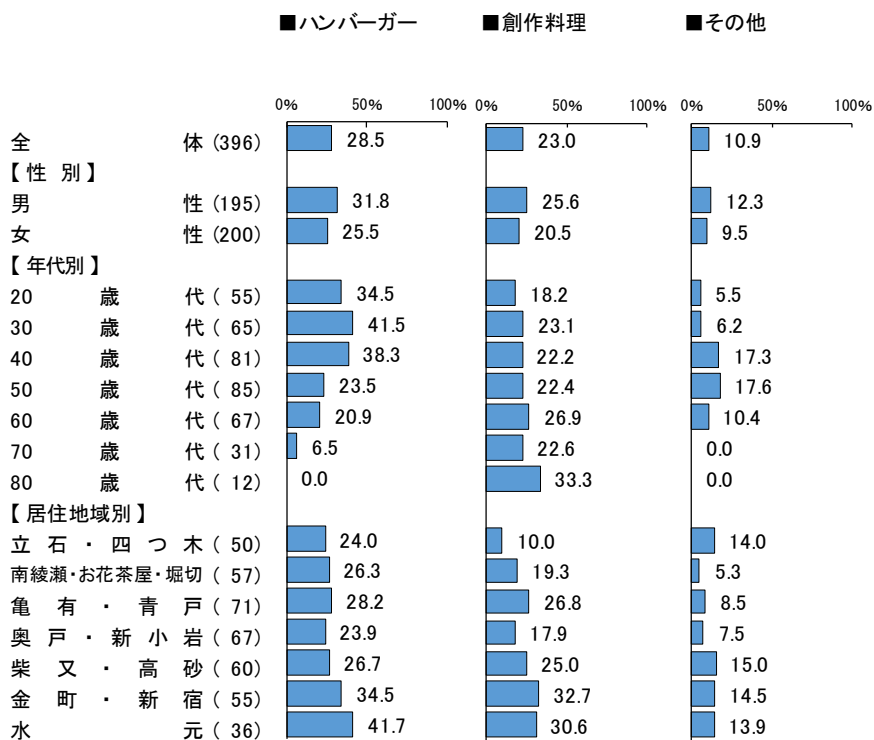
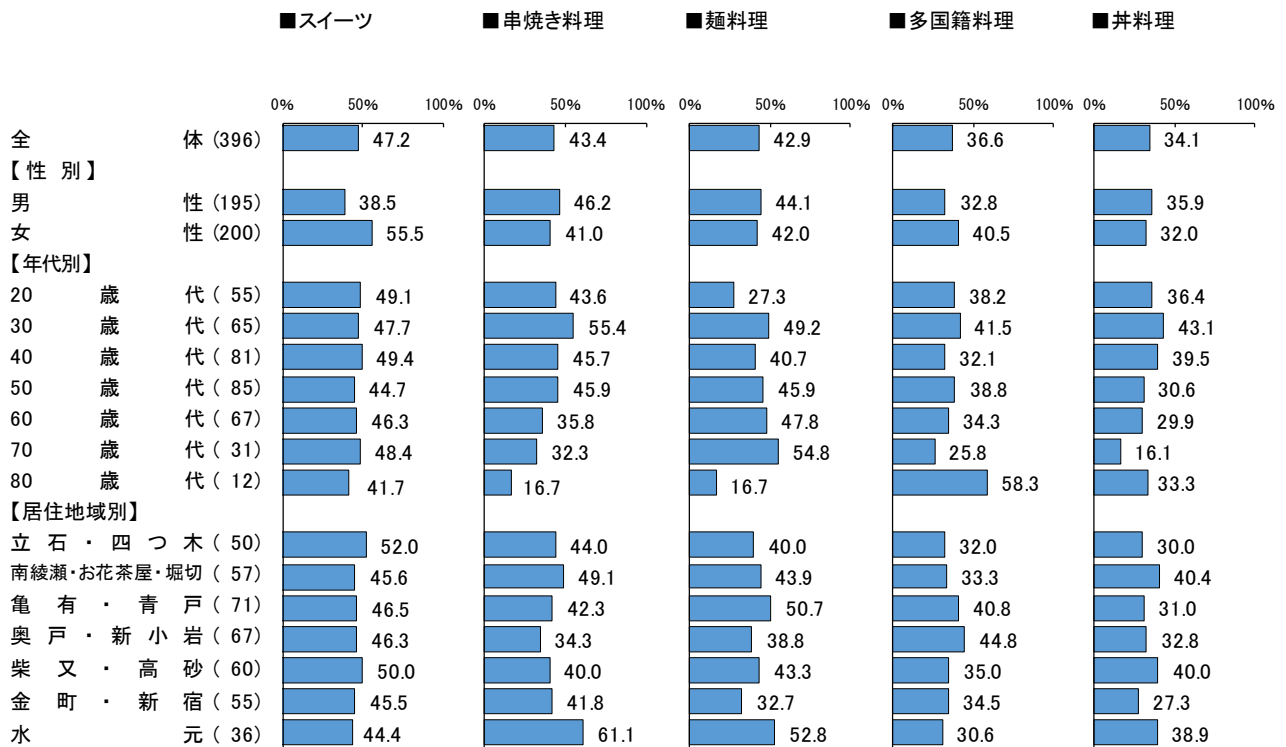
年代別でみると、「ハンバーガー」では、20歳代から60歳代で2割以上となっている。一方、70歳代以降では1割以下となっている。

「その他」の内容としては、「焼肉」、「アルコール類とそれに合うもの」、「地元の野菜を使用した料理」、「手軽に食べられるもの」などがある。

図表-11 食べてみたい料理（全体）



図表-12 食べてみたい料理
(全体・性別・年代別・居住地域別)



(7) 料理以外で期待すること

問7 「かつしかフードフェスタ」に料理以外で期待することはありますか？

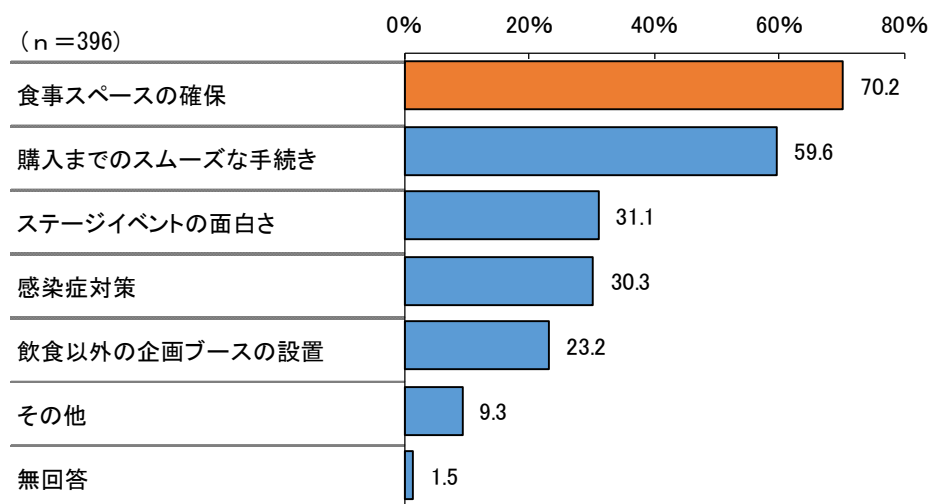
(あてはまるものを全て選択)

料理以外で期待することについては、「食事スペースの確保」が70.2%で最も高く、次いで「購入までのスムーズな手続き」が59.6%、「ステージイベントの面白さ」が31.1%となっている。

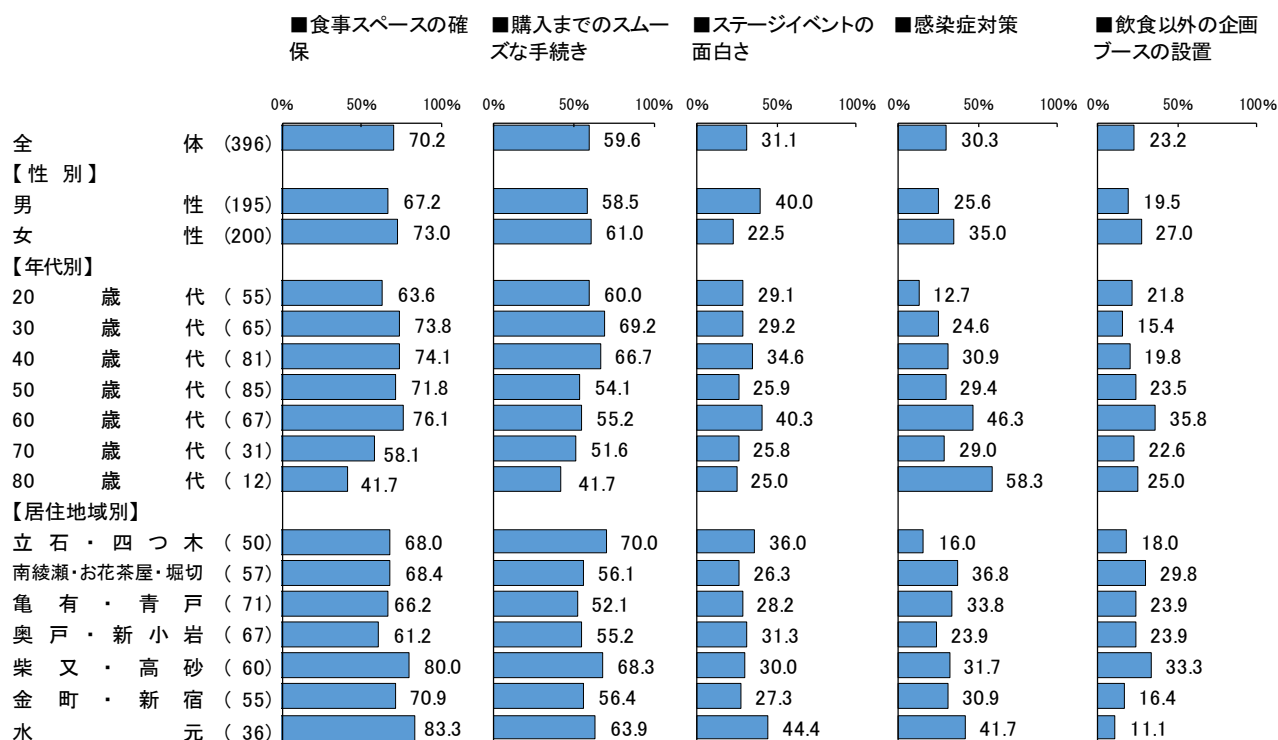
年代別でみると、「感染症対策」では、80歳代で5割以上と高くなっている。また、「飲食以外の企画ブースの設置」では60歳代で35.8%と高くなっている。

「その他」の内容としては、「地元野菜の販売」、「葛飾区の伝統工芸品の販売」、「キャッシュレス決済」などがある。

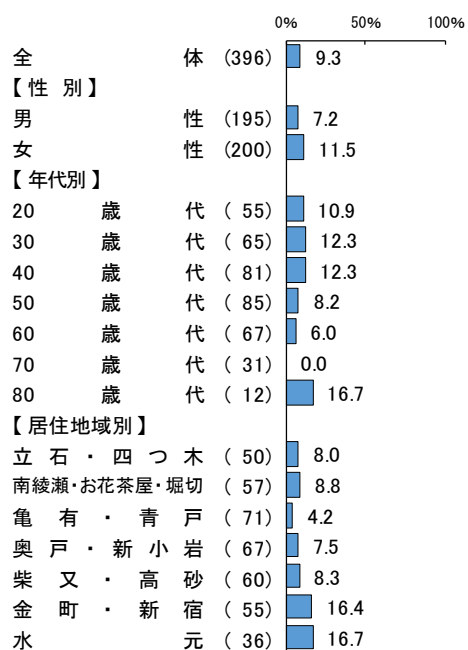
図表-13 料理以外で期待すること（全体）



図表-14 料理以外で期待すること
(全体・性別・年代別・居住地域別)



■その他



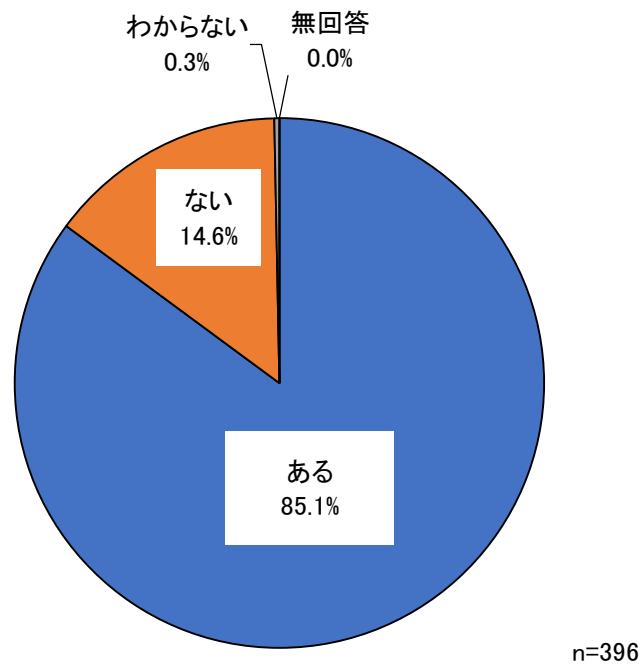
(8) キャッシュレス決済の利用有無

問8 区内店舗での支払いの際に、キャッシュレス決済（電子マネーやスマホアプリのQRコード決済等）を利用したことはありますか？（1つ選択）

キャッシュレス決済の利用有無については、「ある」が85.1%で8割以上を占めており、「ない」は14.6%となっている。

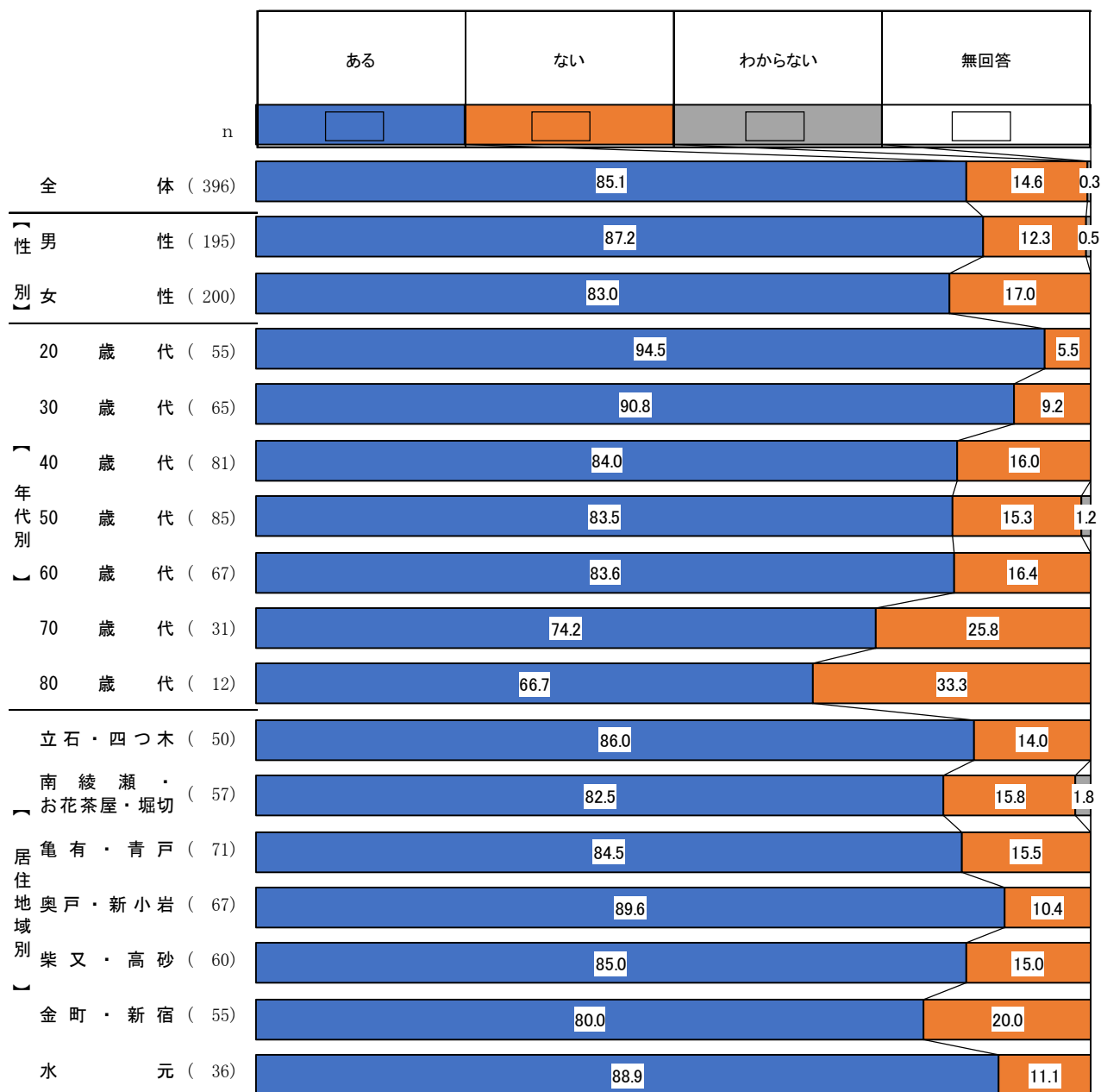
年代別でみると、「ある」は、20歳代と30歳代で9割以上となっている。一方、70歳代以上の年代では、8割以下となっている。

図表-15 キャッシュレス決済の利用有無（全体）



図表-16 キャッシュレス決済の利用有無
(全体・性別・年代別・居住地域別)

(%)



(9) キャッシュレス決済の利用頻度

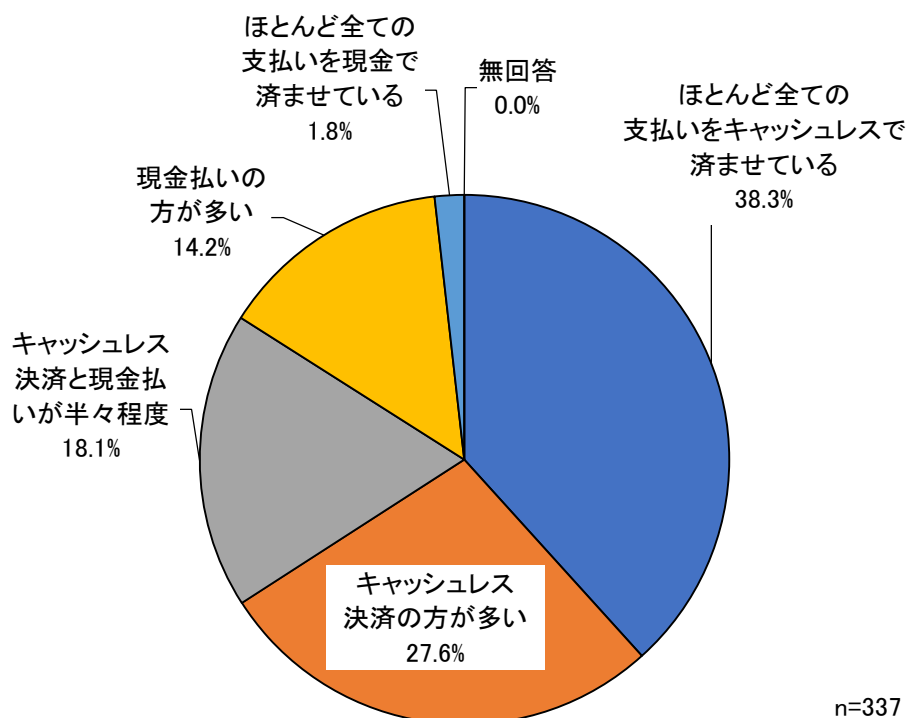
問8で「ある」と答えた方に伺います。

問9 あなたは区内店舗での買い物の際に、キャッシュレス決済をどの程度利用していますか？（1つ選択）

キャッシュレス決済の利用頻度については、「ほとんど全ての支払いをキャッシュレスで済ませている」が38.3%で最も高く、次いで「キャッシュレス決済の方が多い」が27.6%、「キャッシュレス決済と現金払いが半々程度」が18.1%となっている。

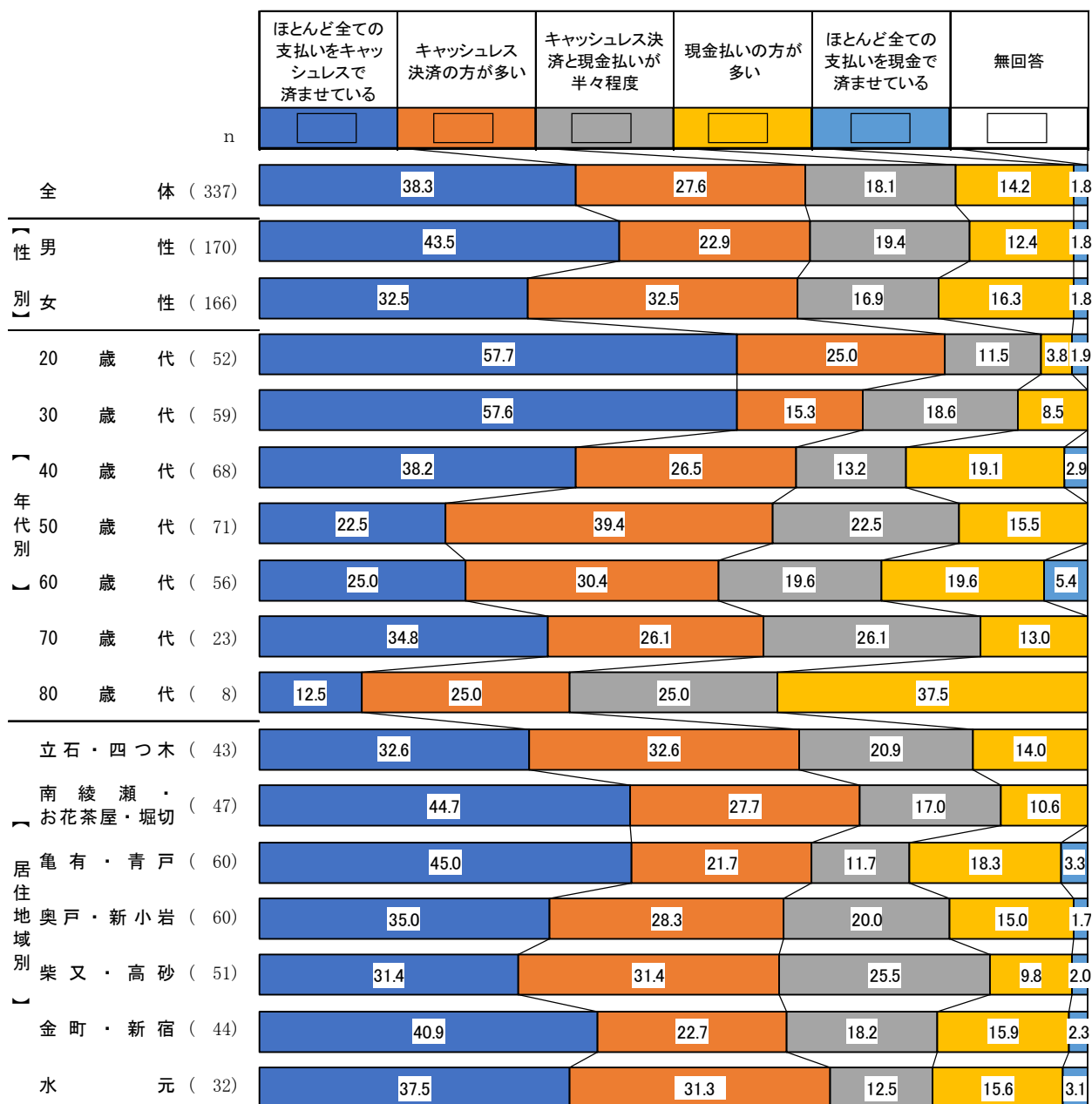
年代別でみると、「ほとんど全ての支払いをキャッシュレスで済ませている」は、20歳代と30歳代で5割以上となっている。また、「現金払いの方が多い」は80歳代で3割以上となっている。

図表-17 キャッシュレス決済の利用頻度（全体）



図表-18 キャッシュレス決済の利用頻度
(全体・性別・年代別・居住地域別)

(%)



(10) キャッシュレス決済が利用できず不便に感じたことがあるか

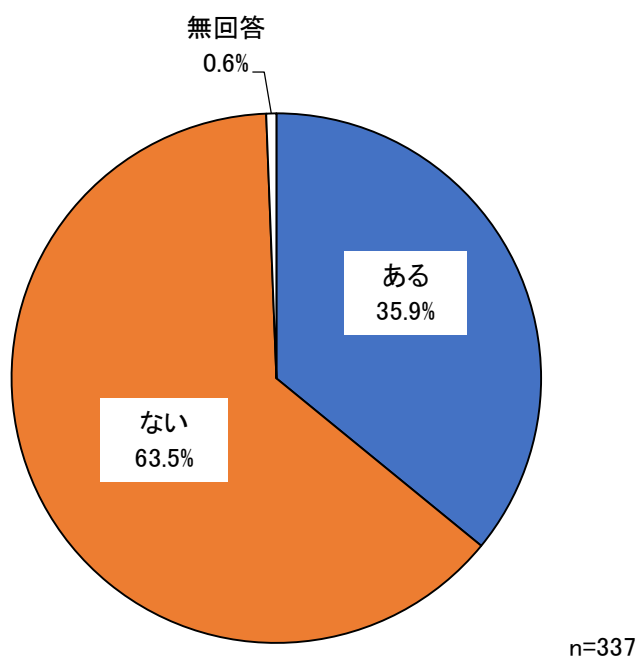
問 10 区内の店舗でキャッシュレス決済が利用できず、不便に感じたことはありますか？
(1つ選択)

キャッシュレス決済が利用できず、不便に感じたことがあるかについては、「ある」が35.9%、「ない」が63.5%となっている。

年代別でみると、「ある」は60歳代で4割以上と高くなっている。

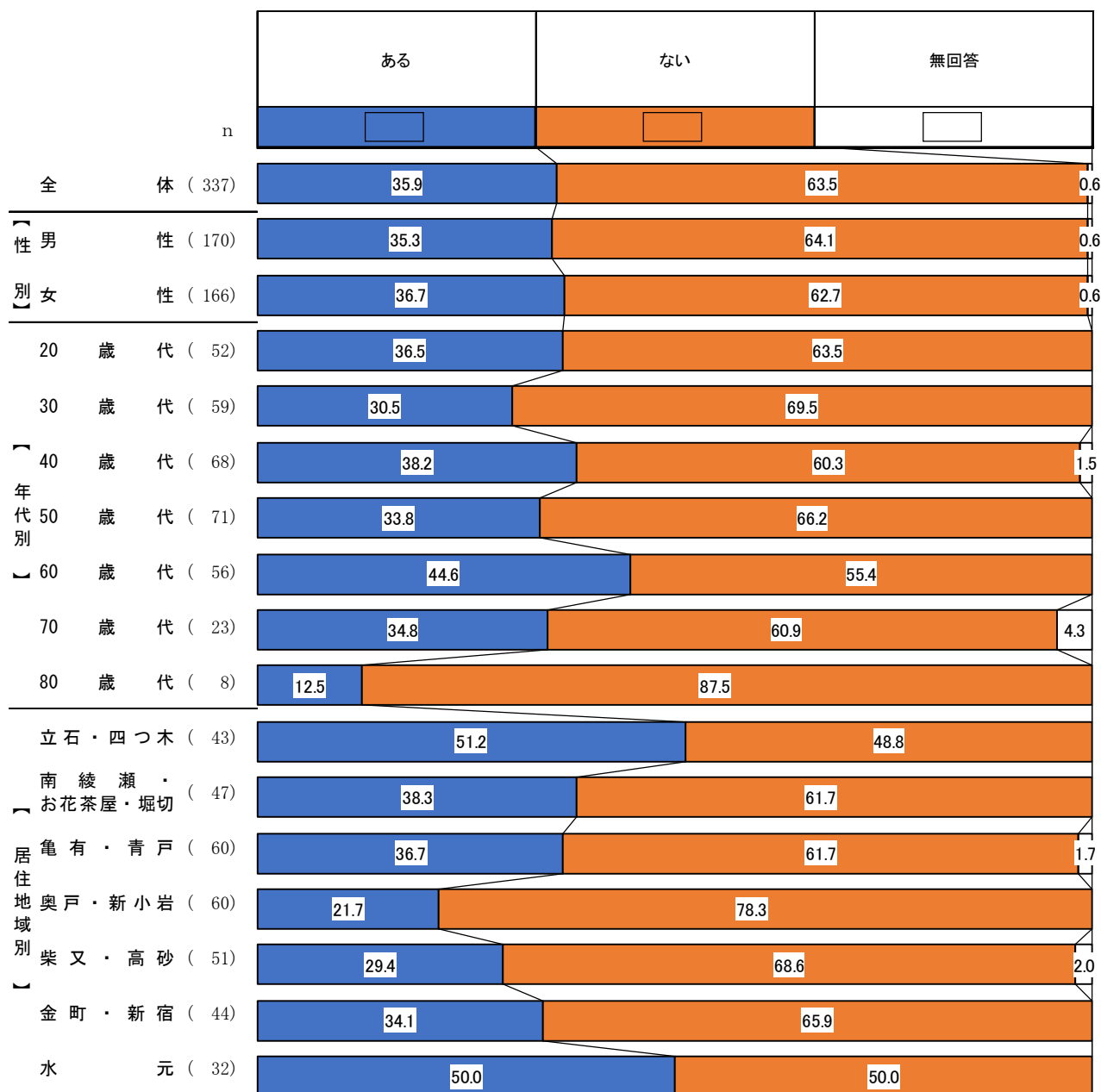
「ある」の具体的な内容としては、「使える種類、キャッシュレス決済に対応している店舗が少ない」、「手持ちの現金が不足した時」、「財布を持たずに掛けた際に欲しいと思ったものが買えなかった」などがある。

図表-19 キャッシュレス決済が利用できず不便に感じたことがあるか (全体)



図表-20 キャッシュレス決済が利用できず不便に感じたことがあるか
(全体・性別・年代別・居住地域別)

(%)



(11) 買い物をしてもらうために必要なこと

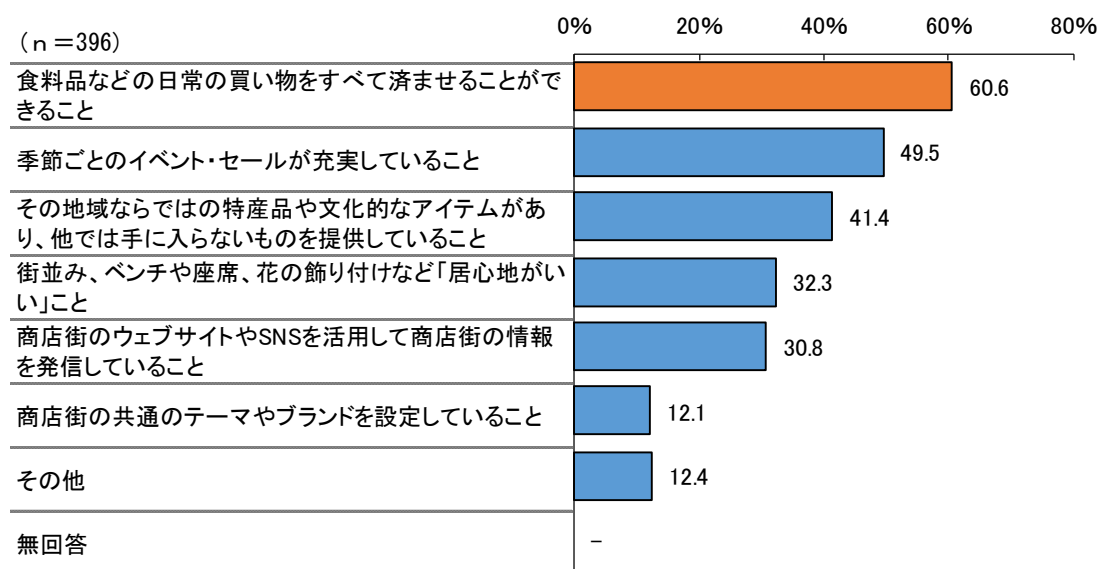
問 11 区内の商店街で買い物をしてもらうためには、どのようなことが必要だと思いますか？（あてはまるものをすべて選択）

買い物をしてもらうために必要なことについては、「食料品などの日常の買い物をすべて済ませることができること」が60.6%で最も高く、次いで「季節ごとのイベント・セールが充実していること」が49.5%となっている。

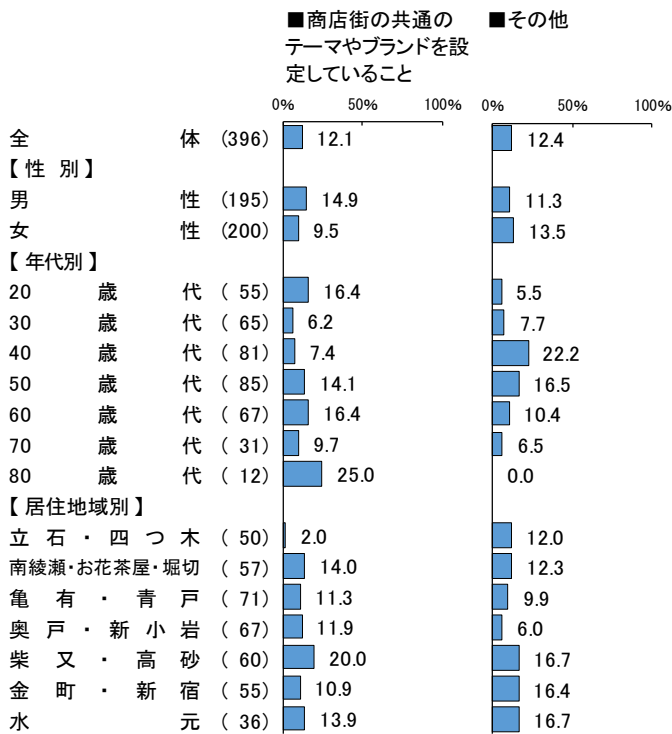
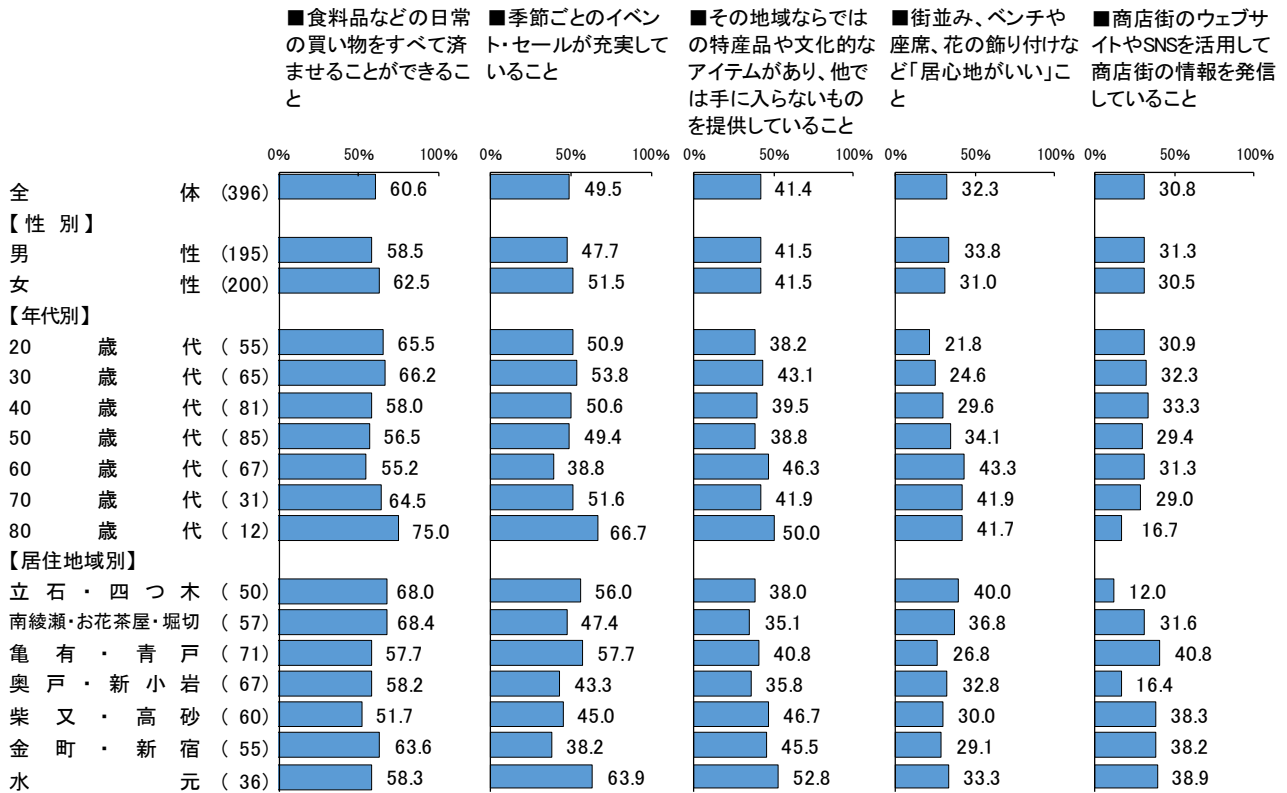
年代別でみると、「食料品などの日常の買い物をすべて済ませることができること」は、全ての年代で5割以上となっている。

「その他」の内容としては、「かつしかPAYの様な区内で使うと得なイベント」、「商店街共用のフードコート」、「商店街共通の通販サイトなどがあって、購入品をボックスで受け取りできるようなサービスがあれば使い勝手が良いと思う」などがある。

図表-21 買い物をしてもらうために必要なこと（全体）



図表-22 買い物をしてもらうために必要なこと
(全体・性別・年代別・居住地域別)



(12) 「葛飾区産業フェア」の認知度

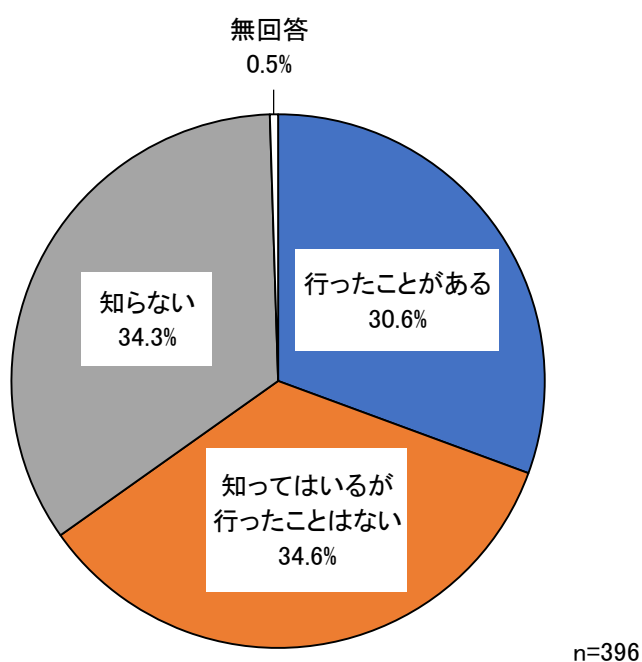
問 12 区では、毎年 10 月に区内の産業（商業・工業・農業・観光等）を広く知ってもらうための機会として、テクノプラザかつしか（青戸 7-2-1）において「葛飾区産業フェア」が開催しています。

あなたは、「葛飾区産業フェア」が開催されていることを知っていますか？（1つ選択）

「葛飾区産業フェア」の認知度については、「知っているが行ったことはない」が 34.6%で最も高く、次いで「知らない」が 34.3%、「行ったことがある」が 30.6%となっている。

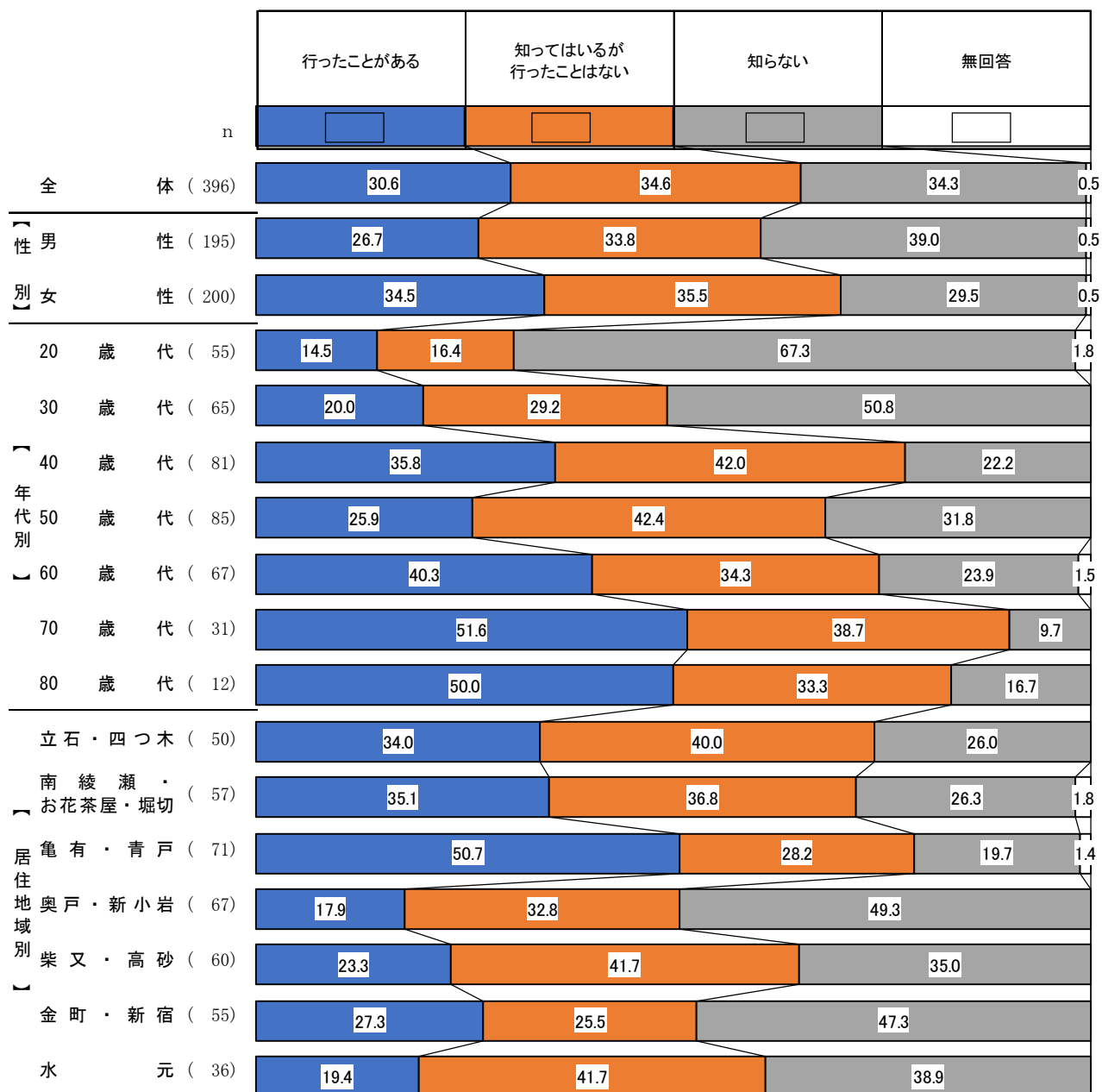
年代別でみると、「知らない」は 20 歳代で 67.3%と最も高く、次いで 30 歳代で 50.8%となっている。

図表-23 「葛飾区産業フェア」の認知度（全体）



図表-24 「葛飾区産業フェア」の認知度
(全体・性別・年代別・居住地域別)

(%)



(13) 「葛飾区産業フェア」でやりたいこと

問 13 「葛飾区産業フェア」に行くとしたら、どのようなことがしたいですか？

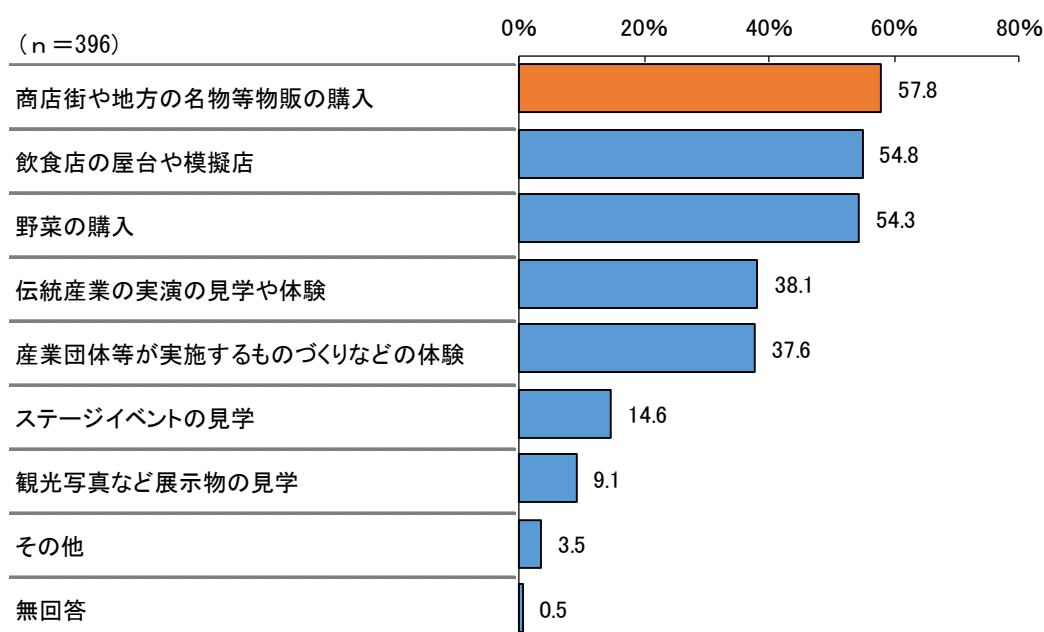
(あてはまるものをすべて選択)

「葛飾区産業フェア」でやりたいことについては、「商店街や地方の名物等物販の購入」が 57.8% で最も高く、次いで「飲食店の屋台や模擬店」が 54.8%、「野菜の購入」が 54.3%となっている。

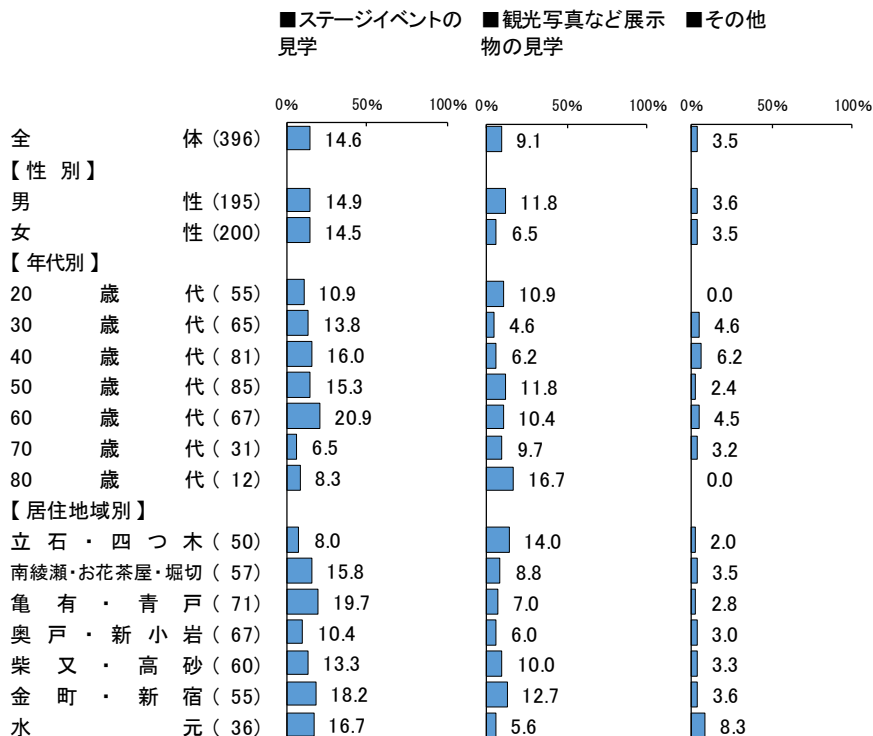
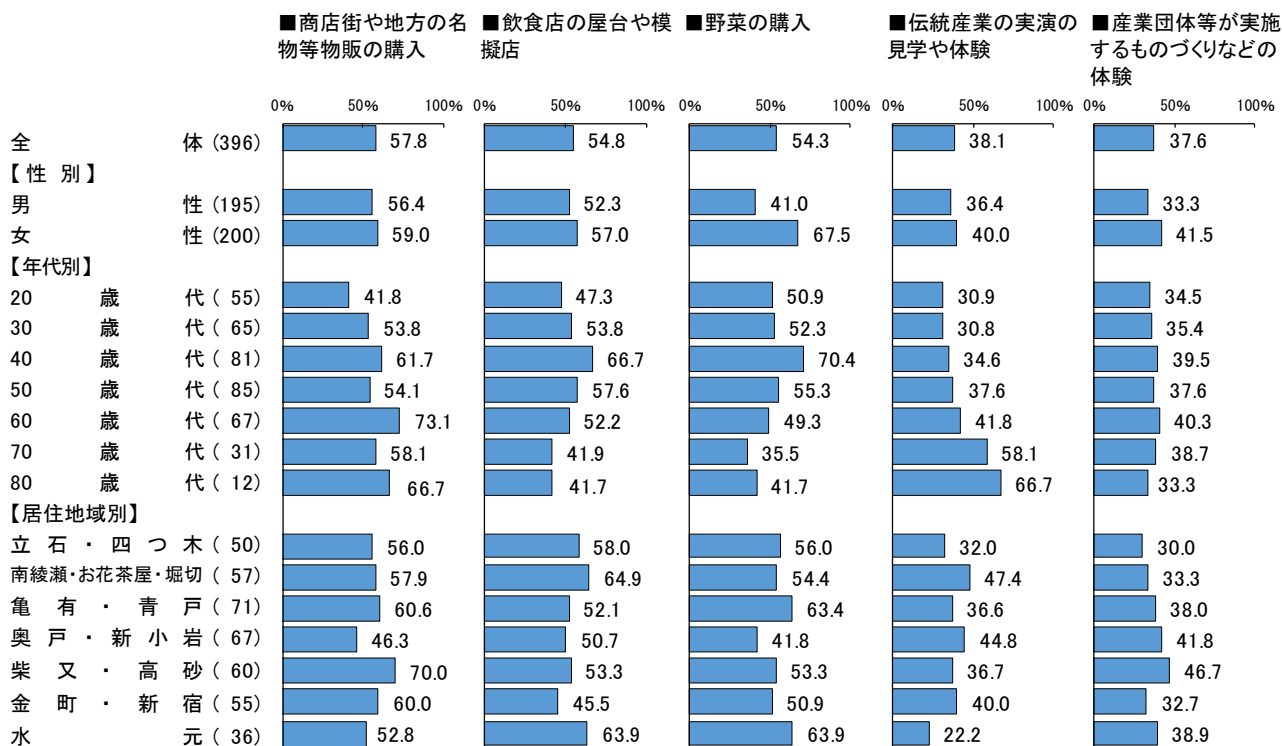
年代別でみると、「伝統産業の実演の見学や体験」が全ての年代で3割以上となっており、30歳代以降は、年代が上がっていくにつれて高くなっている。

「その他」の内容としては、「農産高校のジャムや味噌の購入」、「子ども関連のイベント」などがある。

図表-25 「葛飾区産業フェア」でやりたいこと (全体)



図表-26 「葛飾区産業フェア」でやりたいこと（全体）
（全体・性別・年代別・居住地域別）



(14) 「葛飾町工場物語」の認知度

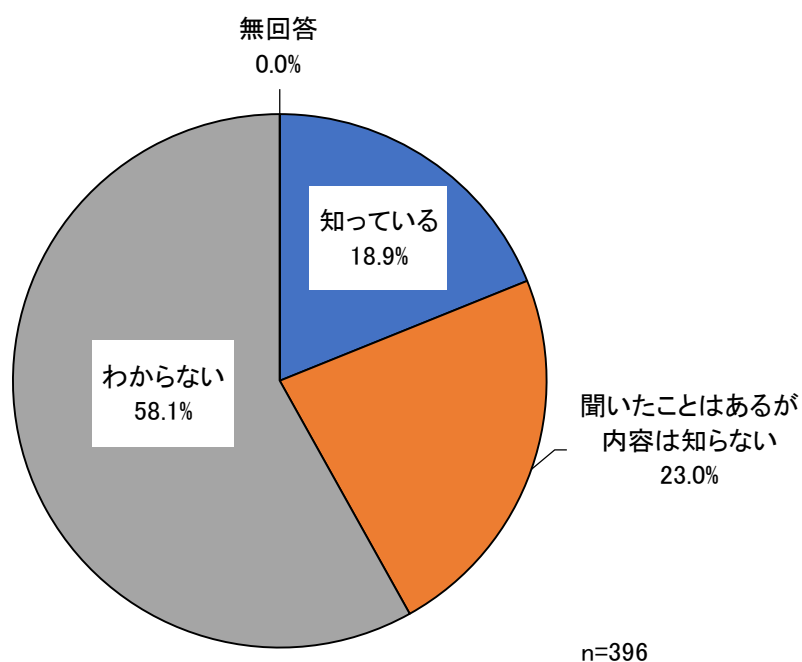
問 14 区では、葛飾区内で優れた技術等により製造された製品・部品などを葛飾ブランド「葛飾町工場物語」として認定し、その製品のみならず、開発・製造にまつわるエピソードを区内外に発信しております。

あなたは葛飾ブランド「葛飾町工場物語」を知っていますか？（1つ選択）

「葛飾町工場物語」の認知度については、「わからない」が58.1%で最も高く、次いで「聞いたことはあるが内容は知らない」が23.0%、「知っている」が18.9%となっている。

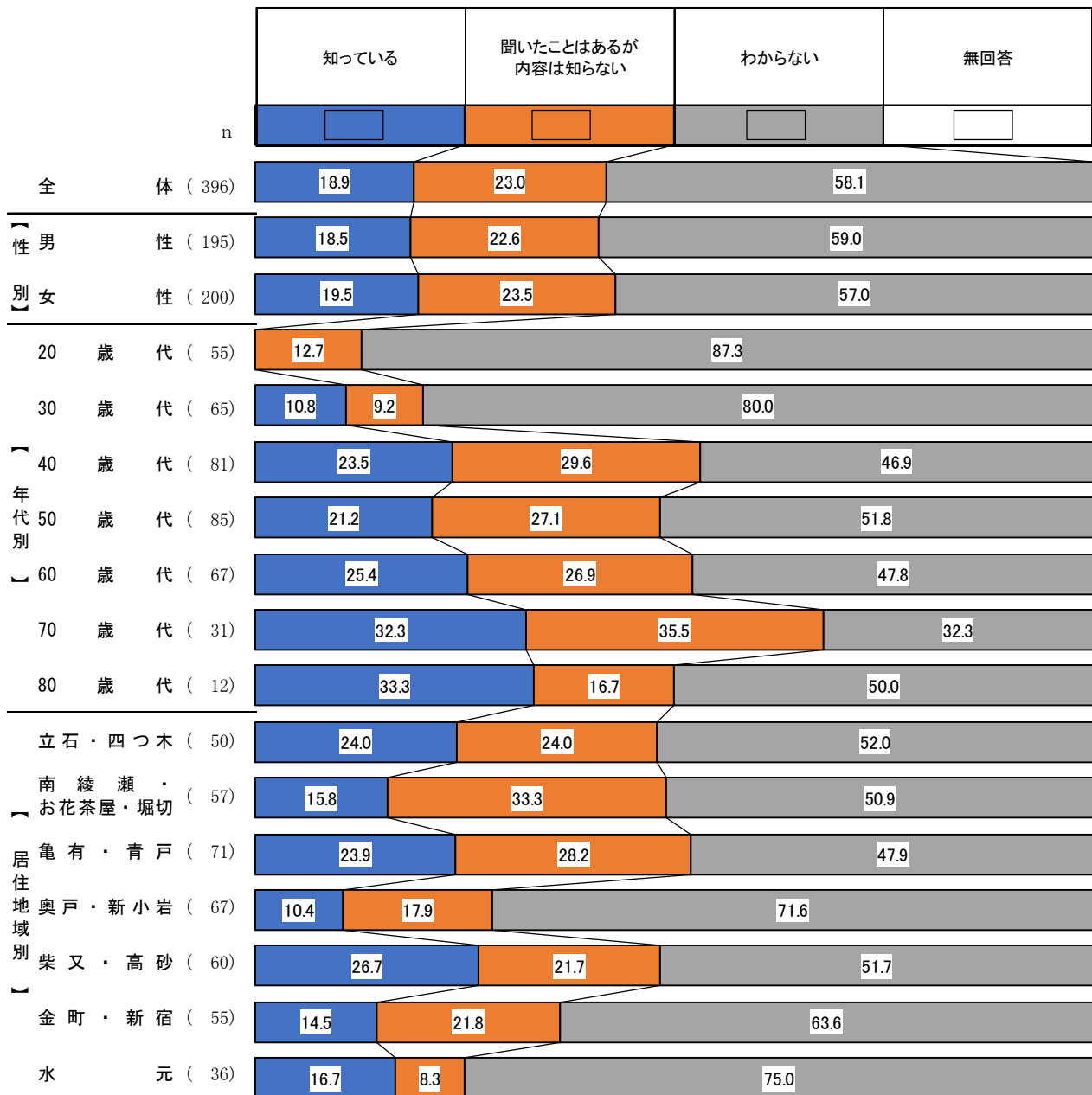
年代別でみると、「わからない」が20歳代と30歳代で8割以上となっている。

図表-27 「葛飾町工場物語」の認知度（全体）



図表-28 「葛飾町工場物語」の認知度
(全体・性別・年代別・居住地域別)

(%)



(15) 「葛飾町工場物語」認定製品の購入有無

問 14 で「知っている」「聞いたことはあるが内容は知らない」と答えた方にお伺いします。

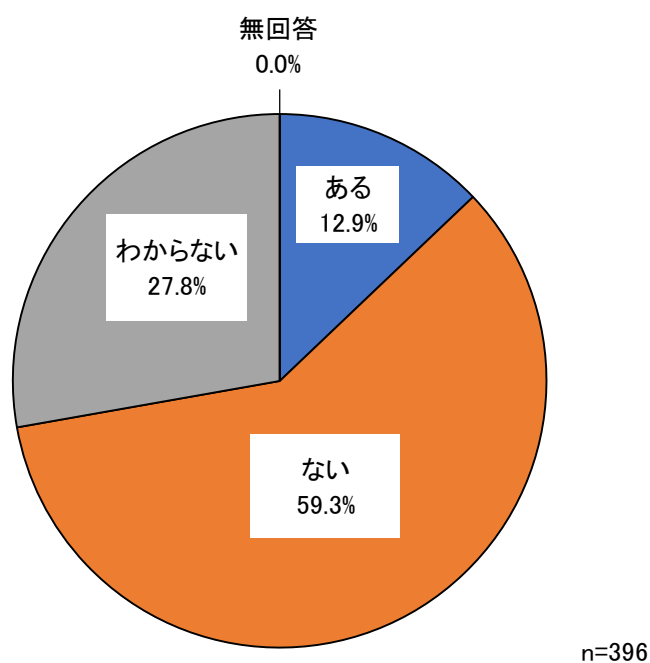
問 15 あなたは葛飾ブランド「葛飾町工場物語」の認定製品を買ったり、見たりしたことがありますか？（1つ選択）

「葛飾町工場物語」認定製品の購入有無については、「ない」が 59.3%、「ある」が 12.9%となっている。

年代別でみると、「ない」は全ての歳代で5割以上となっている。また、20歳代では「ある」は0.0%となっている。

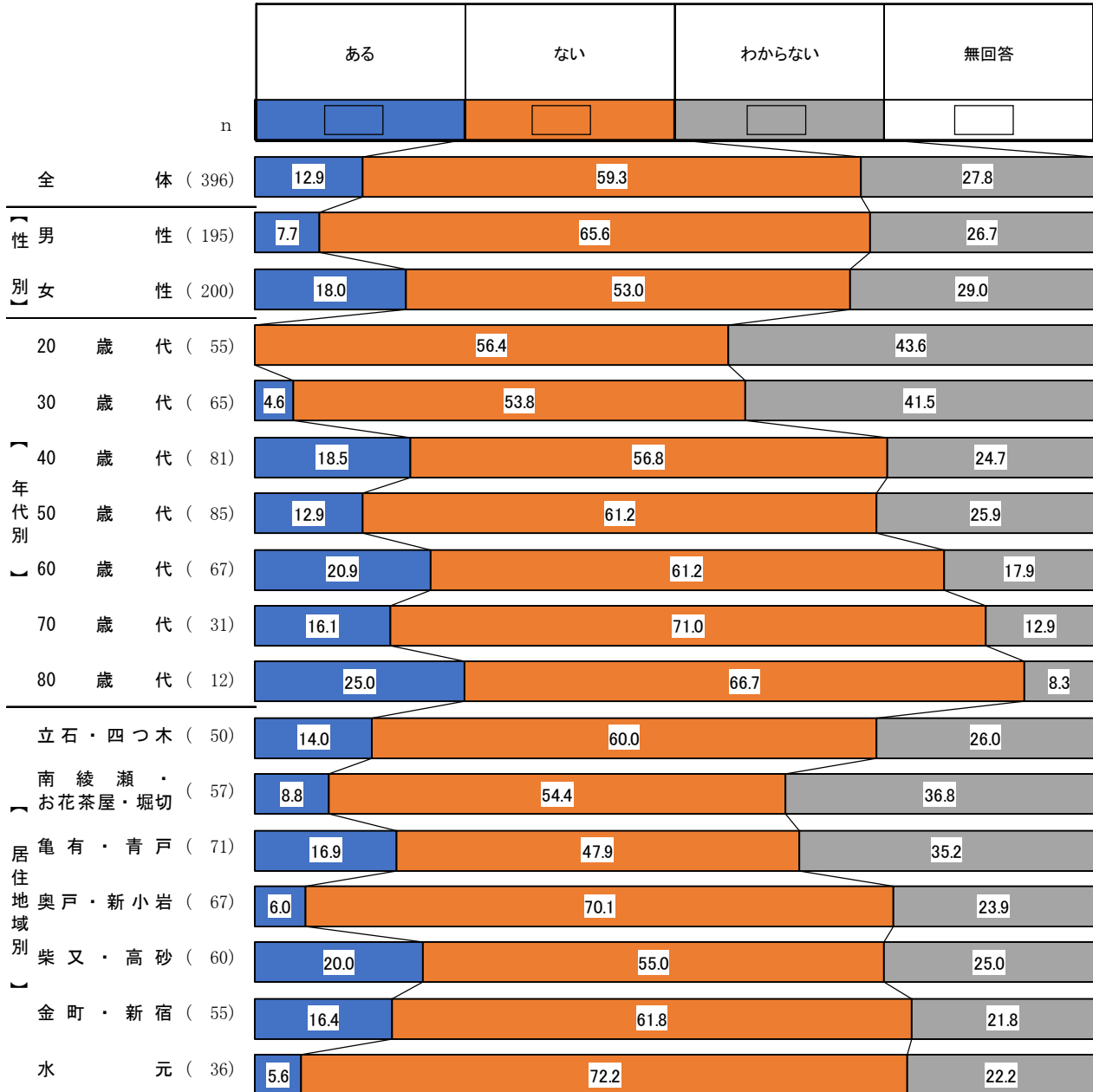
「ある」の具体的な内容としては、「北星鉛筆」、「段ボール枕」、「ワタナベ食品の旭カレー」などがある。

図表－29 「葛飾町工場物語」認定製品の購入有無（全体）



図表-30 「葛飾町工場物語」認定製品の購入有無
(全体・性別・年代別・居住地域別)

(%)



(16) 葛飾区の商工振興についての意見

問 16 葛飾区の商工振興についてご意見がございましたらご記入ください。(自由記述)

【主なご意見】

(情報発信について)

- ・外部への発信はされていると思うが、あまり目にする事が無いので、どのような産業があるのか具体的にはわからない。
- ・葛飾の伝統産業などをもっと宣伝したほうがよいと思う。
- ・イベントのお知らせをもっと宣伝してくれたら、参加したいと思う。
- ・区内には魅力的な企業や商店街があるのに、発信が少ないと感じている。
- ・もっと若者にもわかりやすくPRできたらいいと思う。
- ・地元野菜はもっとアピールした方が良く思う。
- ・SNSで積極的に発信したらいいと思う。

(商業に関して)

- ・参加している会社、自営業が少ないように感じる。
- ・住んでいる地区にももう少しいろんな種類の店舗があると嬉しい。
- ・下町らしい親しみのある商店街作りを希望します。
- ・商店街には駐車場が完備されておらず不便を感じる。
- ・再開発により商店街が一部なくなり残念に思う。

(工業に関して)

- ・伝統的産業の継承者の育成が必要だと思う。
- ・イベントや展示・体験などは、大型のショッピングモールで開催されていると行きやすい。
- ・この地域でしか作れない商品をシリーズ化して販売してみてもどうか。
- ・職人の仕事は、それなりの年月が必要なので、後継者不足などで衰退していったほしくない。
- ・江戸切子や北星えんぴつなどもっと推してはどうか。
- ・地域の町工場の良さを小中学校の授業等で活用してほしい。
- ・色んな工場に招待してほしい。
- ・「葛飾区=産業フェア」みたいに代表的なイベントの1つになってほしい。

(全体的な意見)

- ・人手不足解消策を積極的に行うべきだと感じる。
- ・子どもも外国人も参加できるイベントがあれば嬉しい。
- ・若い世代に活躍してほしい。
- ・区内の商工振興は区民にとって大切なので力を入れてほしい。
- ・葛飾区の独自性、強みを活かすことが大事だと思う。

2. 文化芸術について

新型コロナウイルスの蔓延により、音楽や美術品を鑑賞する機会をはじめ、活動そのものが制限されるなど、文化芸術は大変な影響を受けました。

今回、アフターコロナにおける文化芸術に対する意識や活動状況などを調査し、葛飾区における今後の文化芸術の施策推進や発展に寄与させるため、皆様のご意見をお伺いします。

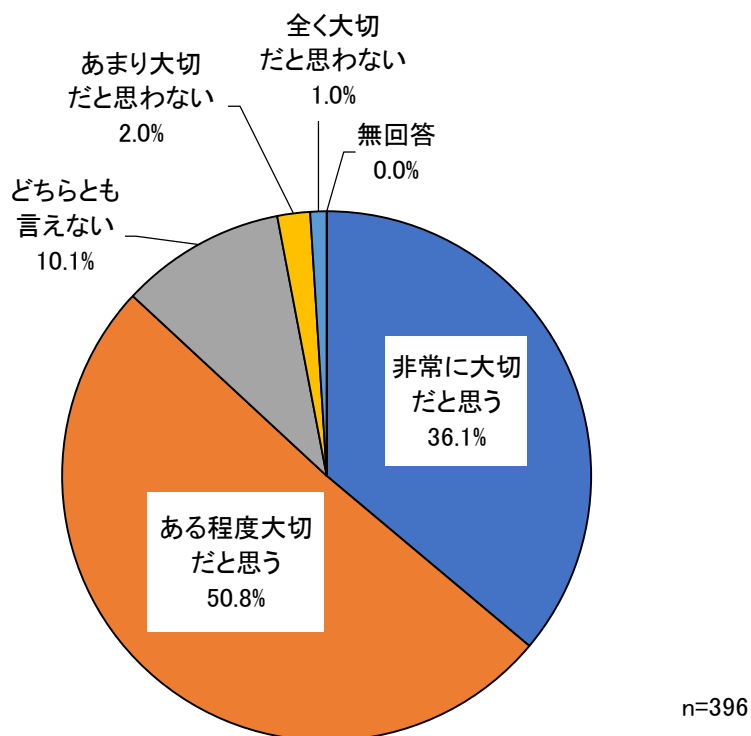
(17) 文化芸術活動を鑑賞、行うことの大切さ

問 17 あなたは、区民が文化芸術を鑑賞することや、自ら文化芸術活動を行うことは大切だと思いますか？（1つ選択）

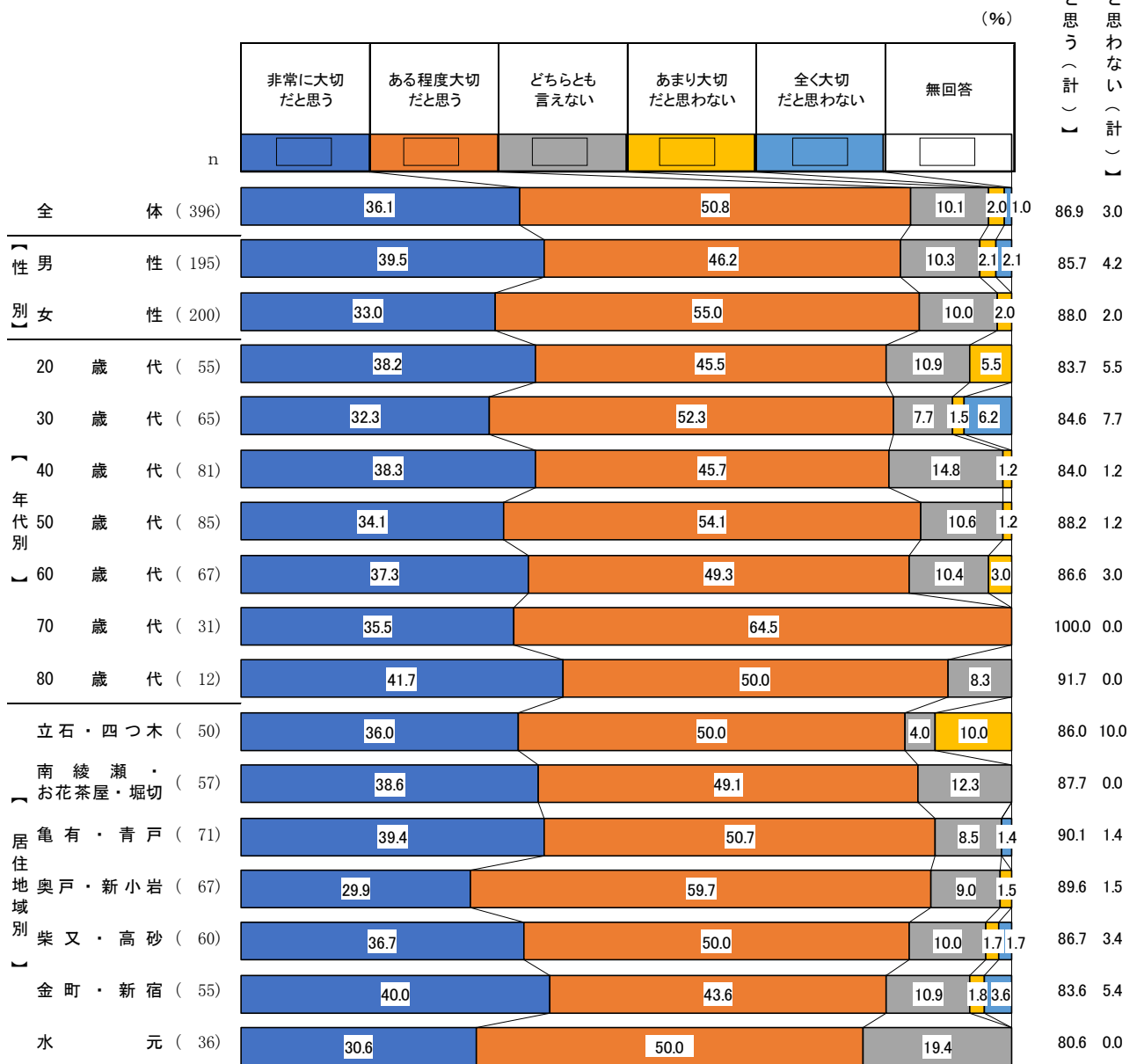
文化芸術活動を鑑賞、行うことの大切さについては、「非常に大切だと思う」と「ある程度大切だと思う」を合わせた【大切だと思う（計）】は、86.9%となっている。一方、「あまり大切だと思わない」と「全く大切だと思わない」を合わせた【大切だと思わない（計）】は、3.0%となっている。

年代別にみると、【大切だと思う（計）】は、全ての年代で8割以上となっている。

図表-31 文化芸術活動を鑑賞、行うことの大切さ（全体）



図表-32 文化芸術活動を鑑賞、行うことの大切さ
(全体・性別・年代別・居住地域別)



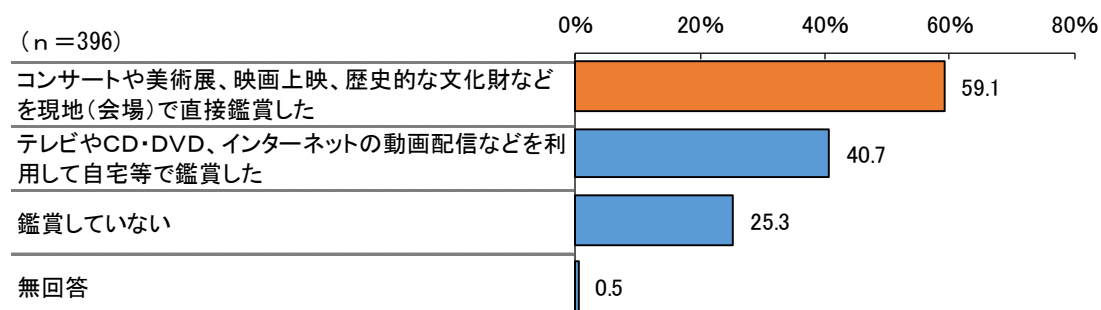
(18) 文化芸術の鑑賞の有無と手段

問 18 あなたは、この1年間に文化芸術を鑑賞しましたか？また、鑑賞の手段を教えてください。（あてはまるものをすべて選択）

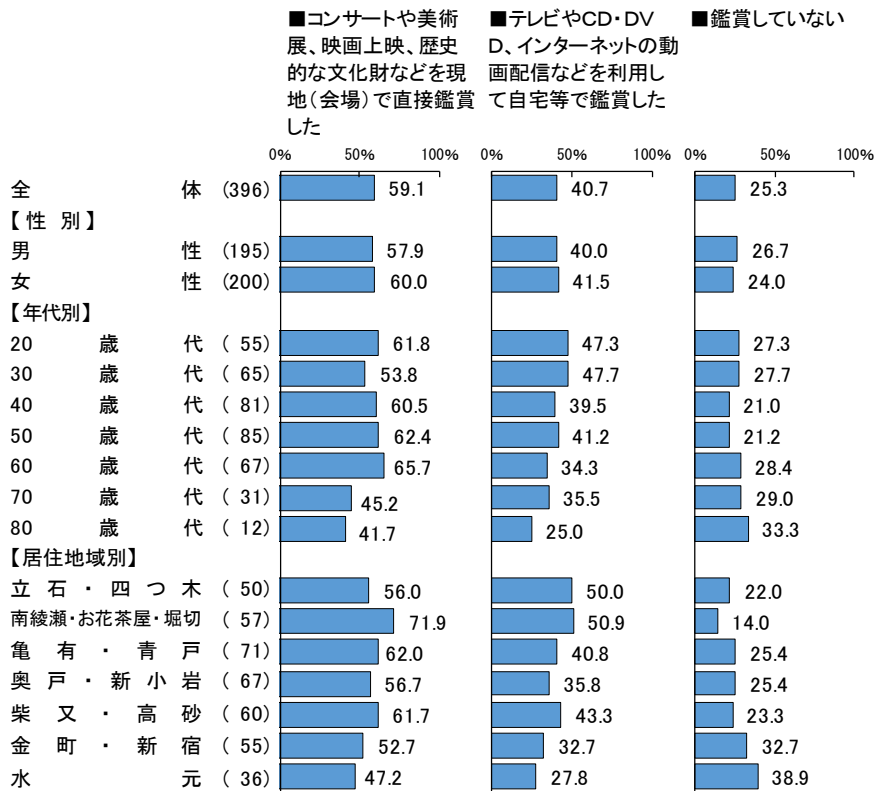
文化芸術の鑑賞の有無と手段については、「コンサートや美術展、映画上映、歴史的な文化財などを現地（会場）で鑑賞した」が59.1%で最も高く、次いで「テレビやCD・DVD、インターネットの動画配信などを利用して自宅等で鑑賞した」が40.7%、「鑑賞していない」が25.3%となっている。

年代別で見ると、「テレビやCD・DVD、インターネットの動画配信などを利用して自宅等で鑑賞した」では、80歳代以外の全ての年代で3割以上となっている。

図表-33 文化芸術の鑑賞の有無と手段（全体）



図表-34 文化芸術の鑑賞の有無と手段
(全体・性別・年代別・居住地域別)



(19) 鑑賞した文化芸術

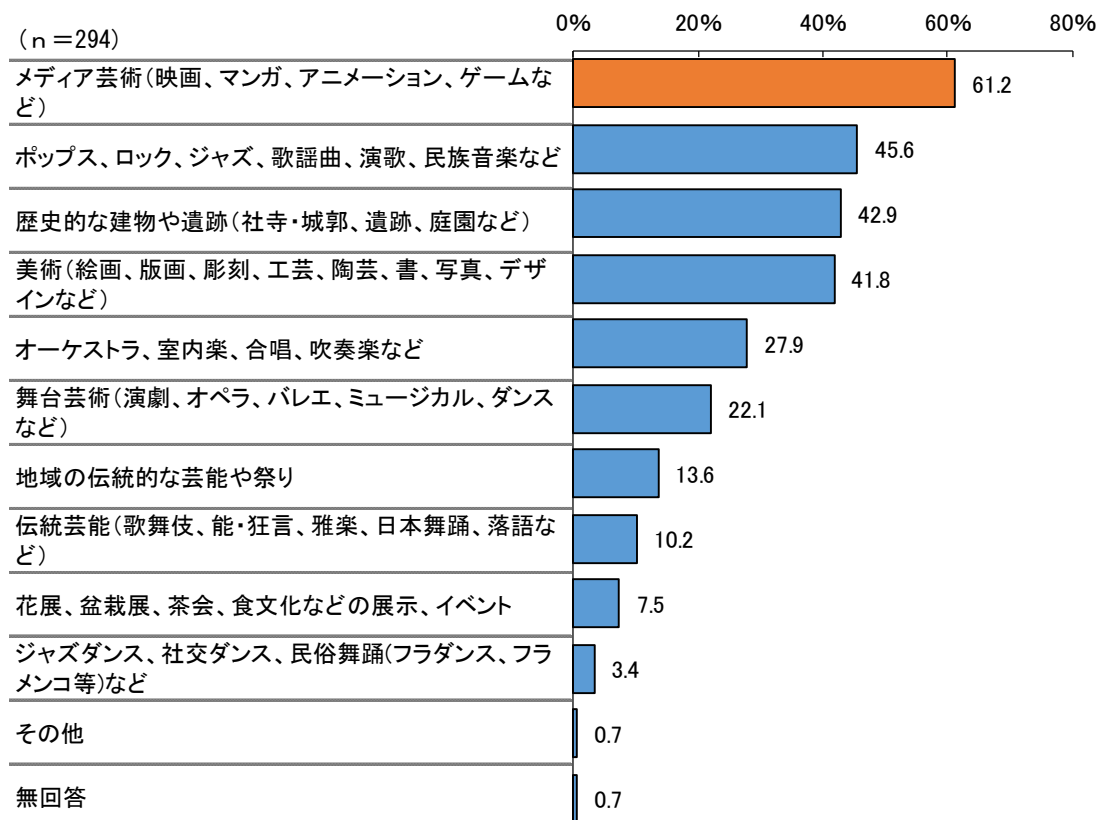
問 18 で「コンサートや美術展、映画上映、歴史的な文化財などを現地（会場）で直接鑑賞した」「テレビやCD・DVD、インターネットの動画配信などを利用して自宅等で鑑賞した」と答えた方に伺います。

問 19 鑑賞した文化芸術はどのようなものですか？（あてはまるものをすべて選択）

鑑賞した文化芸術については、「メディア芸術（映画、マンガ、アニメーション、ゲームなど）」が 61.2%で最も高く、次いで「ポップス、ロック、ジャズ、歌謡曲、演歌、民族音楽など」が 45.6%、「歴史的な建物や遺跡（社寺・城郭、遺跡、庭園など）」が 42.9%となっている。

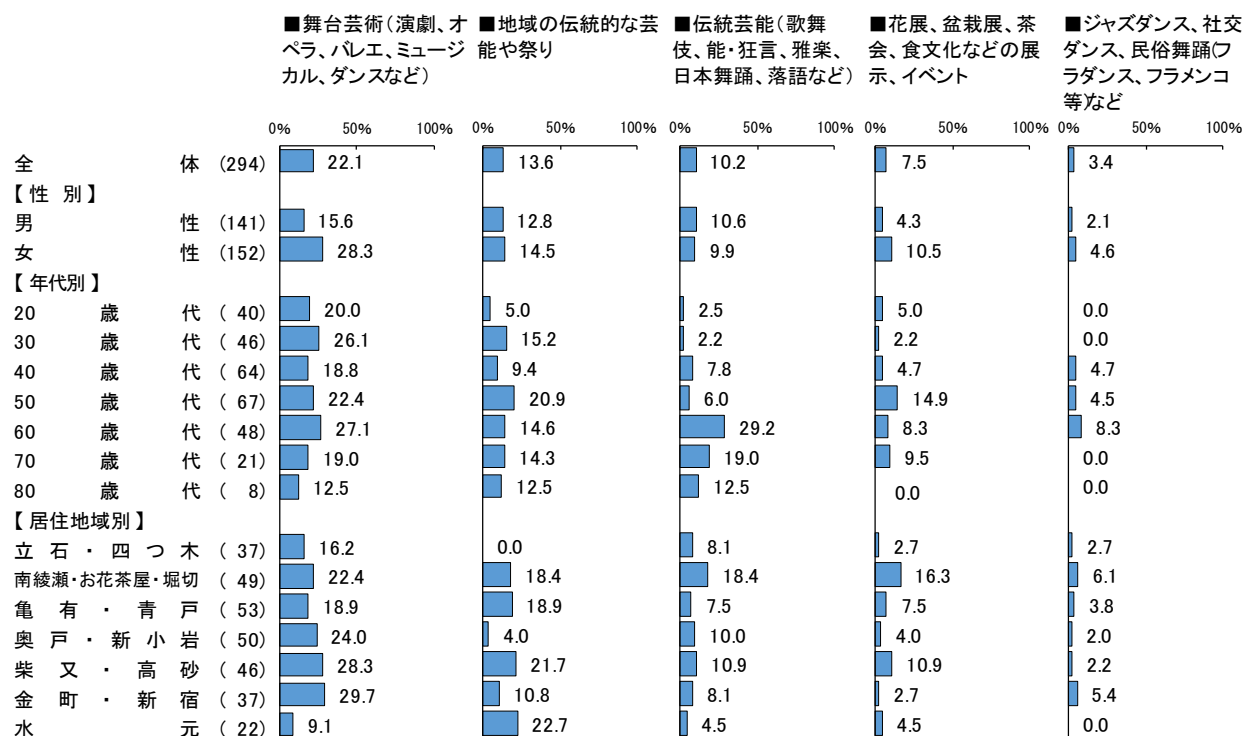
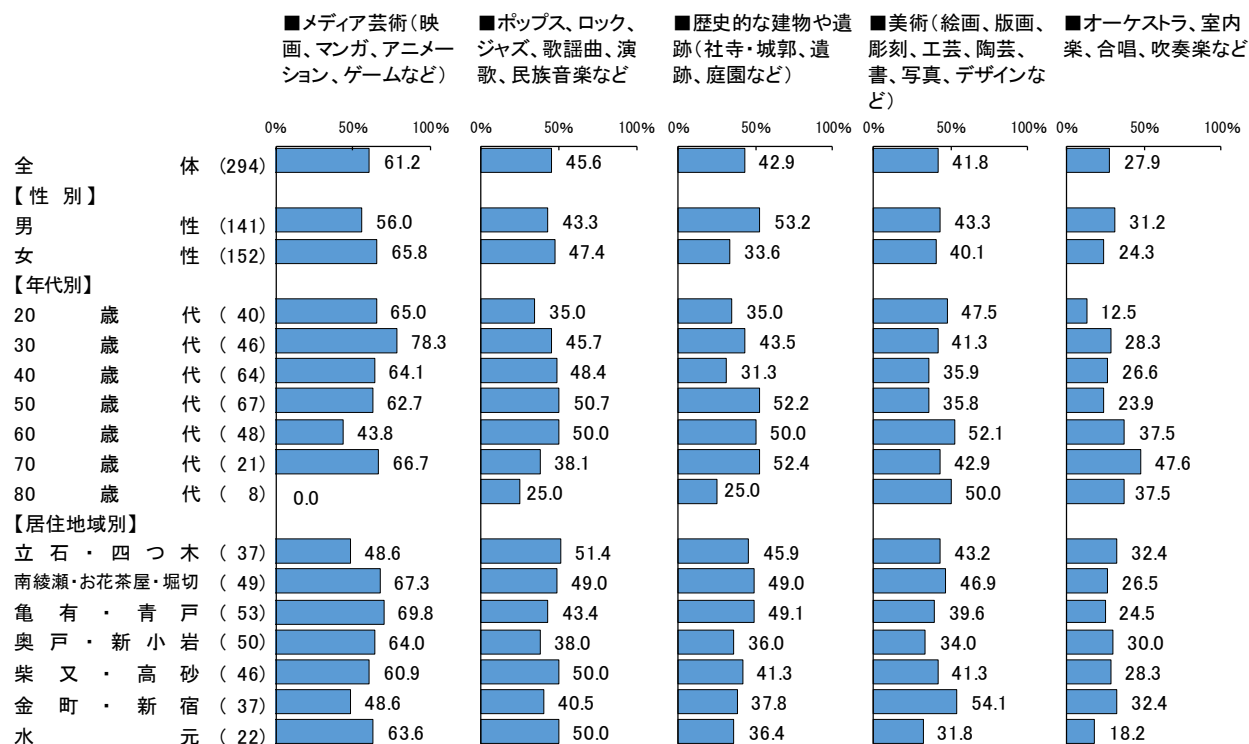
年齢別にみると、「メディア芸術（映画、マンガ、アニメーション、ゲームなど）」では 80 歳代が 0.0%となっており、それ以外の年代では 4 割以上となっている。

図表－35 鑑賞した文化芸術（全体）



図表-36 鑑賞した文化芸術

(全体・性別・年代別・居住地域別—上位10項目)



(20) 1年間の鑑賞頻度

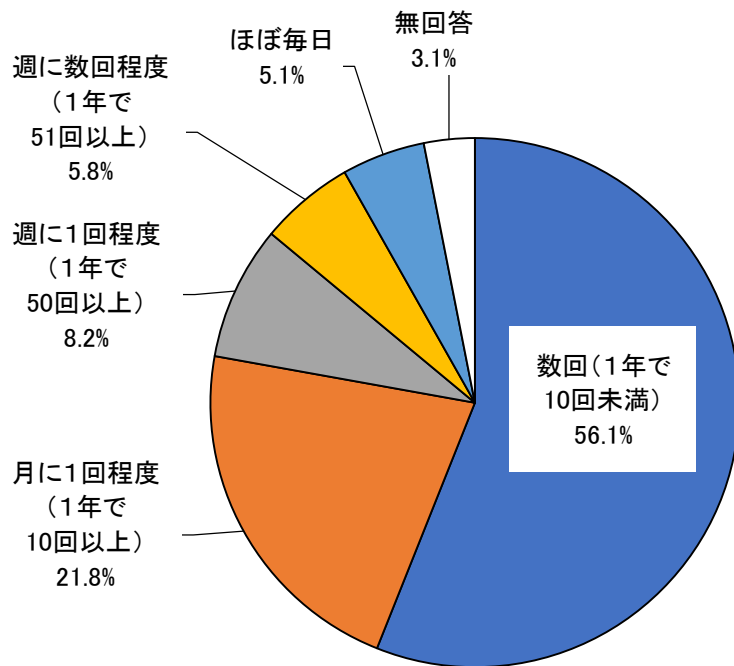
問 18 で「コンサートや美術展、映画上映、歴史的な文化財などを現地（会場）で直接鑑賞した」・「テレビやCD・DVD、インターネットの動画配信などを利用して自宅等で鑑賞した」と答えた方に伺います。

問 20 この1年間の鑑賞頻度を教えてください。（1つ選択）

1年間の鑑賞頻度については、「数回（1年で10回未満）」が56.1%で最も高く、次いで「月に1回程度（1年で10回以上）」が21.8%、「週に1回程度（1年で50回以上）」が8.2%となっている。

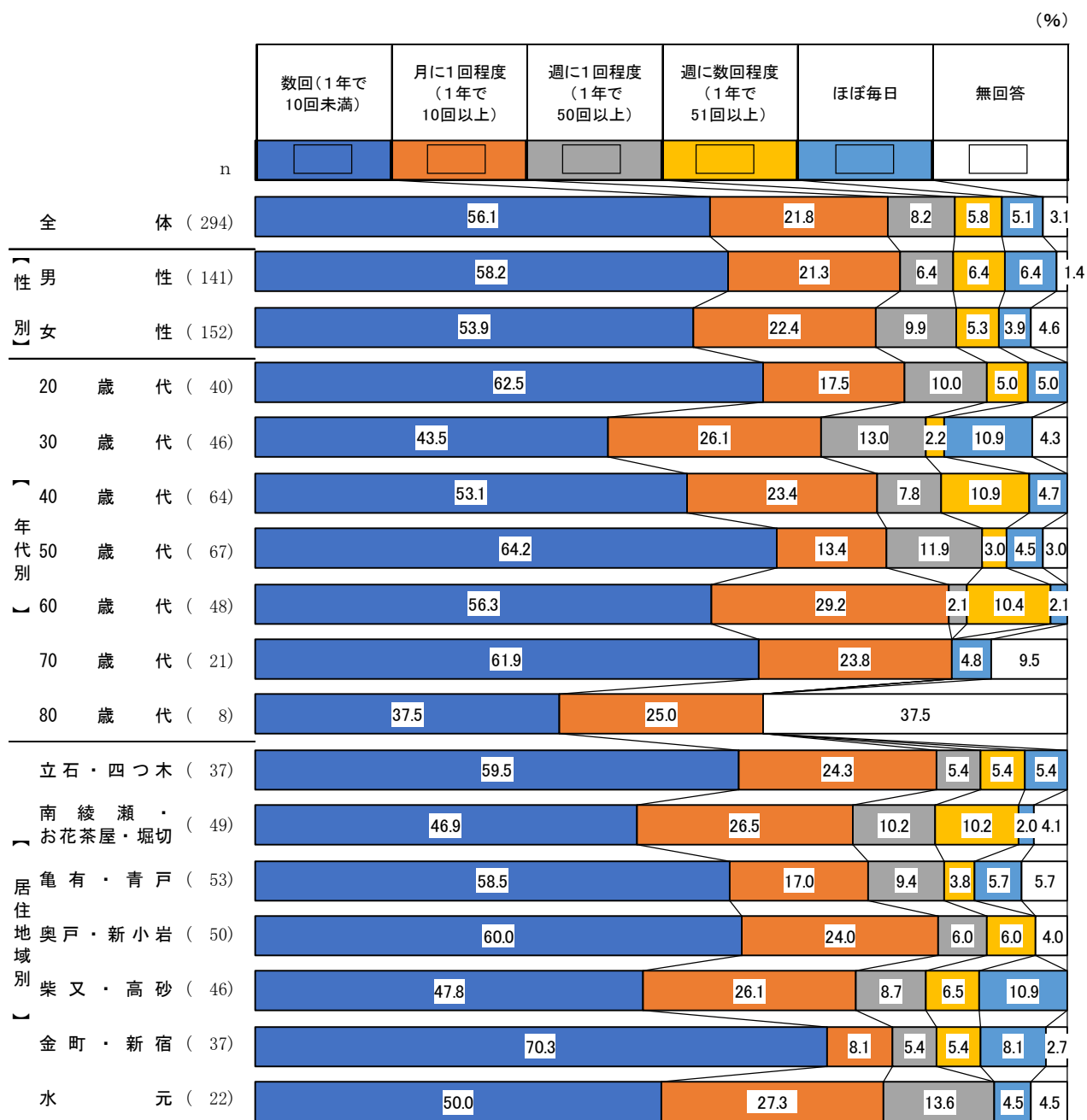
年代別にみると、「数回（1年で10回未満）」は全ての年代で3割以上となっている。

図表－37 1年間の鑑賞頻度（全体）



n=294

図表-38 1年間の鑑賞頻度
(全体・性別・年代別・居住地域別)



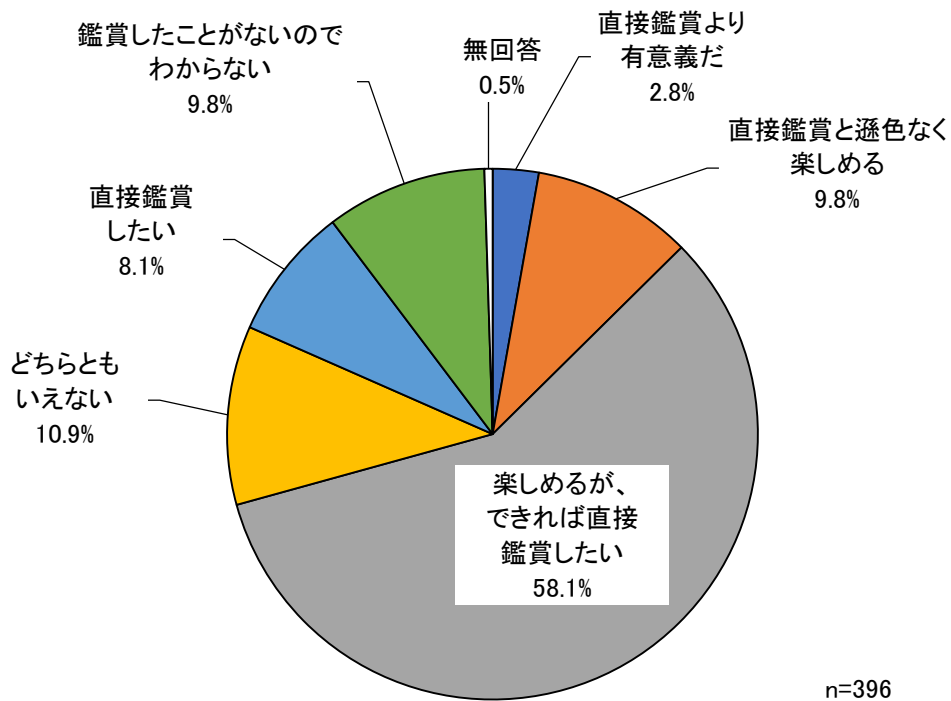
(21) 動画配信などを利用して文化芸術を鑑賞することについて

問 21 自宅等でインターネットの動画配信などを利用して文化芸術を鑑賞することについて、どのようにお考えですか？（1つ選択）

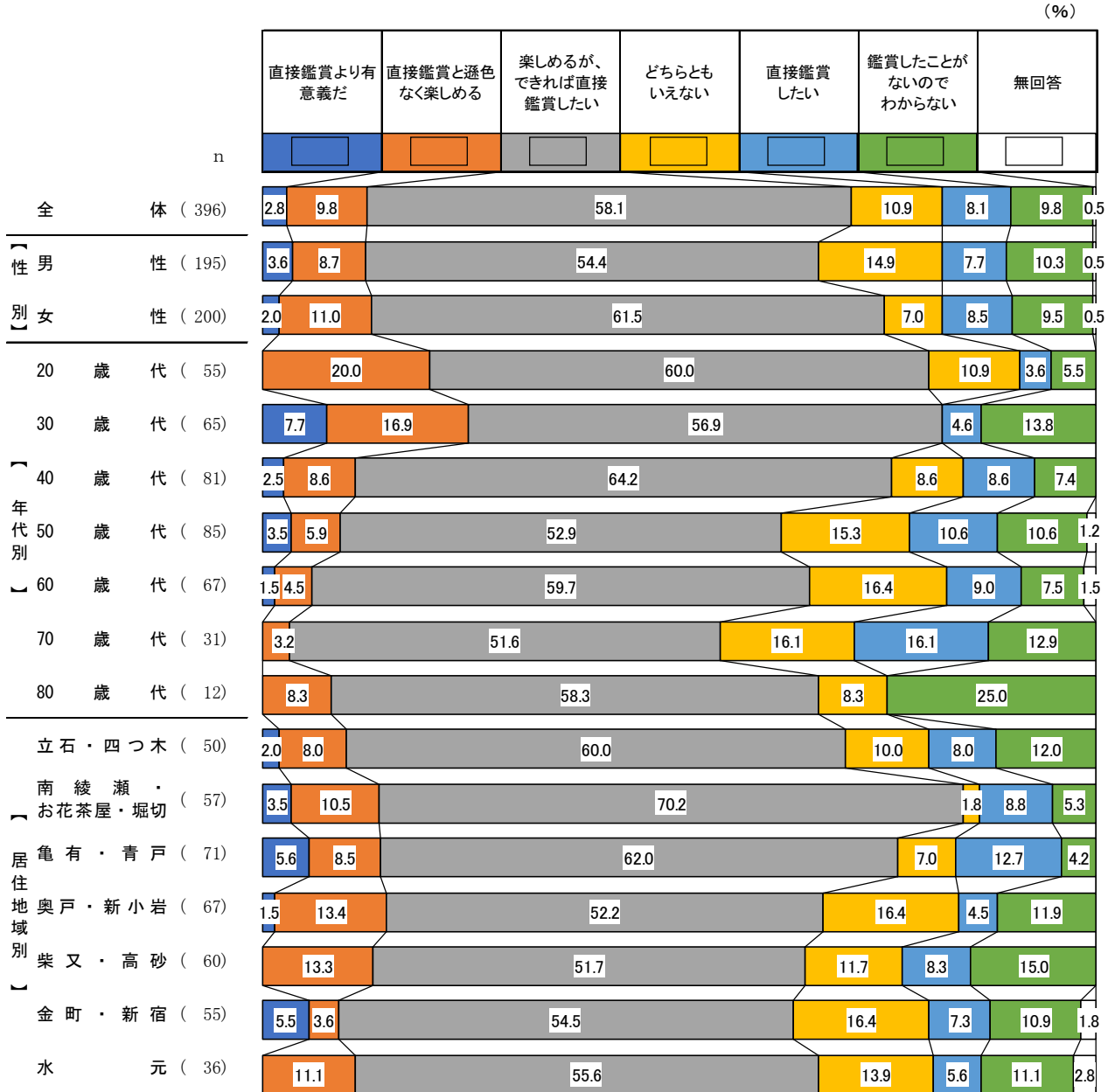
動画配信などを利用して文化芸術を鑑賞することについては、「楽しめるが、できれば直接鑑賞したい」が58.1%で最も高く、次いで「どちらともいえない」が10.9%、「直接鑑賞と遜色なく楽しめる」、「鑑賞したことがないのでわからない」がともに9.8%となっている。

年代別にみると、「直接鑑賞と遜色なく楽しめる」が20歳代と30歳代で1割半ば以上となっている。

図表－39 動画配信などを利用して文化芸術を鑑賞することについて（全体）



図表-40 動画配信などを利用して文化芸術を鑑賞することについて
(全体・性別・年代別・居住地域別)



(22) 文化芸術活動を行ったか

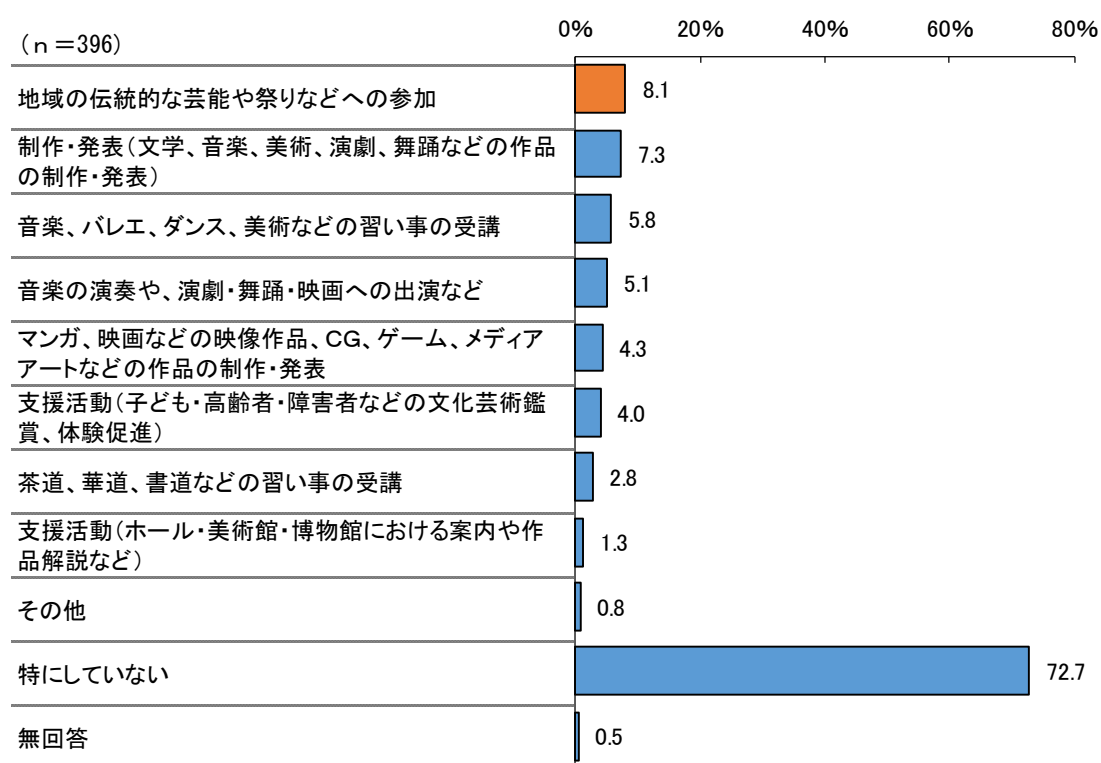
問 22 あなたは、この1年間に次に挙げる文化芸術活動を行いましたか？

(あてはまるものをすべて選択)

文化芸術活動を行ったかについては、「特にしていない」が72.7%で最も高くなっている。行っているものでは、「地域の伝統的な芸能や祭りなどへの参加」が8.1%で最も高く、次いで、「制作・発表（文学、音楽、美術、演劇、舞踊などの作品の制作・発表）」が7.3%となっている。

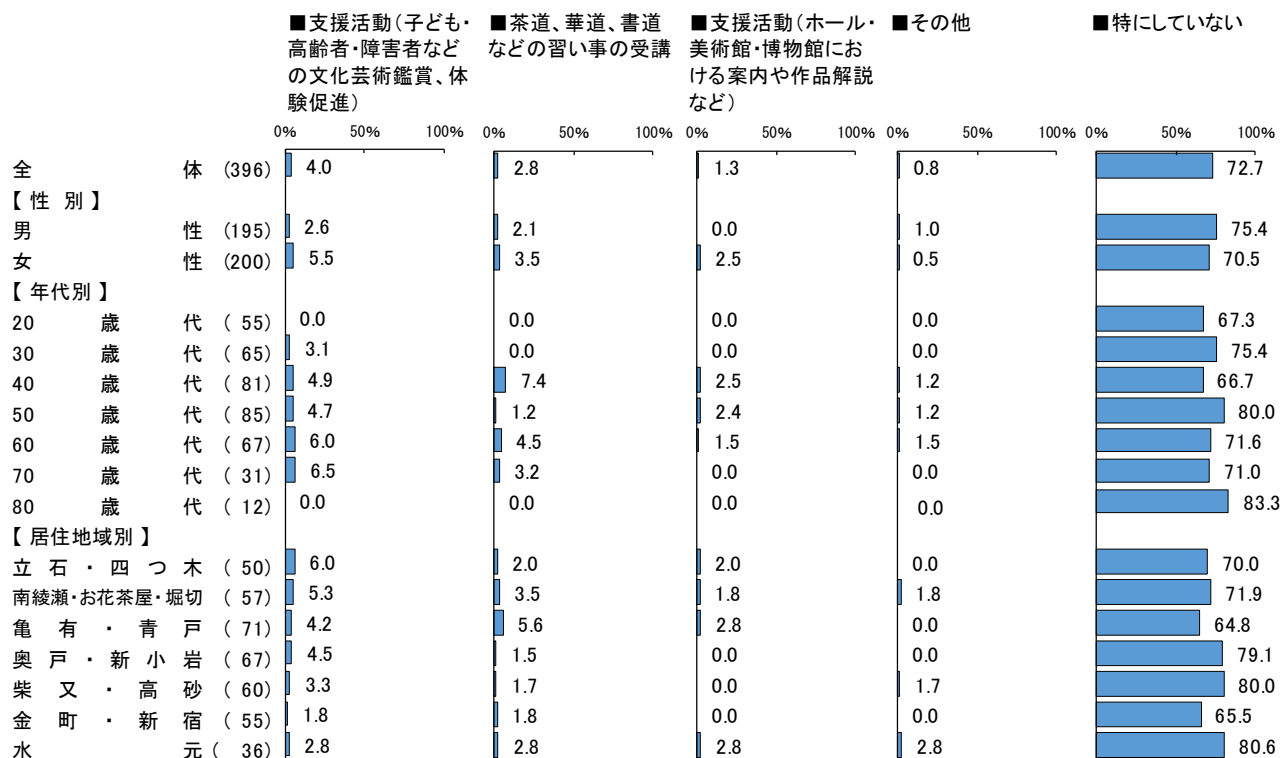
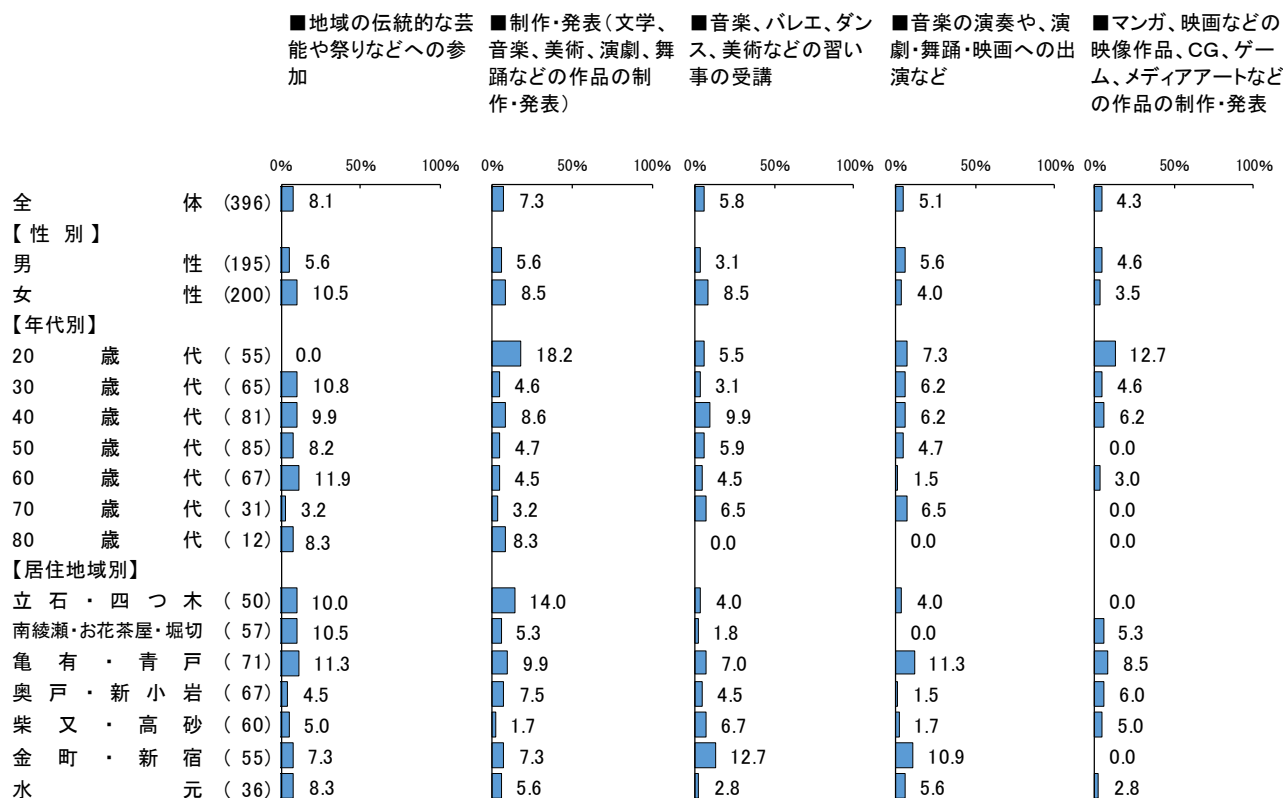
年代別でみると、「制作・発表（文学、音楽、美術、演劇、舞踊などの作品の制作・発表）」では、20歳代で1割半ば以上となっている。

図表-41 文化芸術活動を行ったか（全体）



図表-42 文化芸術活動を行ったか

(全体・性別・年代別・居住地域別—上位10項目)



(23) この1年間の活動頻度

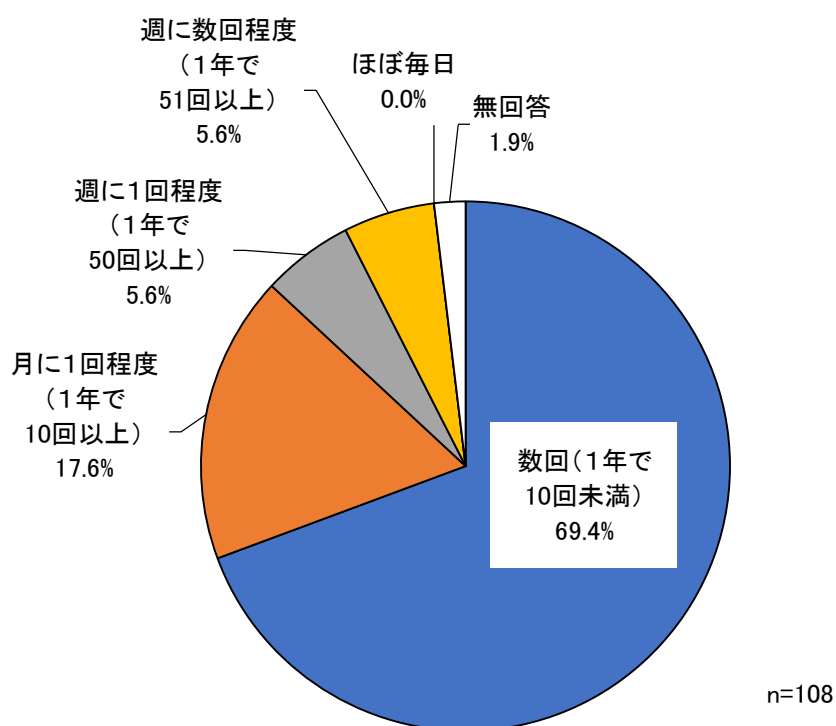
問 22 で「文化芸術活動を行った」と答えた方に伺います。

問 23 この1年間の活動頻度を教えてください。(1つ選択)

この1年間の活動頻度については、「数回(1年で10回未満)」が69.4%で最も高く、次いで「月に1回程度(1年で10回以上)」が17.6%、「週に1回程度(1年で50回以上)」、「週に数回程度(1年で51回以上)」がともに5.6%となっている。

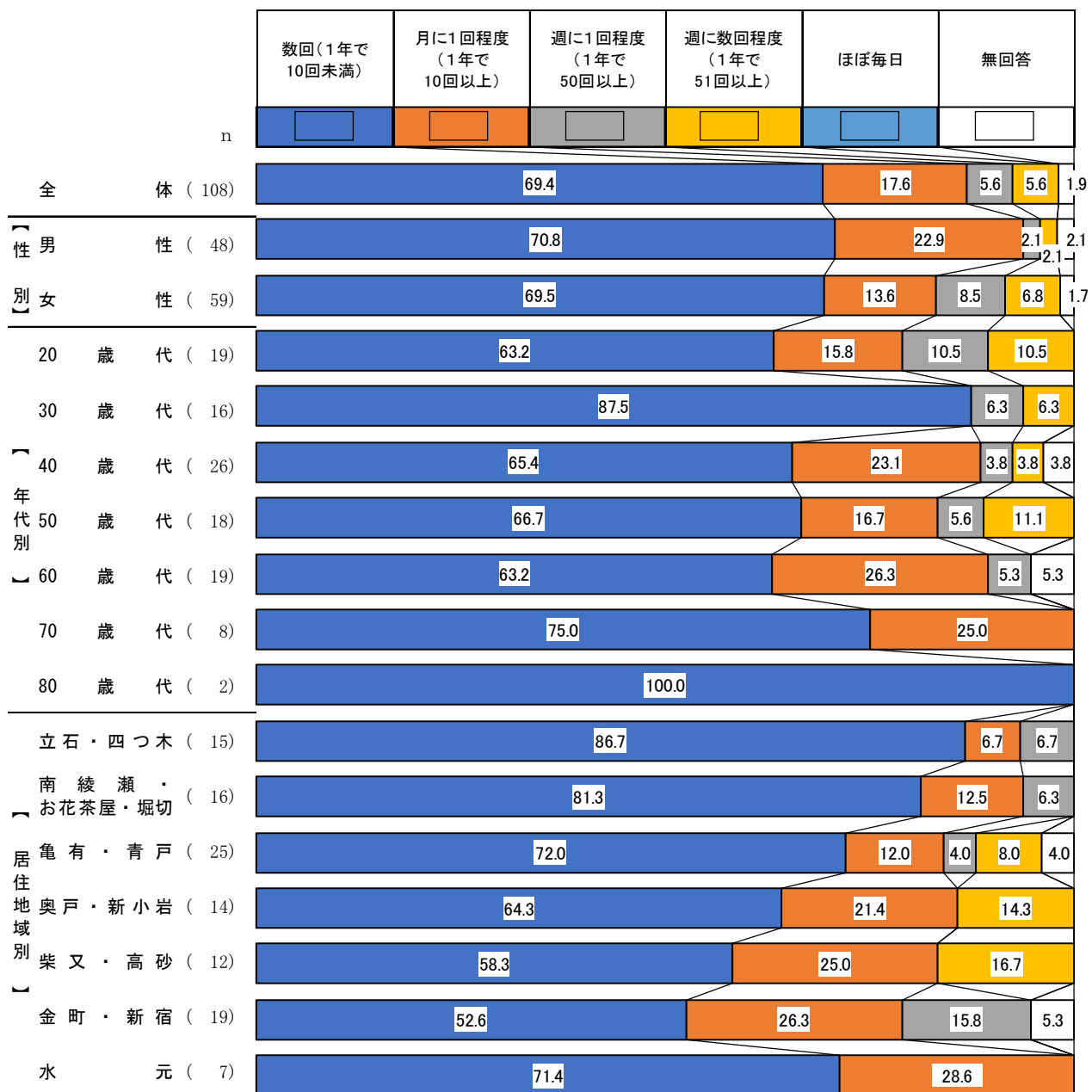
年代別でみると、「数回(1年で10回未満)」は、80歳代で100.0%となっており、ほかの全ての年代でも6割以上となっている。

図表-43 この1年間の活動頻度(全体)



図表-44 この1年間の活動頻度
(全体・性別・年代別・居住地域別)

(%)



(24) 文化活動を行う場所

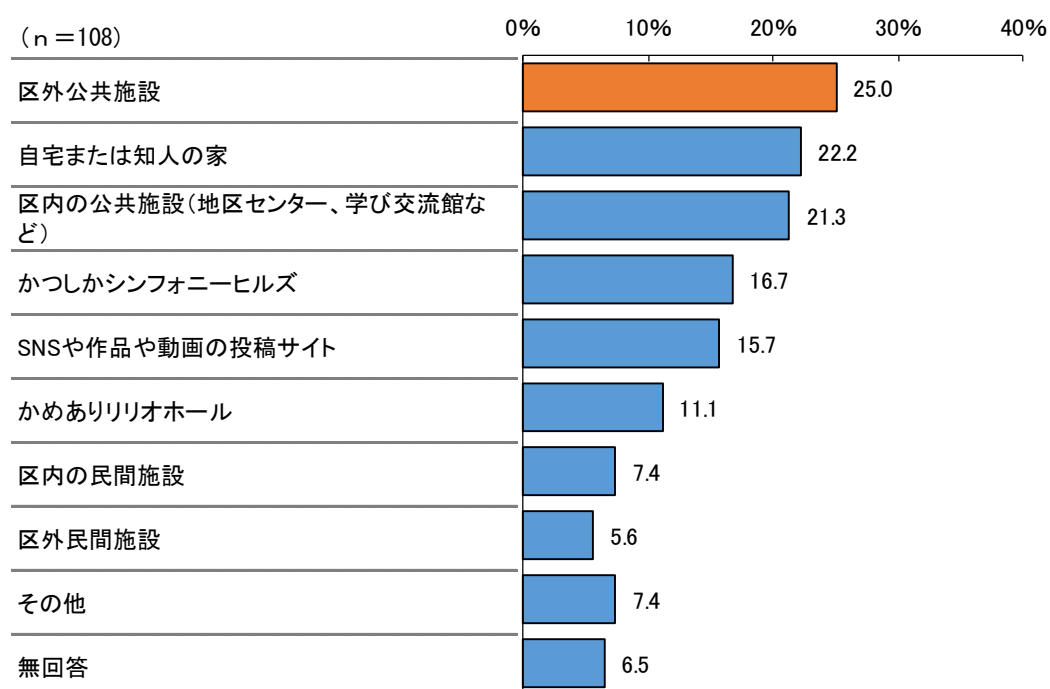
問 22 で「文化芸術活動を行った」と答えた方に伺います。

問 24 文化芸術活動を行う場所はどこですか？（あてはまるものを全て選択）

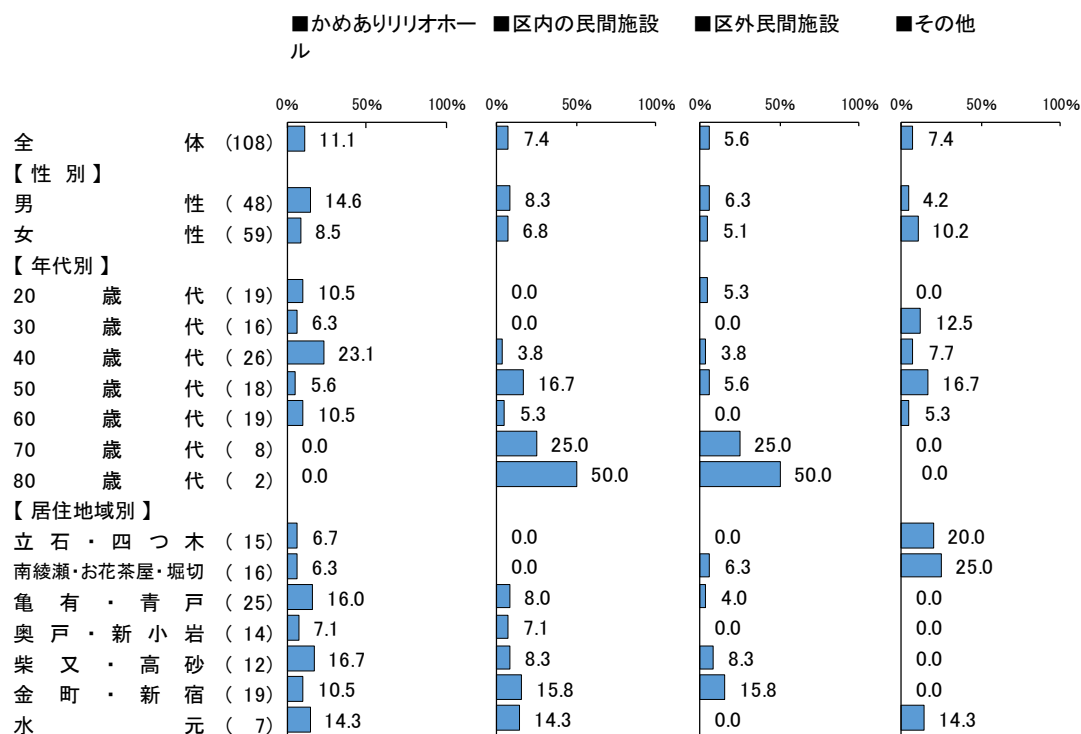
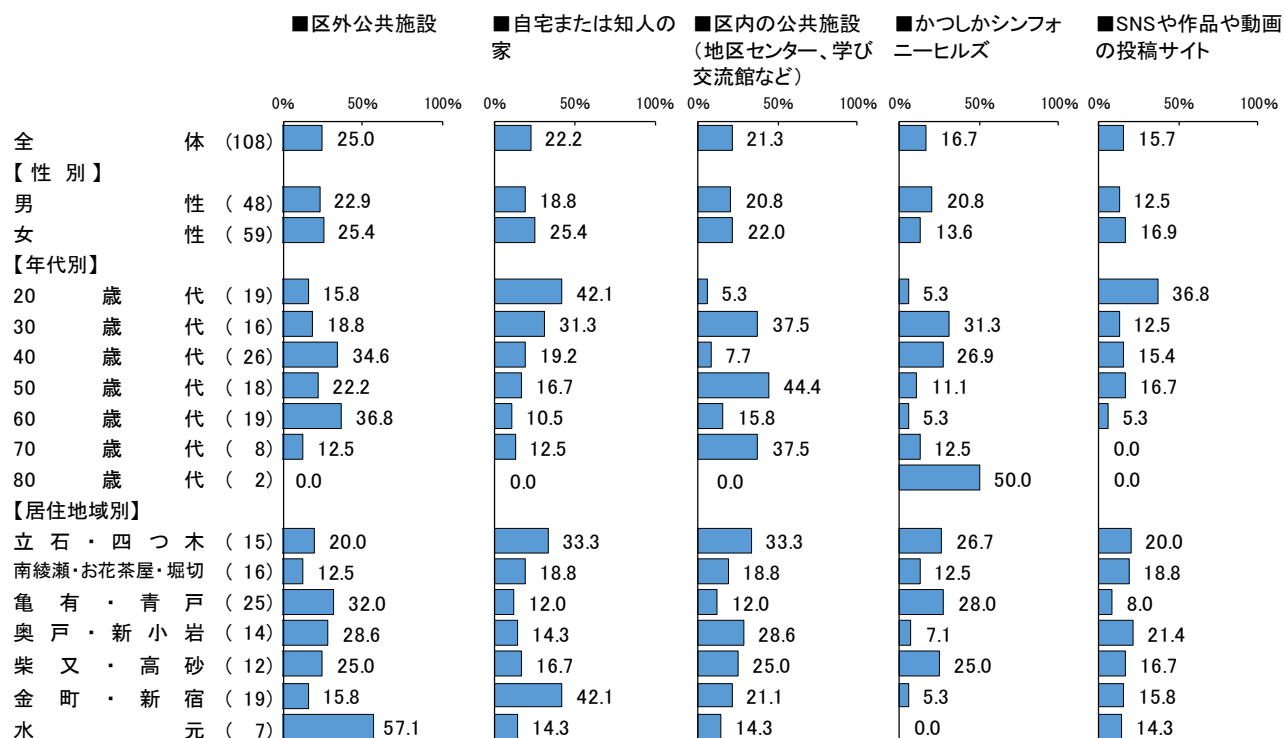
文化活動を行う場所については、「区外公共施設」が 25.0%で最も高く、次いで「自宅または知人の家」が 22.2%、「区内の公共施設（地区センター、学び交流館など）」が 21.3%となっている。

「区内の民間施設」の内容としては、「神社」、「スポーツクラブ」、「デイサービス施設」など、「区外民間施設」の内容としては、「ダンスクラブ」、「王子ホール」などがある。

図表－45 文化活動を行う場所（全体）



図表-46 文化活動を行う場所
(全体・性別・年代別・居住地域別)



(25) どのような情報を充実させれば、文化芸術の鑑賞や活動に役立つか

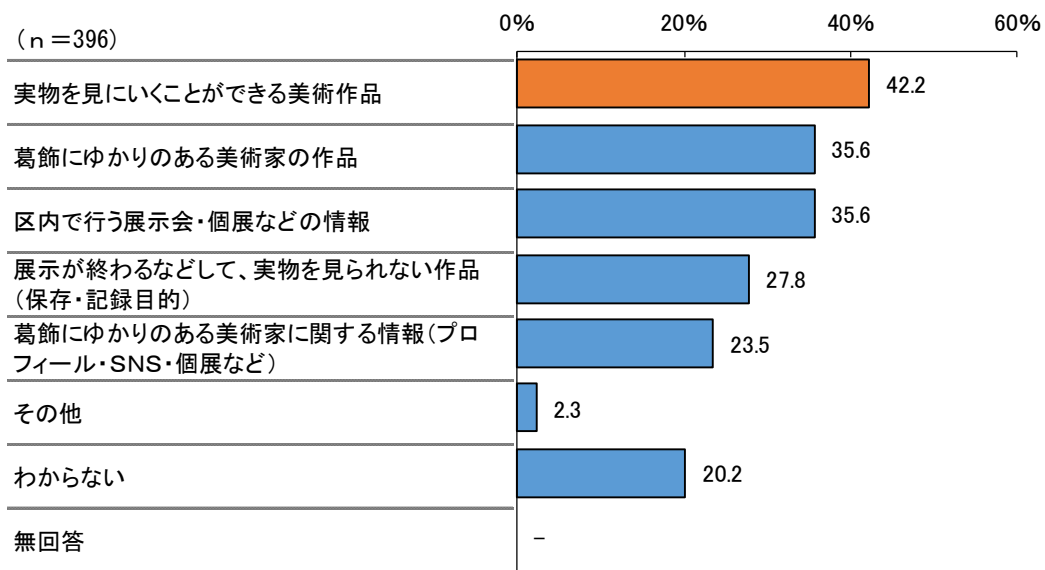
問 25 区では、区が所有する美術品をはじめ、区が行う展示事業や区ゆかりの美術家の個展情報などを掲載し、直接鑑賞できる機会の提供を目的とした「かつしかデジタル美術館」を開設しています。今後どのような情報を充実させれば、あなたの文化芸術の鑑賞・活動機会に役立つと思いますか？（あてはまるものをすべて選択）

「かつしかデジタル美術館」について、どのような情報を充実させれば、文化芸術の鑑賞や活動に役立つかについては、「実物を見にいけることができる美術作品」が42.2%で最も高く、次いで「葛飾にゆかりのある美術家の作品」、「区内で行う展示会・個展などの情報」がともに35.6%となっている。

年代別にみると、「展示が終わるなどして、実物を見られない作品（保存・記録目的）」が20歳代では5割以上となっている。

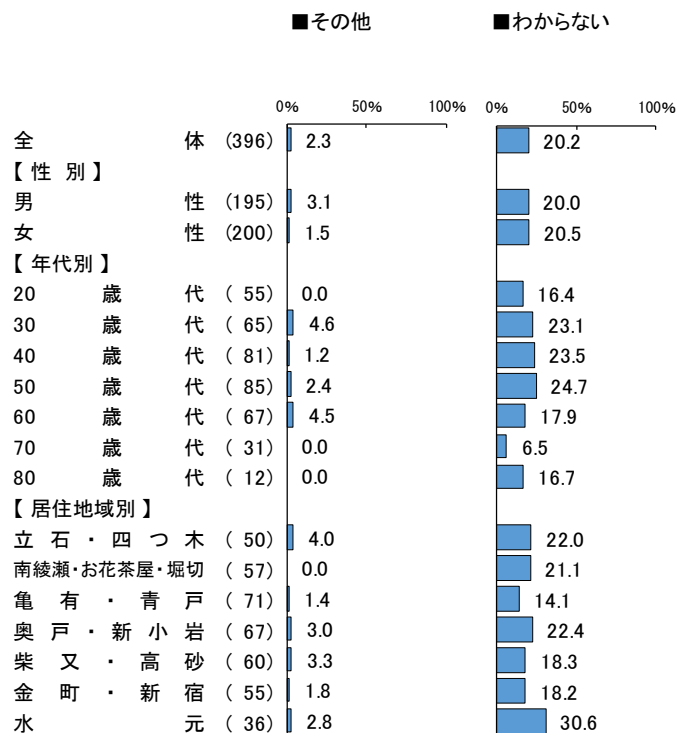
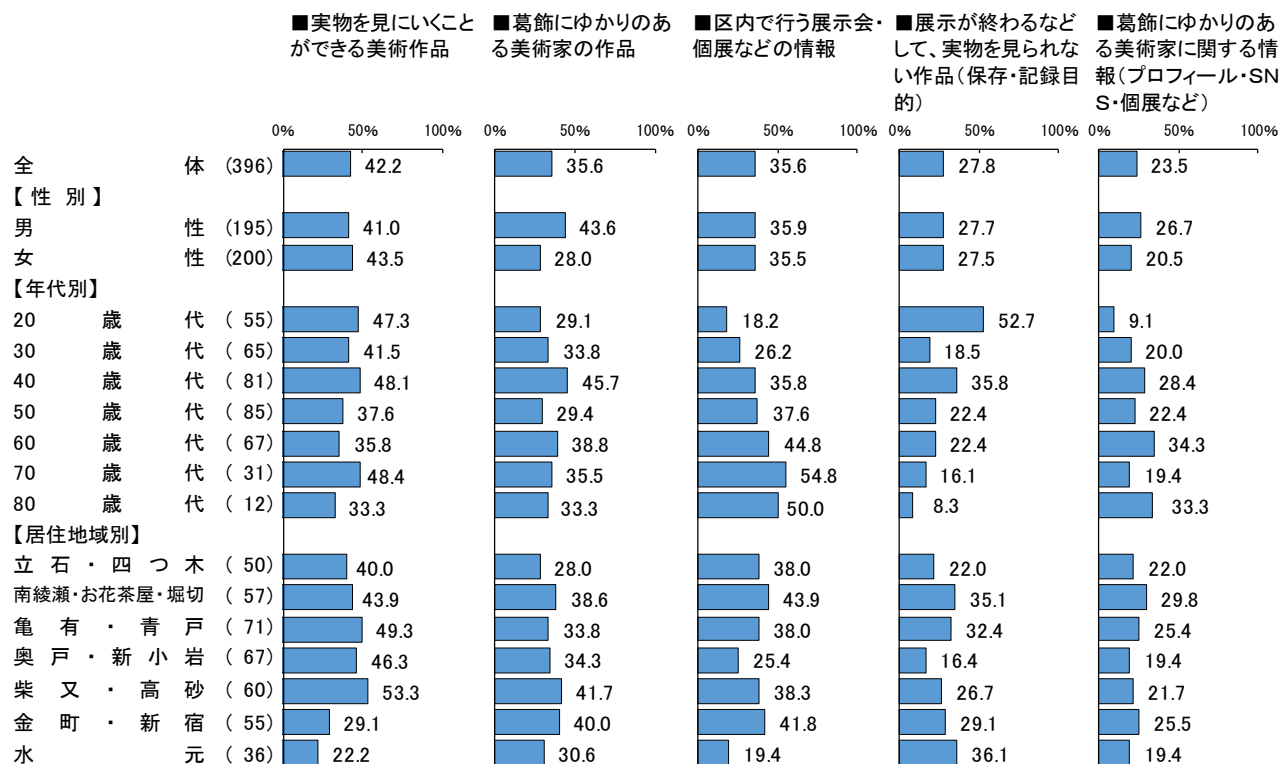
「その他」の内容としては、「登録制の投稿サイト」、「自由に角度を変えて鑑賞できるといったデジタルならではのシステム」などがある。

図表-47 どのような情報を充実させれば、文化芸術の鑑賞や活動に役立つか（全体）



図表-48 どのような情報を充実させれば、文化芸術の鑑賞や活動に役立つか

(全体・性別・年代別・居住地域別)



(26) 今後充実させるべき取組

問 26 区では、若手芸術家（区内在住・在勤・在学）の作品発表機会の提供などを目的に「かつしか若手アートコンペティション」を実施しています。

若手芸術家を支援するために、今後どのような取組を充実させるべきだと思いますか？

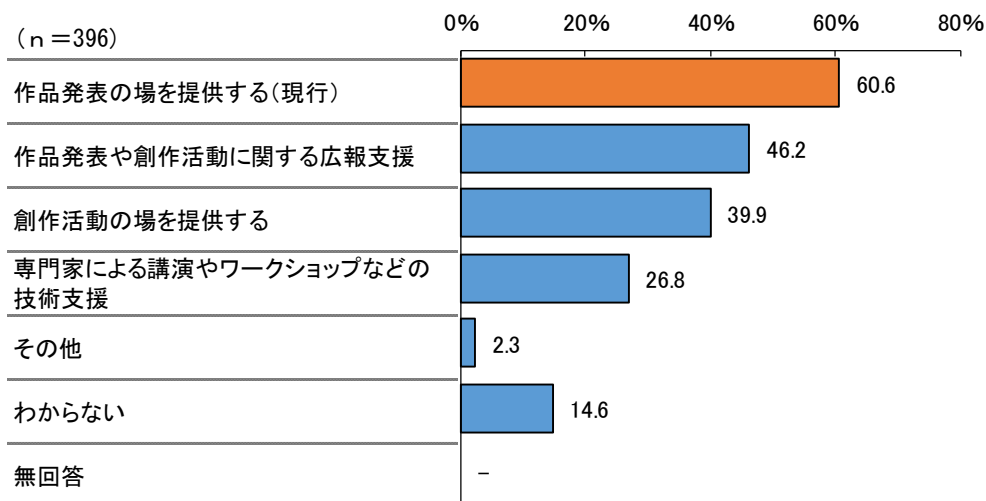
（あてはまるものをすべて選択）

若手芸術家を支援するために、今後充実させるべき取組については、「作品発表の場を提供する（現行）」が60.6%で最も高く、次いで「作品発表や創作活動に関する広報支援」が46.2%、「創作活動の場を提供する」が39.9%となっている。

年代別にみると、「作品発表の場を提供する（現行）」では全ての年代で5割以上となっている。

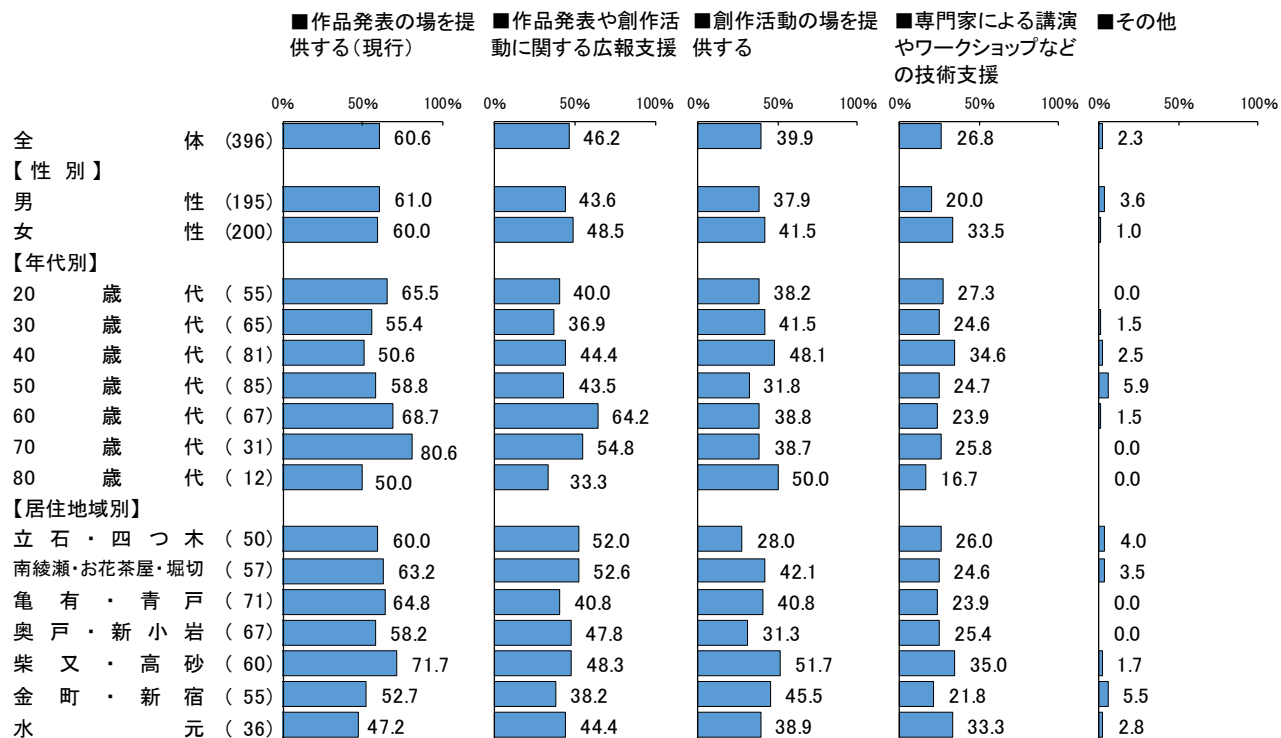
「その他」の内容としては、「創作活動をする為の創作費用及び製作の為の活動費の助成」、「作品を投稿できる場」、「作品の展示、販売の場を設ける」などがある。

図表-49 今後充実させるべき取組（全体）

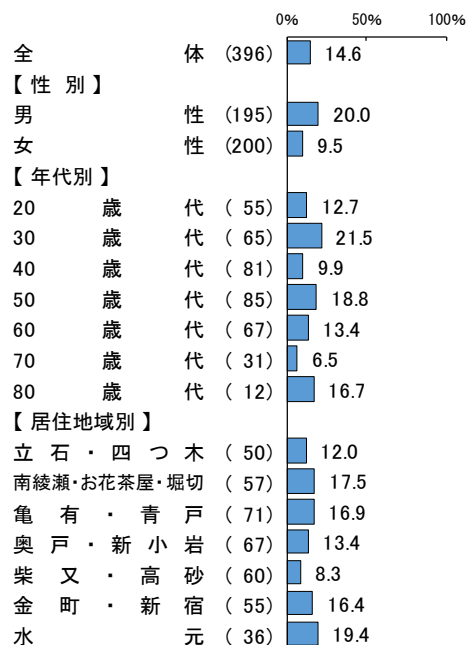


図表-50 今後充実させるべき取組

(全体・性別・年代別・居住地域別)



■わからない



(27) 子どもの文化芸術体験で重要なこと

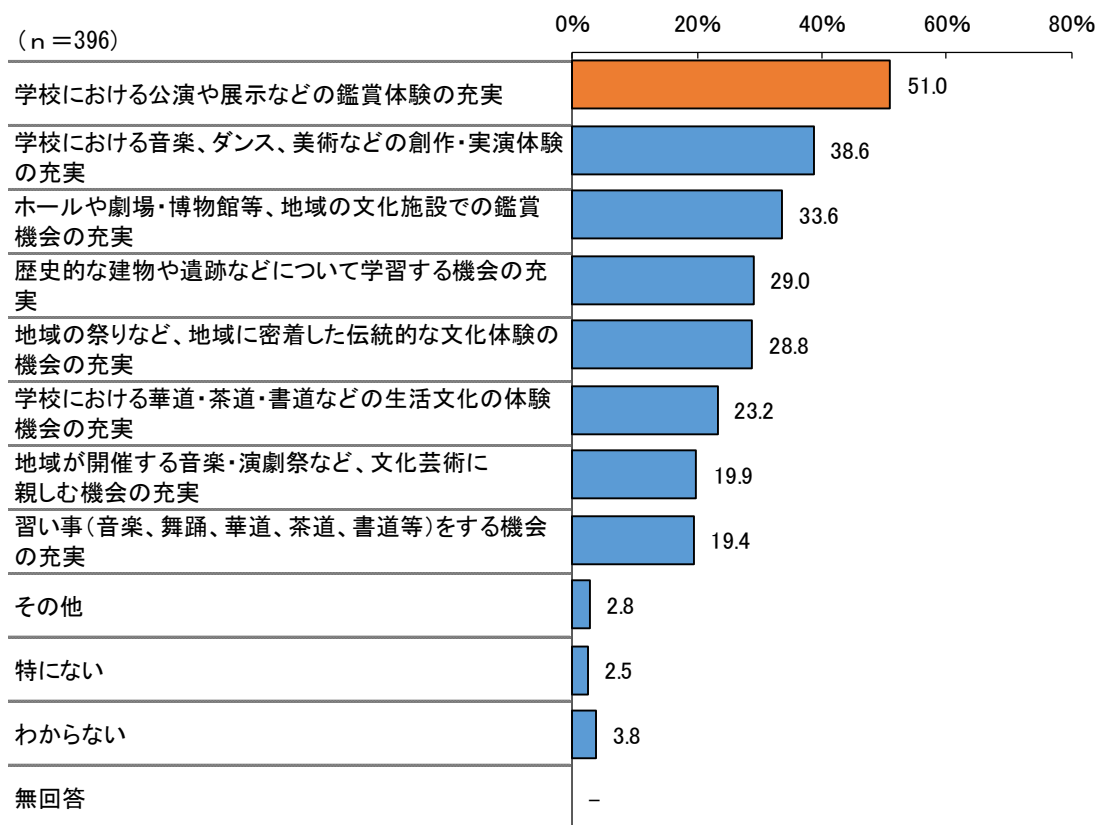
問 27 子どもの文化芸術体験について、あなたは何が重要だと思いますか？優先して取り組むべきことを3つまで選んでください。（3つまで選択）

子どもの文化芸術体験で重要なことについては、「学校における公演や展示などの鑑賞体験の充実」が51.0%で最も高く、次いで「学校における音楽、ダンス、美術などの創作・実演体験の充実」が38.6%、「ホールや劇場・博物館等、地域の文化施設での鑑賞機会の充実」が33.6%となっている。

年代別にみると、「地域の祭りなど、地域に密着した伝統的な文化体験の機会の充実」では、80歳代で6割以上となっている。

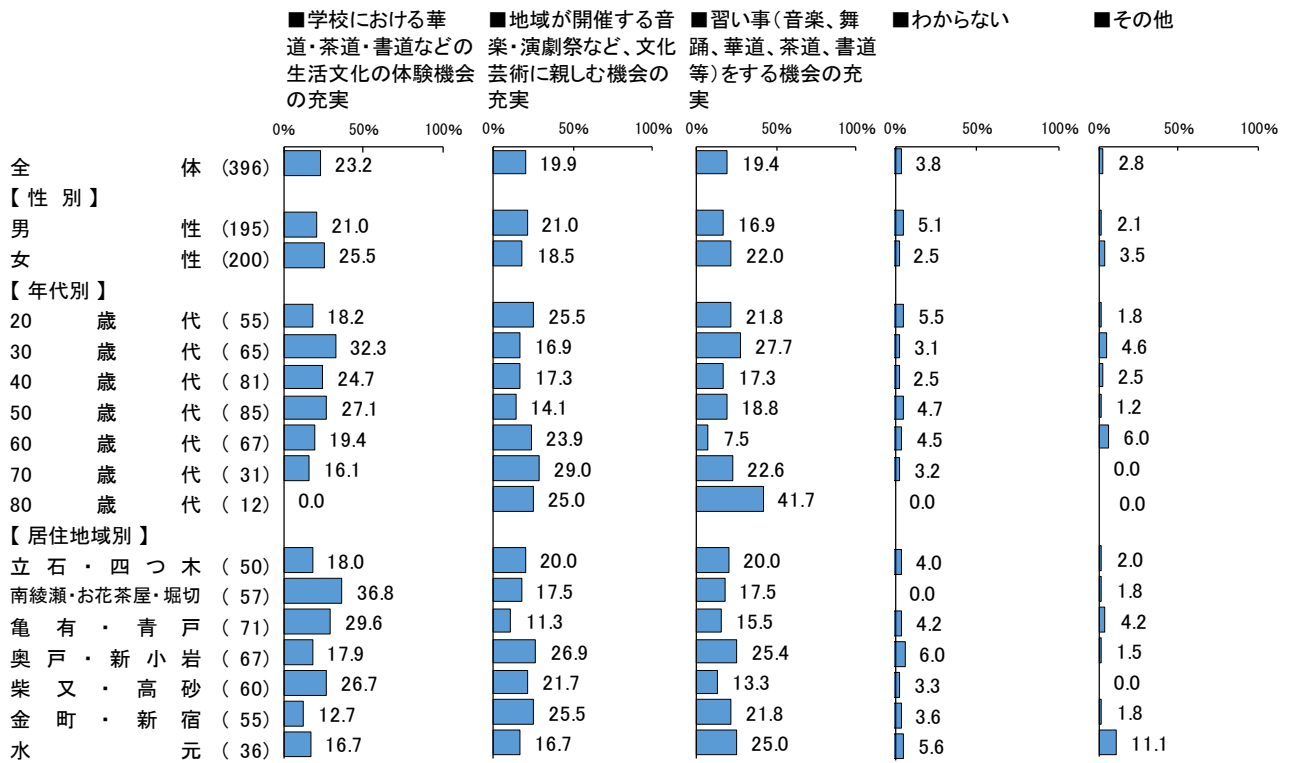
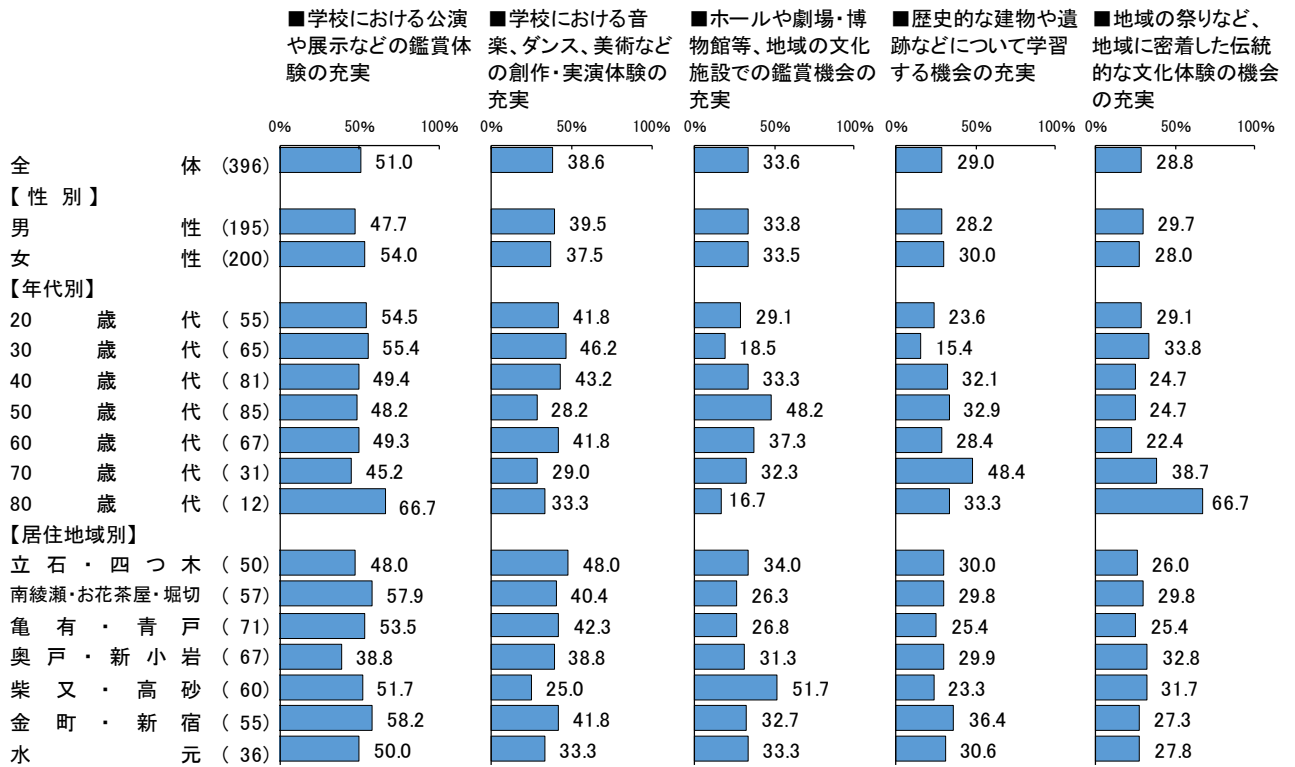
「その他」の内容としては、「ただ鑑賞するだけでなく、鑑賞のポイントや楽しみ方を学ぶ機会」、「コンサートホールや劇場に学校単位で出向き鑑賞すること」、「学校以外での体験機会」などがある。

図表-51 子どもの文化芸術体験で重要なこと（全体）



図表-52 子どもの文化芸術体験で重要なこと

(全体・性別・年代別・居住地域別—上位10項目)



(28) 障害のある方の芸術活動の鑑賞や参加の有無

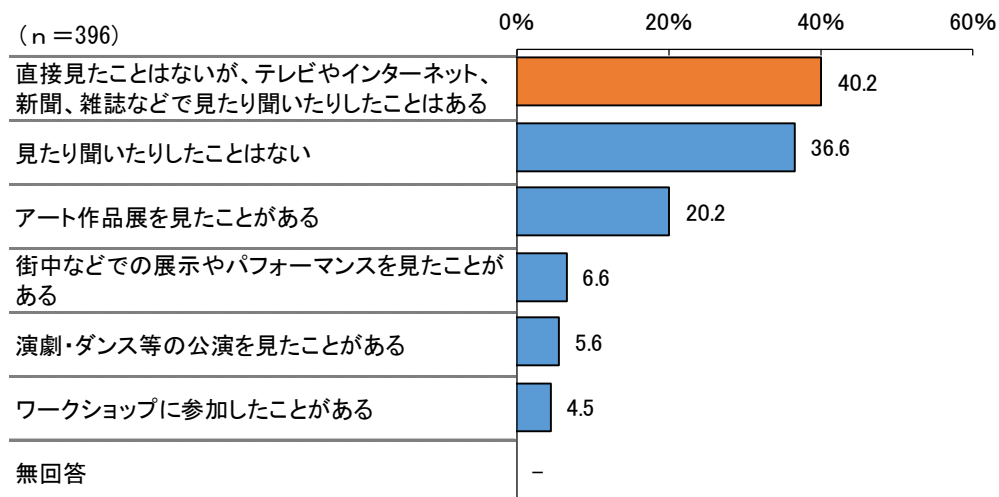
問 28 あなたは、障害のある方のアート作品（絵画・造形等）や演劇、ダンスなどの芸術活動について、これまでに鑑賞や参加などしたことはありますか？

（あてはまるものをすべて選択）

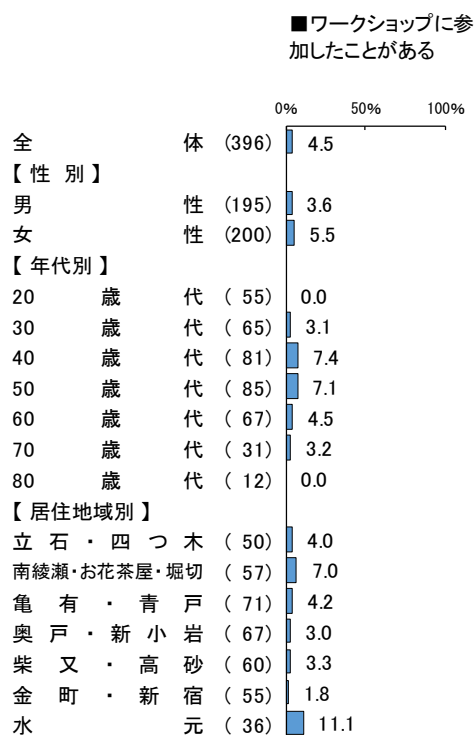
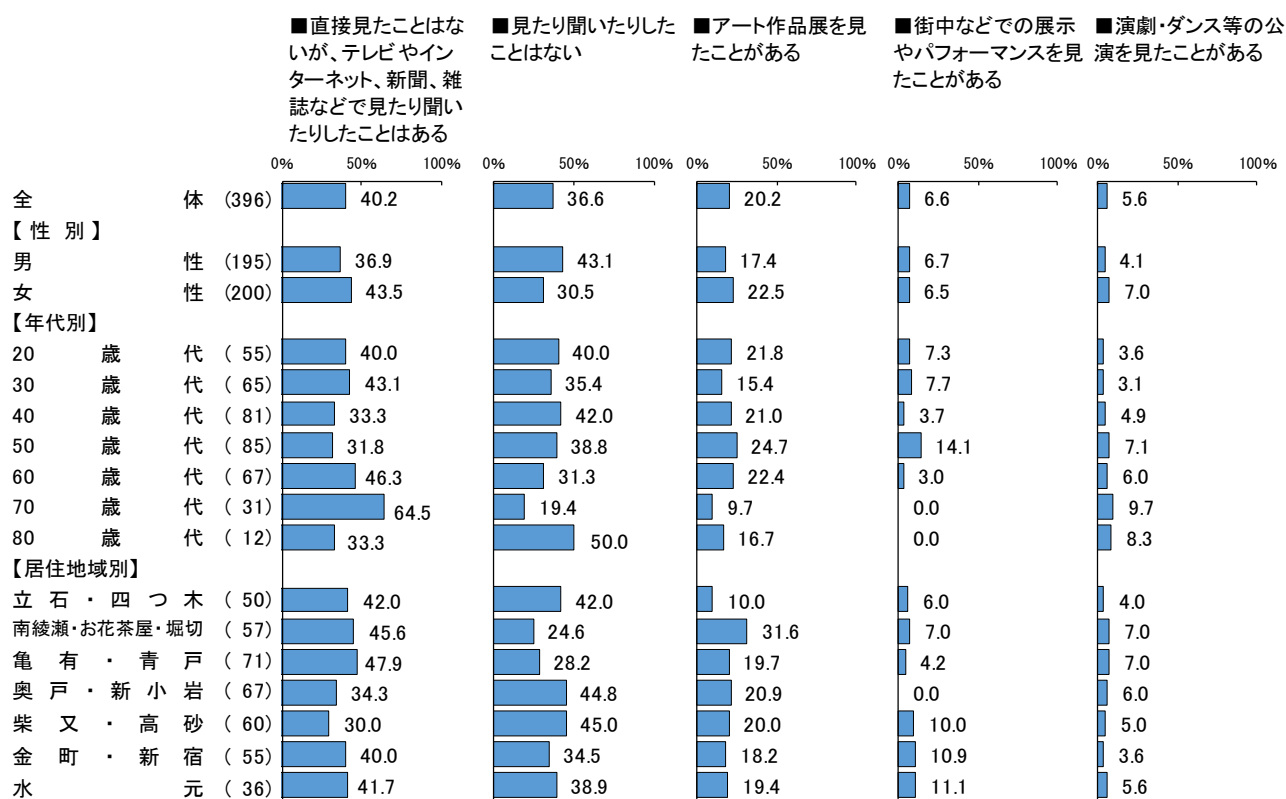
障害のある方の芸術活動の鑑賞や参加の有無については、「直接見たことはないが、テレビやインターネット、新聞、雑誌などで見たり聞いたりしたことはある」が40.2%で最も高く、次いで「見たり聞いたりしたことはない」が36.6%、「アート作品展を見たことがある」が20.2%となっている。

年代別にみると、「街中などでの展示やパフォーマンスを見たことがある」では50歳代が1割以上となっている。

図表－53 障害のある方の芸術活動の鑑賞や参加の有無（全体）



図表-54 障害のある方の芸術活動の鑑賞や参加の有無
(全体・性別・年代別・居住地域別)



(29) 文化的な環境を充実させるために重要なこと

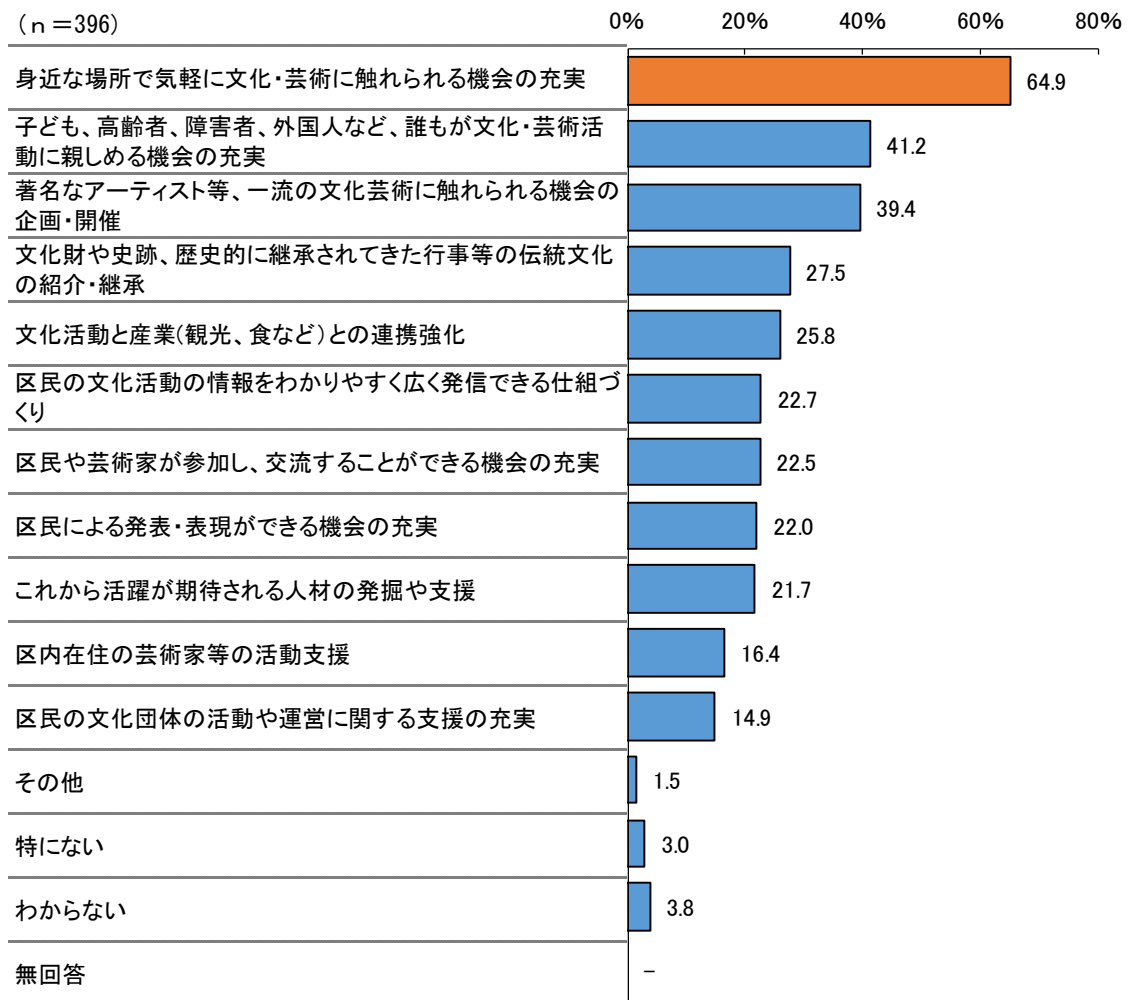
問 29 葛飾区の文化的な環境を今より充実させるために、何が重要だと思いますか。優先して取り組むべきことを5つまで選んでください。(5つまで選択)

文化的な環境を充実させるために重要なことについては、「身近な場所で気軽に文化・芸術に触れられる機会の充実」が64.9%で最も高く、次いで「子ども、高齢者、障害者、外国人など、誰もが文化・芸術活動に親しめる機会の充実」が41.2%、「著名なアーティスト等、一流の文化芸術に触れられる機会の企画・開催」が39.4%となっている。

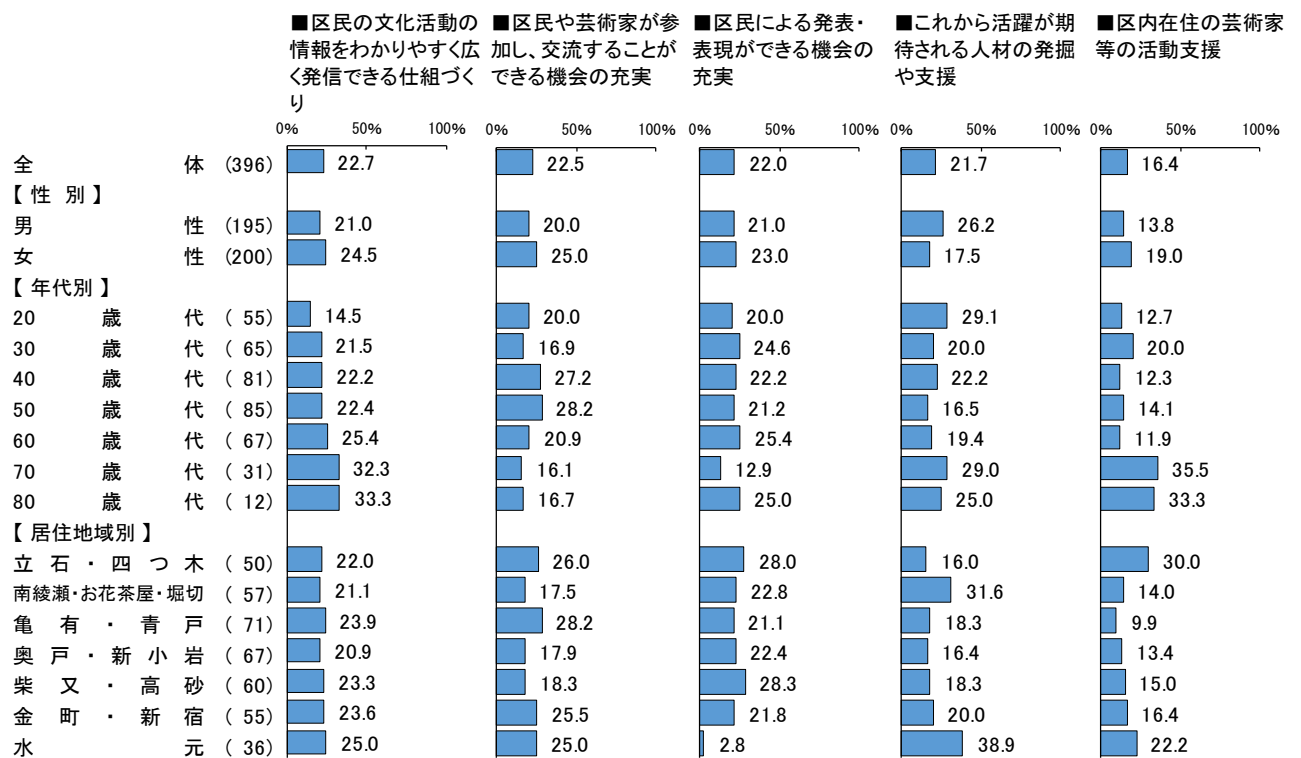
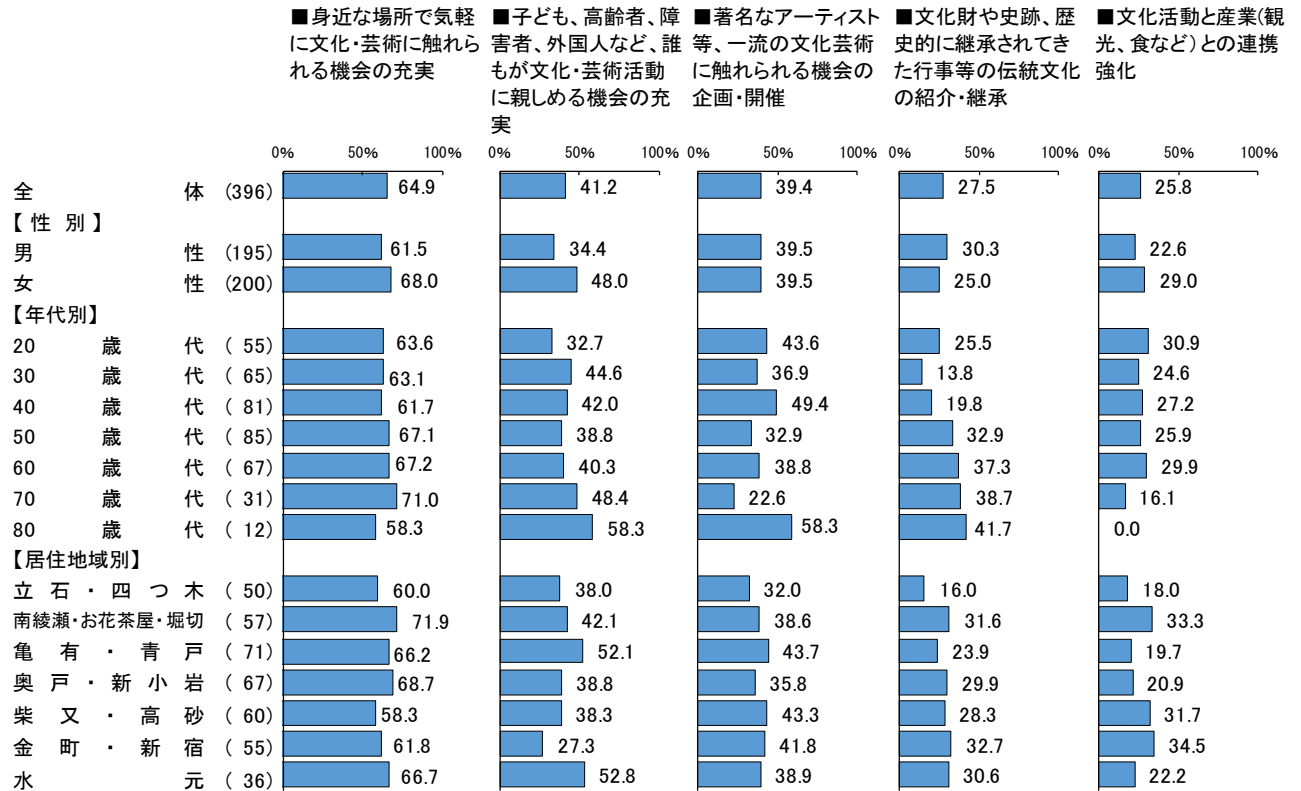
年代別にみると、「区内在住の芸術家等の活動支援」では、70歳代と80歳代で3割以上となっている。

「その他」の内容としては、「区出身芸術家の展示機会等の提供」、「上手でなくても気軽に発表できるような場」、「地元企業と協力した取組」などがある。

図表-55 文化的な環境を充実させるために重要なこと（全体）



図表-56 文化的な環境を充実させるために重要なこと
(全体・性別・年代別・居住地域別—上位10項目)



(30) 国際的な文化交流に期待すること

問 30 葛飾区は、海外 4 都市※との友好交流をはじめ、外国文化を学ぶ講座や国際交流まつりなどのイベントを行うほか、区内に在住する外国人との共生施策（日本語学習支援・やさしい日本語の普及など）を進めています。

こうした国際的な文化交流の取組について、どのようなことを期待しますか？

（あてはまるものをすべて選択）

※葛飾区と友好交流を行っている都市

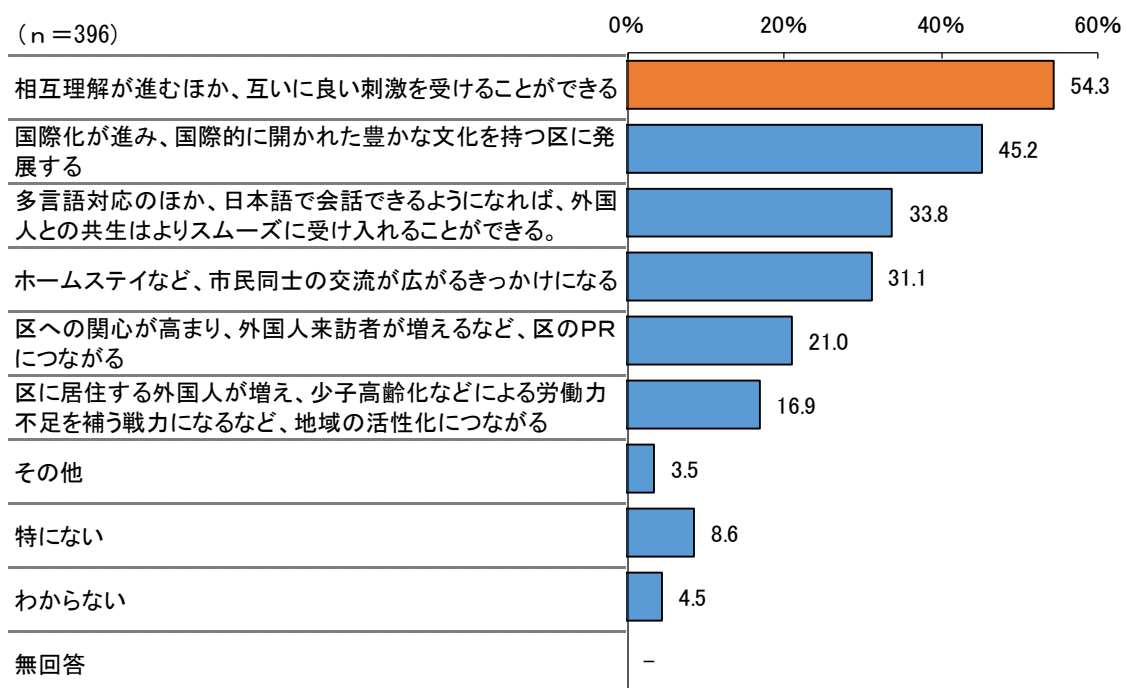
- ・ オーストリア共和国ウィーン市フロリズドルフ区
- ・ 中華人民共和国北京市豊台区
- ・ 大韓民国ソウル特別市麻浦区
- ・ マレーシアペナン州

国際的な文化交流に期待することについては、「相互理解が進むほか、互いに良い刺激を受けることができる」が 54.3%で最も高く、次いで「国際化が進み、国際的に開かれた豊かな文化を持つ区に発展する」が 45.2%、「多言語対応のほか、日本語で会話できるようになれば、外国人との共生はよりスムーズに受け入れることができる」が 33.8%となっている。

年代別にみると、「相互理解が進むほか、互いに良い刺激を受けることができる」では 40 歳代を除く全ての年代で 5 割以上となっている。

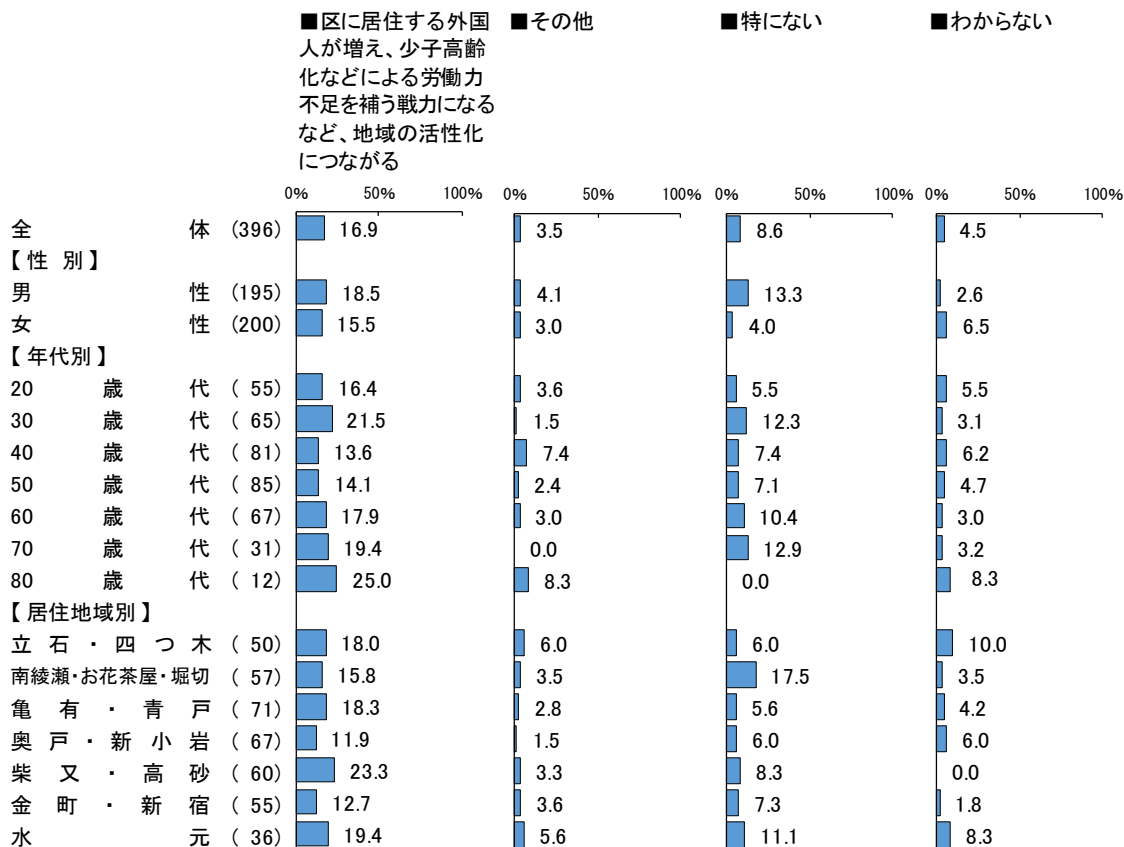
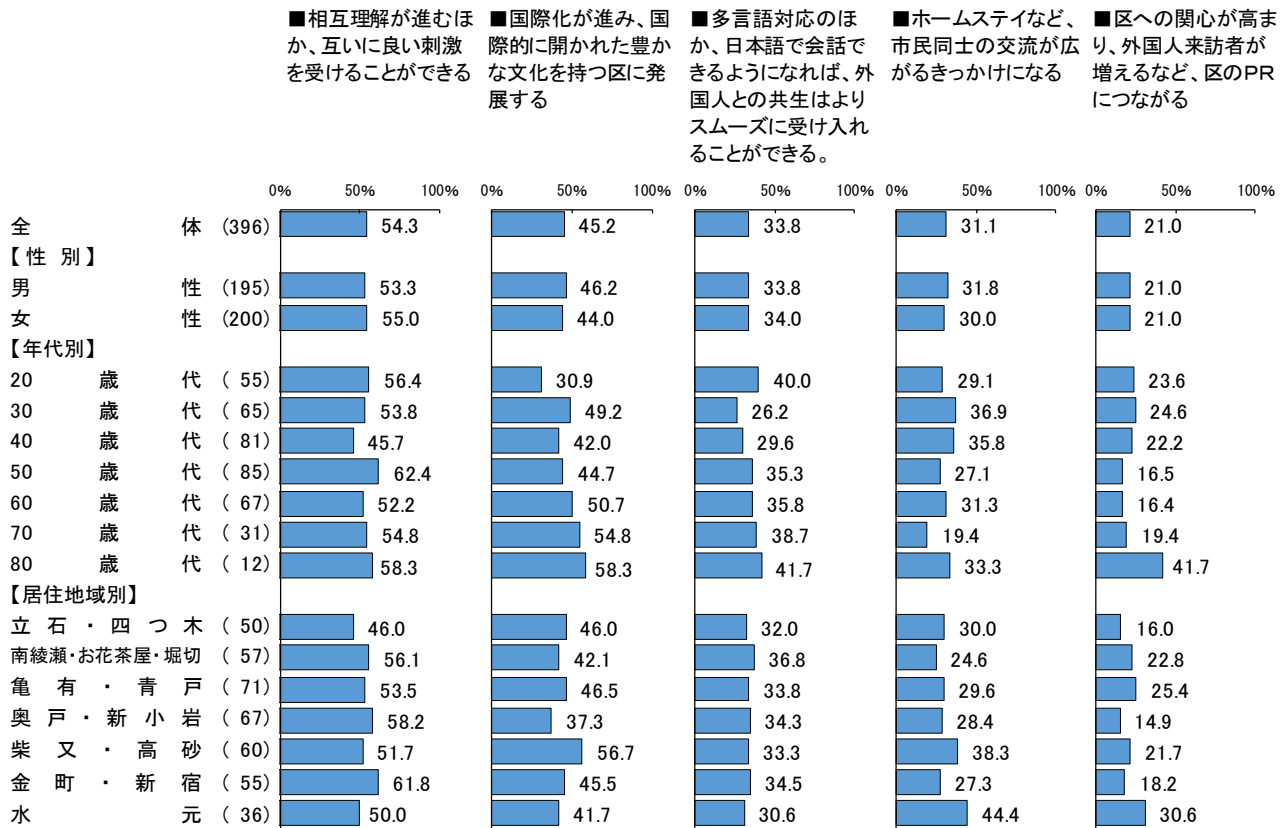
「その他」の内容としては、「日本のルールやマナーをよく知り理解する機会の提供」、「住んでいる人が困らないように、スーパーなどでの英語表記などのサポート」などがある。

図表－57 国際的な文化交流に期待すること（全体）



図表-58 国際的な文化交流に期待すること

(全体・性別・年代別・居住地域別)



(31) 文化芸術全般について、区への意見・要望

問 31 文化芸術全般について、区への意見・要望などを教えてください。(自由記述)

【主なご意見】

(子どもたちの文化芸術活動について)

- ・ 幼児でも楽しめる文化芸術のイベントを企画・開催してほしい。
- ・ 子供たちが芸術に触れる機会を増やしてほしい。

(文化芸術の体験について)

- ・ 商店街などの身近な場所で文化芸術に触れられるようになればいいと思う。
- ・ 駅前広場など、多くの人が自然と芸術に触れることができる発表の場があれば良いと思う。
- ・ 日常生活で目にするところに芸術作品等がほしい。例えば駅での作品展示。

(国際交流について)

- ・ 外国の人ともっと交流する機会があればいいと思う。
- ・ 葛飾区の交流のある都市を初めて知った。海外が大好きなので、何か交流や文化を学ぶ機会があると嬉しい。
- ・ 国際交流まつりのような特化型のイベントもいいが、食や商工業などのイベントの一部に国際交流コーナーを設けるなどしてもいいかと思う。
- ・ 近所の寺社、山本亭などで、座禅指導、茶道教室や武芸披露など日本文化に触れる機会を設けてくれたら、気軽に見に行けて、外国の人にも興味を持ってくれるかもしれない。

(今後の活動について)

- ・ 文化芸術家の活動支援を充実させ、後世の芸術家を育てていく事業を期待している。
- ・ 活動しているグループの紹介をしていただけると、仲間づくりができて活動の活性化につながると思う。
- ・ 歴史的な文化も大切だが、若者が集まるような内容のものを絡めての活動だと注目度が高まるのではと思う。
- ・ 発信力がほしい。もっと広報に力を入れてほしい。
- ・ 気軽に参加できるイベントや、区外からも人がくるようなイベントがあると地域活性化にいいと思う。例えば三社祭や神楽坂祭のように、わざわざ来訪する人がいるイベントや、流行のアニメやゲームで外国人を呼びこめるようなイベント。

(施設について)

- ・ かつしかシンフォニーヒルズは子供が幾度となく利用し、区内に立派な施設があるものだと感心していた。このような施設を活かし文化芸術を区民が身近に体験できるよう、支援し続けていただきたいと思う。

(その他)

- ・ 葛飾区の作家などを知る機会を広報などで特集し掲載してほしい。
- ・ 区にゆかりのある文化人の紹介や展示などを行ってほしい。

3. 区民モニター調査（ウェブモニター）について

区では、区民の皆様のご意見を伺い区政運営の参考とするため、区民モニター調査を実施しており、今年度は調査手法をインターネットに限定したウェブモニター調査を試行しております。調査手法等について今後の調査の参考とするため、モニターの皆様のご意見を伺います。

(32) インターネットでの回答について

問 32 回答方法をインターネットに限定していますが、どのように感じますか？

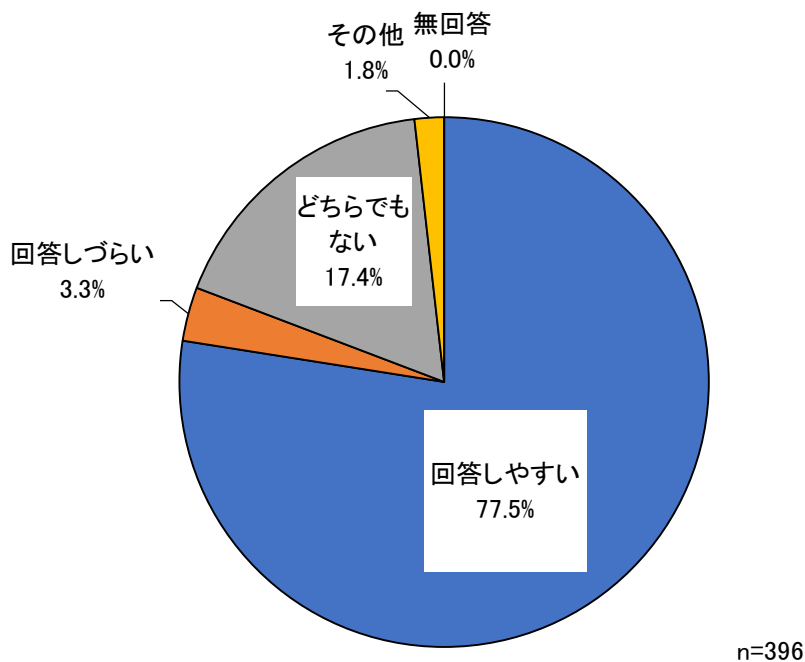
(1つ選択)

インターネットでの回答については、「回答しやすい」が77.5%となっている。

年代別でみると、「回答しやすい」は、80歳代を除く全ての年代で7割以上となっている。

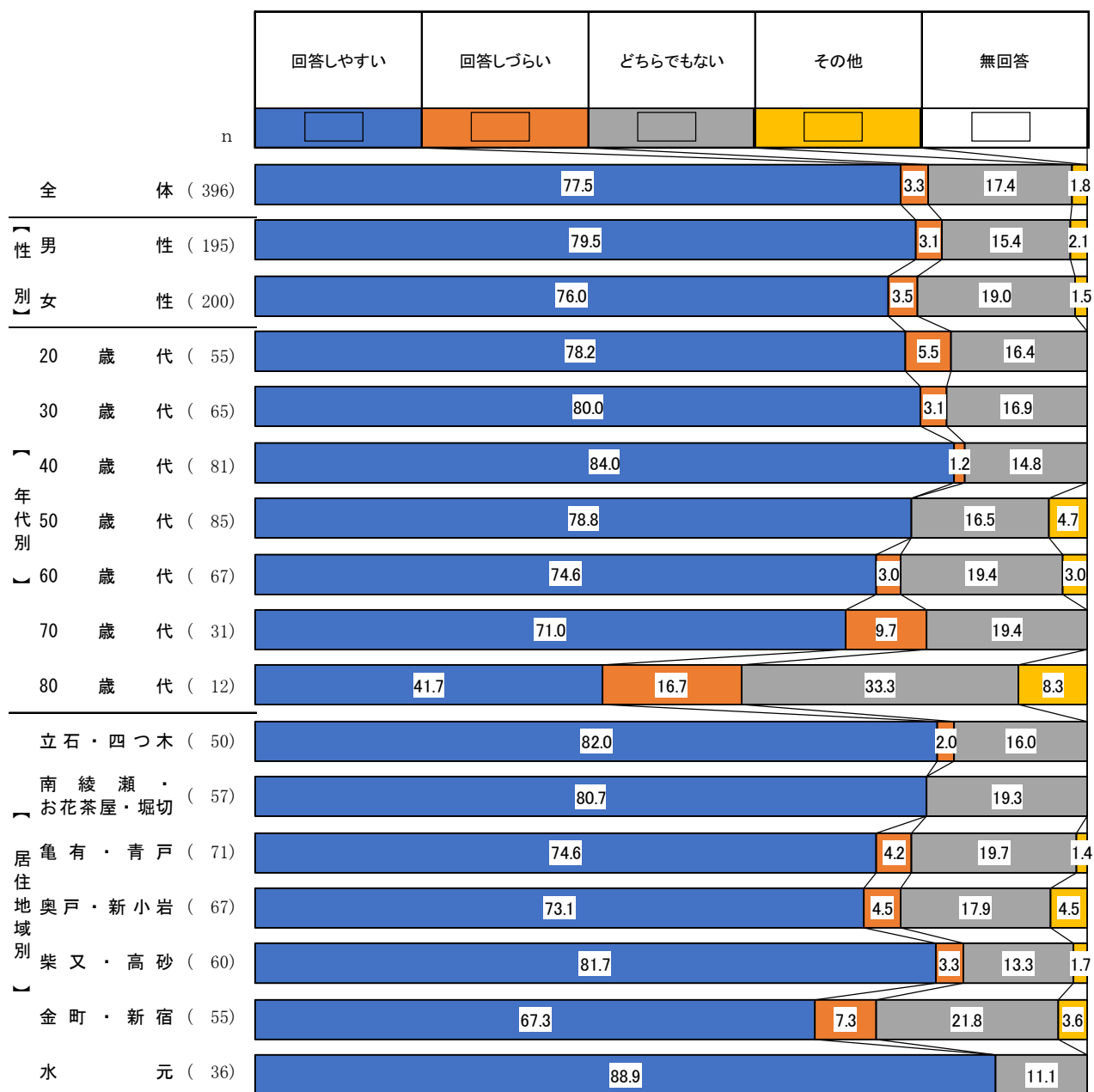
「その他」の内容として、「文字が小さい」、「もっと設問を少なくしてほしい」、「回答項目に当てはまらないこともあるので、回答に困ることがある」などがある。

図表-59 インターネットでの回答について（全体）



図表-60 インターネットでの回答について
(全体・性別・年代別・居住地域別)

(%)



(33) 回答しづらかった点

問 32 で「回答しづらい」と答えた方に伺います。

問 33 どのような点が回答しづらかったですか？（自由記述）

【主なご意見】

- ・パソコン操作に慣れていない。
- ・入力フォームが狭すぎて、文章を入力しにくい。
- ・スマートフォンだと改行が多く、回答する際の負担となる。
- ・似たような問が多く長い。

(34) 次年度以降の調査方法について

問 34 現在区民モニター調査は、回答方法をインターネットに限定するウェブモニター調査（本調査）と、紙の調査票とインターネット回答を併用する調査の2種類を実施しています。次年度以降の調査実施に当たり、調査手法はどのような方法が良いと思いますか？

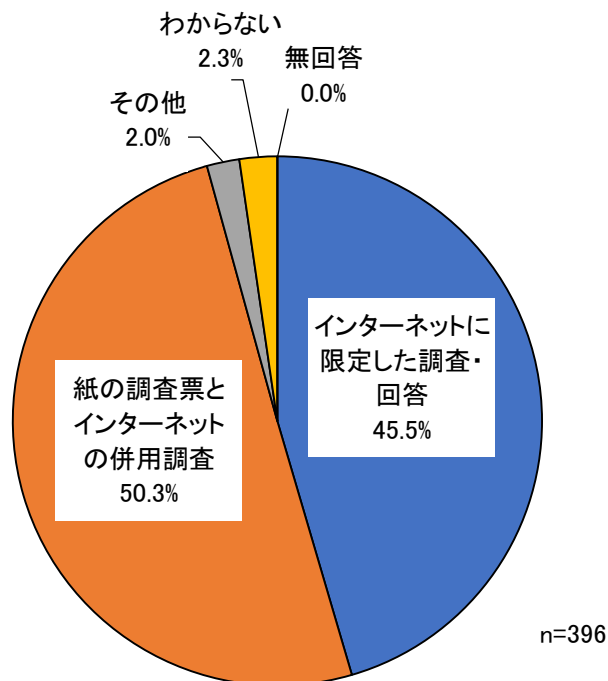
（1つ選択）

次年度以降の調査方法については、「インターネットに限定した調査・回答」が45.5%、「紙の調査票とインターネットの併用調査」が50.3%となっている。

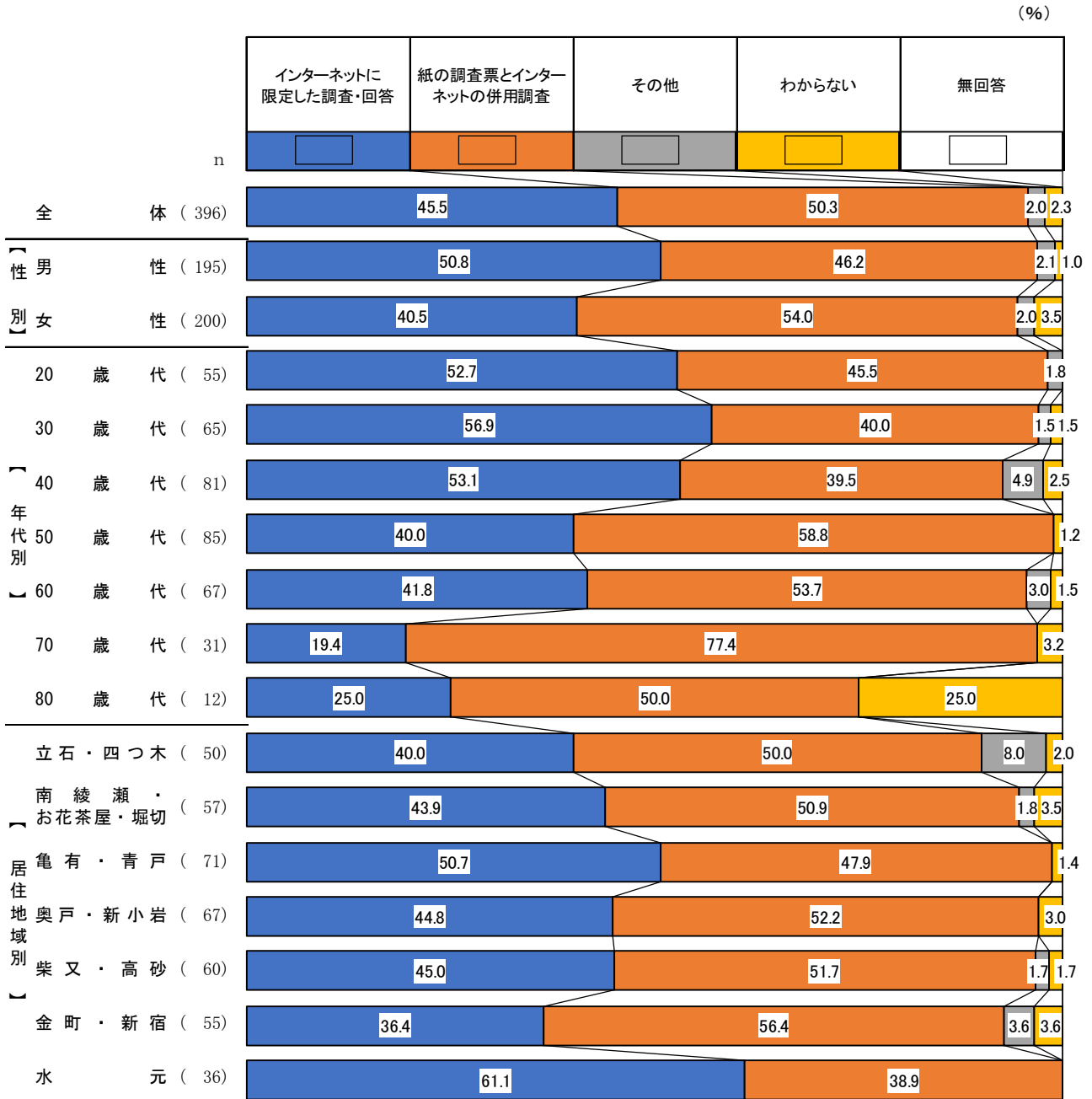
年代別でみると、「紙の調査票とインターネットの併用調査」は、50歳代以上のすべての年代で5割以上となっている。一方、「インターネットに限定した調査・回答」は、40歳代以下の全ての年代で5割以上となっている。

「その他」の内容として、「調査結果がまとめやすい方法が良い」、「参加率を見ながら徐々にネット回答に移行が良いと思う」、「併用ではなく、どちらか選択性で良いのではないか」などがある。

図表-61 次年度以降の調査方法について（全体）



図表-62 次年度以降の調査方法について
(全体・性別・年代別・居住地域別)



(35) ウェブモニター調査に応募した理由

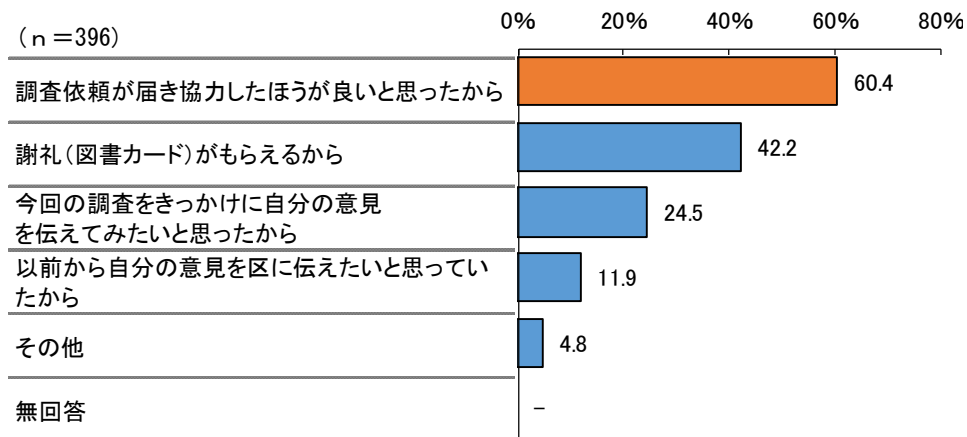
問 35 ウェブモニター調査に応募した理由を教えてください。(あてはまるものすべて選択)

ウェブモニター調査に応募した理由については、「調査依頼が届き協力したほうが良いと思ったから」が60.4%で最も高く、次いで「謝礼（図書カード）がもらえるから」が42.2%、「今回の調査をきっかけに自分の意見を伝えてみたいと思ったから」が24.5%となっている。

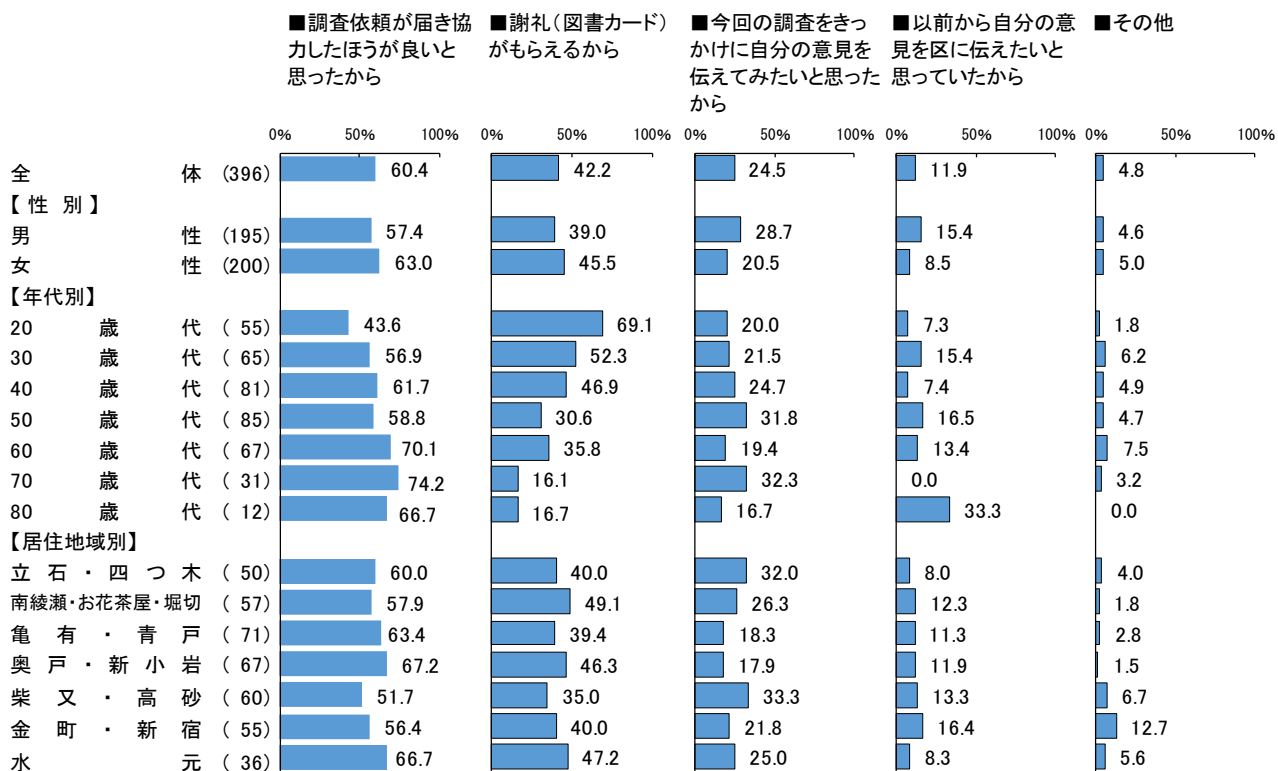
年代別にみると、「謝礼（図書カード）がもらえるから」では20歳代が約7割と高くなっている。

「その他」の内容としては、「葛飾区行政が何を知りたいのか興味を持った」、「今の葛飾区を知りたかった」、「葛飾区民として、誇りを持って良い街づくりを一緒にしていきたいと考えたから」などがある。

図表-63 ウェブモニター調査に応募した理由（全体）



図表-64 ウェブモニター調査に応募した理由
(全体・性別・年代別・居住地域別)



(36) 次年度の調査回数について

問 36 皆様のご意見をより多くお寄せいただくため、次年度は1年間に5回（1回あたり45問程度）の調査実施を検討しております。調査回数（5回）についてどのように感じますか？回答の理由も教えてください。（1つ選択）

次年度の調査回数については、「ちょうど良い」が66.7%で最も高く、次いで「多い」が30.8%、「少ない」が1.8%となっている。

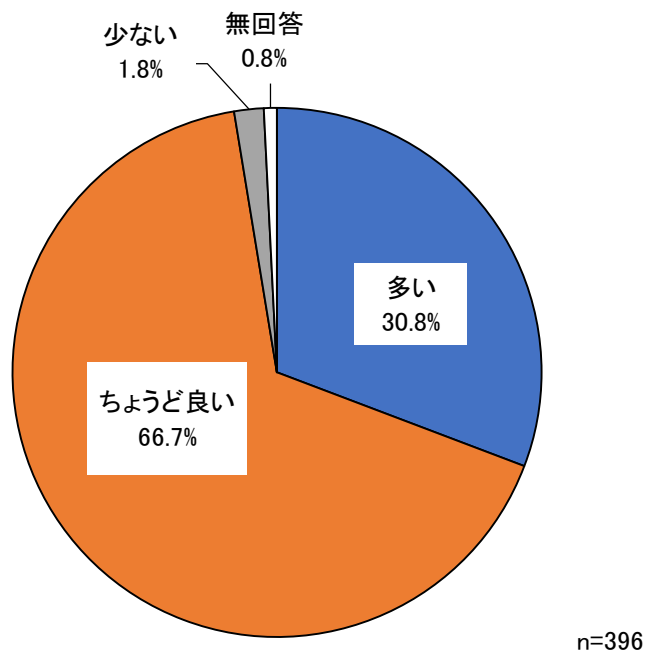
年代別でみると、「ちょうど良い」は、全ての年代で6割以上となっている。

「多い」の回答の理由としては、「回数は少ないほうが真剣な意見を集中して回答できる」、「設問数が多く感じる」、「回答に時間がかかるため」などがある。

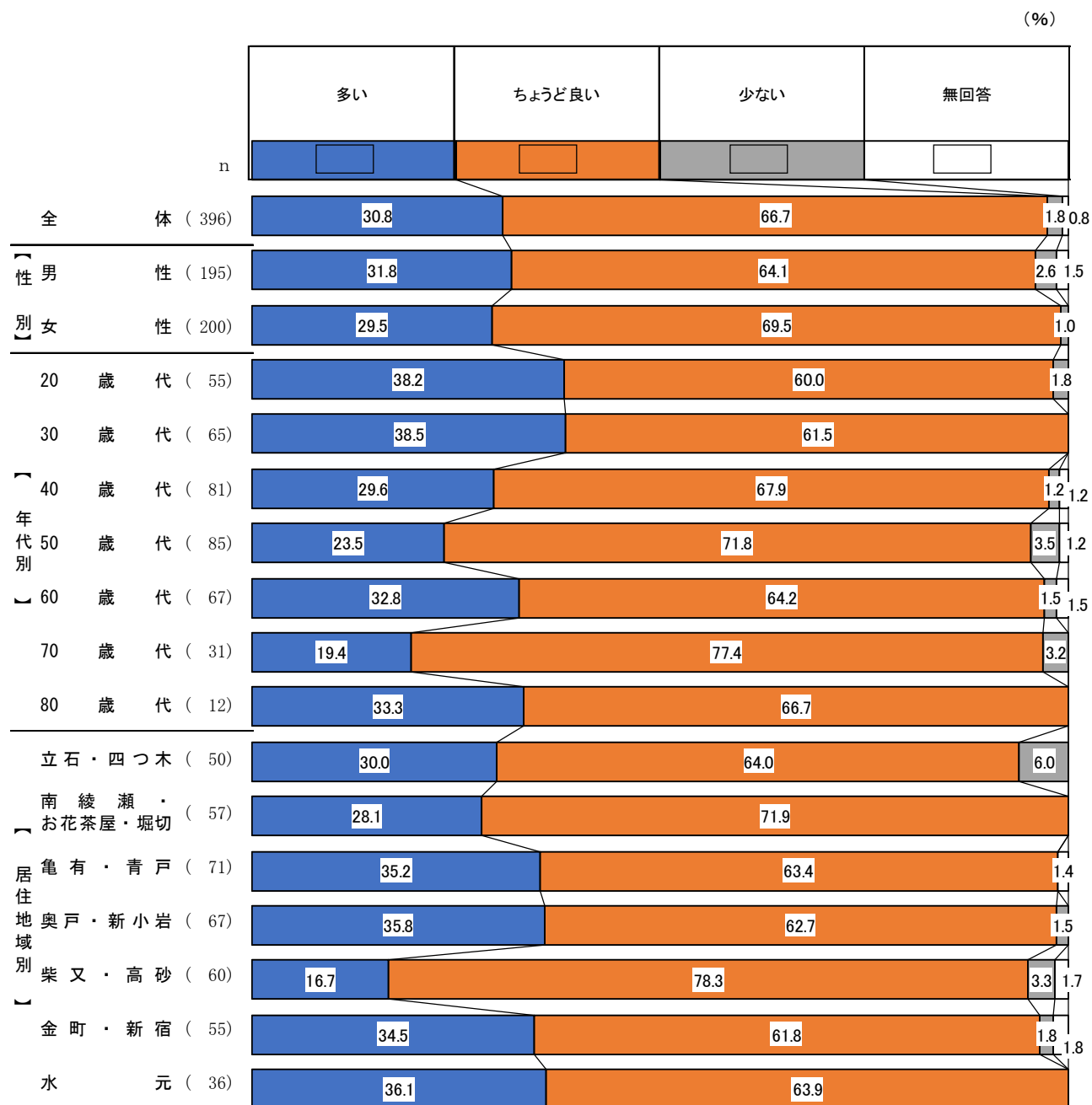
「ちょうど良い」の回答の理由としては、「様々な視点での調査をすることで区民の意識がわかるため」、「適切な量だと思うため」、「間隔があきすぎると忘れてしまうため」などがある。

「少ない」の回答の理由としては、「毎月1回位が望ましい」、「もう少し回数を増やして、区民の声を聞いてほしい」などがある。

図表-65 次年度の調査回数について（全体）



図表-66 次年度の調査回数について
(全体・性別・年代別・居住地域別)



令和5年度
葛飾区区民モニターアンケート調査報告書
第2回 ウェブモニター

令和5年（2023年）11月発行
葛飾区総務部すぐやる課すぐやる係
東京都葛飾区立石5-13-1
電話 03-3695-1111（代表）